

葛飾の図書館

平成24年度 事業年報



Katsushika
City Libraries

葛飾区立図書館



葛飾区立図書館

【表紙記載の「葛飾区立図書館のシンボルマーク」について】

葛飾区立図書館のシンボルマークは、「葛飾」のカタカナ表記「カツシカ」をモチーフに作成しました。

イメージは、庶民を守った火消しの絆纏（はんてん）などに使用されていた、江戸時代の「角文字」です。「葛飾区を中心となり、区を守り、葛飾区の情報発信の中心地となる図書館」、「区民のための図書館」を表現しています。

メインカラーは葛飾区のイメージカラーである、クリーンと知性を表すライト・ブルー。

2つの「カ」の中にある四角系のカラーは、それぞれいきいきとした情熱を表すオレンジ、未来をかざす光明を表すイエローです。

目 次

1	葛飾区の概要	1
2	図書館のあゆみ	
	（1）葛飾区立図書館のあゆみ	2
	（2）葛飾区立図書館 システムのあゆみ	16
3	組織図	20
4	開館時間・休館日	21
5	施設の概要	22
6	各サービスの説明	
	（1）一般サービス	26
	（2）児童サービス	27
	（3）ヤングアダルト（YA）サービス	27
	（4）視聴覚（AV）サービス	28
	（5）インターネットサービス	28
	（6）団体サービス	29
	（7）障がい者サービス	30
	（8）広報活動	31
	（9）自主活動グループの支援	32
	（10）リサイクルコーナー	32
	（11）学校との連携・学校図書館支援	32
	（12）学校図書館ボランティアへの支援	33
	（13）大学図書館との連携	33
	（14）ビジネス支援サービス	33
	（15）図書館員のための新任研修・現任研修	36
	（16）図書館海援隊	36
	（17）葛飾図書館友の会	37
	（18）中央図書館及び立石図書館 年末年始試行開館の取組	37
7	24年度の事業報告	
	（1）一般サービス委員会	38
	（2）YAサービス委員会	38
	（3）児童サービス委員会	39
	（4）資料収集委員会	39
	（5）障がい者サービス委員会	40
8	行事実績	
	（1）中央図書館 開館3周年記念イベント	41
	（2）立石図書館 開館1周年記念イベント	42
	（3）一般室主催行事	43
	（4）児童室・YA主催行事	45
	（5）障がい者サービス委員会主催行事	49
	（6）その他の行事	49

9 各種統計

(1) サービス実績	・	・	・	・	・	・	・	5 1
(2) 登録者所在内訳	・	・	・	・	・	・	・	5 1
(3) 図書館資料費推移（決算額）	・	・	・	・	・	・	・	5 2
(4) 登録者の推移	・	・	・	・	・	・	・	5 4
(5) 蔵書数の推移	・	・	・	・	・	・	・	5 5
(6) 資料統計 館別蔵書・所蔵数	・	・	・	・	・	・	・	5 5
(7) 館別蔵書冊数	・	・	・	・	・	・	・	5 6
(8) 分野別蔵書冊数表	・	・	・	・	・	・	・	5 7
(9) 図書貸出冊数の推移	・	・	・	・	・	・	・	5 8
(10) 分野別図書・雑誌貸出冊数表	・	・	・	・	・	・	・	5 9
(11) A V（視聴覚）資料利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 0
(12) 外国語図書 館別言語別図書蔵書数	・	・	・	・	・	・	・	6 0
(13) レファレンス受付数	・	・	・	・	・	・	・	6 0
(14) 予約・リクエスト統計	・	・	・	・	・	・	・	6 1
(15) 蔵書点検	・	・	・	・	・	・	・	6 2
(16) 図書受入・除籍数	・	・	・	・	・	・	・	6 4
(17) A V受入数	・	・	・	・	・	・	・	6 5
(18) 団体貸出の利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 5
(19) 障がい者サービスの利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 5
(20) 図書館別・自動貸出機利用者数	・	・	・	・	・	・	・	6 6
(21) 中央図書館個人閲覧席・利用者用 インターネット利用者数	・	・	・	・	・	・	・	6 6
(22) メール通知サービス登録者	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(23) 図書館別来館者数・平均来館者数	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(24) 利用カードパスワード登録者数	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(25) E-mail アドレス登録者数	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(26) 貸出ベスト	・	・	・	・	・	・	・	
一般図書	・	・	・	・	・	・	・	6 8
児童図書	・	・	・	・	・	・	・	6 9
A V（CD）	・	・	・	・	・	・	・	7 0
A V（カセット）	・	・	・	・	・	・	・	7 1
A V（DVD）	・	・	・	・	・	・	・	7 2

10 葛飾区立図書館関係例規集

葛飾区立図書館設置条例	・	・	・	・	・	・	・	7 3
葛飾区立図書館館則	・	・	・	・	・	・	・	7 4
葛飾区立図書館処務規程	・	・	・	・	・	・	・	7 8

11 葛飾区子ども読書活動推進計画

葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）	・	・	・	・	・	・	・	8 1
（子ども読書活動を推進するための基本的な指針）（抜粋）								

1 葛飾区の概要

○ 位置

日本橋の全国里程元表から区の中心地点(京成青砥駅)まで、およそ 10.1 キロメートル、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区・墨田区、南は江戸川区、北は大場川を境として埼玉県八潮市・三郷市にそれぞれ接している。

○ 地勢

地形は南北にやや長く 9.8km、東西は約 7.3km、面積は 34.84km²と 23 区中 7 番目の広さをもち、区部の約 5.8%を占めている。

区全体が平坦な土地で、海拔 2.5mの水元、柴又地区から、マイナス 1mの新小岩地区へと北から南へわずかながら傾斜している。区の北側には大場川、東には江戸川、中ほどには中川と新中川が流れ、そして西側から南側には荒川と綾瀬川が流れ、綾瀬川は東四つ木地区で中川と合流している。

○ 区の人口

446,612 人(男 223,709 人、女 222,903 人)

○ 世帯数

213,977 世帯

○ 区の花

花しょうぶ



○ 区の木

しだれやなぎ



(平成 25 年 4 月 1 日現在)

2 図書館のあゆみ

(1) 葛飾区立図書館のあゆみ

昭和	月	
24	1	当区最初の図書館として、本田町 17 番地に葛飾図書館（現・立石図書館）開設。面積 90 ㎡余、約 3,000 冊の蔵書で発足。入館料大人 2 円、子ども 1 円。（当時ハガキ 1 枚 2 円）
25	4	「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止。
26	3	第 1 回レコードコンサート開始。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者をつけて、土曜日の夜、閉館後に開催。（現・立石図書館）
28	4	団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた 10 冊を 1 パックとし、50 冊まで 1 ヶ月貸し出す。
30	7	隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地（立石一丁目 9 番 1 号）に移転。
35	4	夜間開館（午後 6 時まで）始まる。貸出冊数 1 人 2 冊とし、貸出期間 10 日間とする。
39	4	平日の開館時間を、午後 8 時までに延長。
42	4	旧新宿支所跡（新宿三丁目 7 番 1 号）に「葛飾区教育センター」を建設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館（4 月 20 日）。貸出方式にブラウン方式を採用。（以後全館この方式となる） 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称。
	5	葛飾図書館内に郷土資料室を開設。
	9	団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管。（5 人以上を 1 団体とし、1 口 10 冊、5 口まで 1 ヶ月貸し出し。） 読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会及び映画会を行う。（講師は、秋山ちえ子氏「家庭と読書」ほか。）（他館は昭和 54 年度から）
43	5	レコードの購入開始。16 ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始。
	9	「葛飾図書館報」創刊。
44	6	団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスの広域化を図る。午前中受けたリストに基づき午後配本。
	8	電子コピーによる複写サービス開始。
	9	読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年 2 日間にわたり開催。
45	5	入館票を廃止し、入館札（プラスチック製）により閲覧室は座席指定となる。児童室は全廃。 レコードコンサートにクラシック、ポピュラー各解説者がつく。（葛飾図書館）
46	4	図書の予約制度を導入。
	7	児童向けに図書館 PR のためのキャラバン実施。（葛飾図書館）
	11	立石図書館、改築のため休館。

昭和	月	
47	7	視覚障がい者のための点字図書の収集、貸出開始。1人5冊まで1ヶ月間。 夏休み期間中、レコードの館外貸出開始。（葛飾図書館）
	8	「葛飾図書館報」第8号から「花しょうぶ」と改名。
48	4	貸出冊数を2冊から3冊（児童室は4冊）に、貸出期間を2週間とする。
	5	立石図書館改修工事竣工、1日業務再開。旧図書館の4倍以上の規模となる。
49	6	団体貸出の電話受付を廃止し、来館選定方式となる。
51	8	高校生以上を対象にレコードの貸出開始。（葛飾図書館）1回2枚、期間1週間。
52	6	1日、お花茶屋図書館開館（お花茶屋二丁目1番15号）。障がい者用設備設置。
	10	1日、都営住宅1階に上小松図書館開館（東新小岩三丁目12番1号）。
54	4	レコードの貸出を中学生以上とする。（葛飾図書館）
55	2	「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び、蔵書目標の骨子固まる。 （中央館1館・16万冊、地域館6館・5万ないし7万冊） 学級招待をはじめて実施。（立石図書館）
56	7	立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナーを設置。
	10	1日、都営住宅1・2階に亀有図書館開館（亀有一丁目17番5号）。
57	4	カセットテープの貸出開始。1回2本、期間1週間。（葛飾図書館）
	6	1日、水元保健相談所と併設して水元図書館開館（水元一丁目7番3号）。
58	3	図書の年間個人貸出冊数、6館合計で100万冊を超える。
	5	一般室図書の貸出冊数を児童室と同様に4冊とする。期間2週間。
	9	視覚障がい者にカセットテープの貸出開始。（葛飾図書館） 連絡車による宅配。電話でも申し込みを受け付ける。
59		園招待を初めて実施。（水元図書館）
	12	葛飾区教育センターの改修工事始まる。（出張所分室、東福祉事務所の移転を機会に、葛飾図書館の拡充整備を行う。）
60	11	葛飾図書館、改修工事完了。障がい者用設備（対面朗読室、録音室等）設置。区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動する。
	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	4	視聴覚障がい者に対面朗読サービス開始。
	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62	4	一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足。 児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足。
	6	25日、鎌倉図書館開館（鎌倉二丁目4番5号）。区立図書館で初めてCD購入。 同日、葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。
		図書の貸出冊数を6冊までに変更。期間は従来どおり2週間。

昭和	月	
63	4	雑誌の収集分担・保存等の検討のため、雑誌担当者会を発足。 葛飾図書館以外でのCD、カセットテープ及びレコードの貸出に向けてAV担当者会を発足。
	6	1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。 16日、葛飾図書館に「葛飾区コーナー」を設置。朝日新聞に掲載される。(6月11日朝刊) 「葛飾区コーナー」には、①葛飾区についての記述のある図書、②葛飾区の地名がのっている図書、③葛飾区在住の画家、工芸家等の作品が掲載されている図書、④葛飾区内に在住している人の著作(過去に在住した人を含む)を置く。設置時約130冊。
	7	区内の小学生に対し、学校を通じて夏休み向けパンフレット、推薦図書リストを配布、図書館利用を呼びかける。
平成	月	
元	1	区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸し出しに向けて準備を開始。
	4	1日、葛飾図書館組織改正。奉仕係、資料係及び主査を廃止し、図書館サービス主査3人を新設。(主査3人の事務分掌は、一般奉仕、児童奉仕、電算・広報・調整とする。) 新聞の区内図書館関連記事の切り抜きを開始。 区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足。 資料収集について検討する資料委員会を発足。 電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
	7	1日、区立図書館全7館の児童室開室時間を、それまでの平日午後1時から、一般室と同様午前9時からに改正。
	8	4日、水元図書館で、小学生が「一日図書館員」を体験。
	11	1日、区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始。(開始時の所蔵は、CD5,507枚、カセットテープ10,628巻、レコード8,356枚。)貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なしとした。貸出期間は図書と同じく2週間。産業経済新聞に掲載される。(10月26日朝刊) CDの貸し出しが11月1ヶ月間で1.4回と好調。 同日、葛飾図書館のCD、カセットテープ及びレコードの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合した。これに伴い、貸出時間を午後5時から午後8時まで延長。
2	1	区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾「地方出版物」、立石「戦争と平和」、お花茶屋「実年」、上小松「外国語」、亀有「環境問題」、水元「ヤングレファレンス」、鎌倉「消費者」。葛飾図書館の地方出版物コーナーが読売新聞に掲載される。(1月26日朝刊)

平成	月	
2	1	葛飾図書館に洋書コーナーを設置。ビジュアルなものや世界の名作、日本を紹介したものを中心に新規購入した 750 冊を加え、1,200 冊を備える。
	4	図書、雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CD とカセットテープの貸し出しも 4 点までに拡大。 障がい者に対する区立図書館のサービスを検討する障がい者サービス委員会発足。
	7	1 日、CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ。
	10	区立図書館全 7 館において、蔵書の収集分担を開始。分野は、葛飾「0 類（総記）・1 類（哲学）・8 類（言語）・9 類（文学：小説を除く）」、立石「3 類（社会科学）」、お花茶屋「4 類（自然科学）」、上小松「7 類（芸術）」、亀有「5 類（技術）」、水元「2 類（歴史）」、鎌倉「6 類（産業）」。
	11	1 日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
3	1	5 日、CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより予約受付は、全館の資料が対象になると同時に、返却も任意の館にすることを可能とした。 区立図書館全 7 館において、文庫本の収集分担を開始。葛飾「ちくま文庫」、立石「P H P 文庫」、お花茶屋「福武文庫」、上小松「知的生き方文庫、講談社英語文庫」、亀有「河出文庫」、水元「同時代ライブラリー」、鎌倉「講談社学術・文芸文庫」。
	3	「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、郷土資料室所蔵の資料を同博物館に移管することとなり、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止した。
	6	CD-ROM の収集を開始。
	7	ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を開始。 ビデオ映写機を地域館 6 館にリースで設置。
	11	ビデオ映写機を教育センター第 1 会議室にリースで設置。 音訳ボランティア中級講座を開催。
4	1	葛飾図書館 2 階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等区民に役立つ各種の情報資料（主として図書、雑誌）を集めた、情報コーナーを設置。資料の収集範囲と分類は、次のとおり。 (1) 情報源がのっているもの。 (2) 読書の手がかりとなるもの。 (3) 旅行案内。地図。 (4) 都内の施設、機関、情報等に関するもの。 (5) 文化、趣味、スポーツのための施設、場所案内。 (6) 学習、受験、資格取得のための施設、機関、情報等に関するもの。 (7) くらし、住まい、仕事に役立つ情報。 (8) 医療、健康についての施設、機関等に関するもの。 (9) 全国の電話帳。

平成	月	
4	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行。（第1回バージョンアップ）（同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施）利用者開放端末「はてなくん」を設置。
5	3 7 8	葛飾図書館の児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放。 各館代表者で構成する図書収集方針策定委員会を発足。 小学生の「一日図書館員」を全館で実施。
6	11	葛飾図書館（教育センターホール）で「図書のリサイクル市」を試行。2日間で来場者数2,973人、22,332冊（内訳：一般書14,882冊・児童書4,230冊・雑誌3,220冊）の本を提供。 地域館で、視覚障がい者に対する宅配サービスを試行実施。
7	1 5	葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入200巻を加え、928巻を備える。貸し出しは1人1巻で1週間。 朗読ボランティア初級養成講座を開催。 図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。（現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。）
8	5 12	朗読ボランティア中級養成講座（全10回）を開催。 7日、四つ木地区図書館（四つ木四丁目8番1号 よつぎ小学校内）開館。葛飾図書館の分館とする。
9	8 11	葛飾図書館の2箇所目の分館として、西水元地区図書館設立工事着工。 「本のリサイクル市」を亀有図書館で単独開催。1日で来場者数820人、4,500冊（内訳：一般書2,500冊・児童書1,500冊・雑誌500冊）の本を提供。
10	4	第3日曜日を開館日とする。（地区図書館を除く） 館内整理日を第4木曜日とする。 対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始。 視覚障害・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催。 文庫目録、要項を作成。
11	1 6	電算システム新機種へ移行。（第2回バージョンアップ） ソフトは2000年対応を含め、部分開発をする。 AVマーク（AV-NOCS）の導入及び図書マーク（日販マーク）のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）が検索可能になる。 1日、西水元地区図書館（西水元二丁目2番8号 西水元あやめ園内）開館。葛飾図書館の分館とする。
12	4	葛飾図書館の組織を改正。（管理係・一般サービス係・児童サービス係から、管理係・調整係・図書館サービス係となる。）

平成	月	
12	4	四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時から午後5時までとする。 返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たに資料の貸し出しは行わないこととする。 ビデオソフトの貸出期間を2週間とする。 葛飾図書館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。 組織改正に伴い、各館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定とし、事務の効率化を図る。 資料の装備を委託から直営に切り替える。 一般公募による非常勤職員を初めて採用。(24名)
	9	利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成。 お花茶屋図書館耐震及び空調設備改修工事実施。(9/20～11/24 休館)
	11	子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催。(高楼方子氏 10/29・松岡佑子氏 11/18・小林衛己子氏 11/26) また、「むぎわらぼうしの12年展」を葛飾図書館ロビーにて同時開催。(10/29～11/26) 子ども読書年記念リーフレット「いっぽ いっぽ」を作成。
13	3	教育研究所が、旧明石小学校へ移転。 FＭかつしかで、月2回(第2・第4水曜日) 図書館の放送時間を新設。
	4	教育研究所移転により図書館単独施設となる。教育センターの名称を変更し、葛飾図書館とする。 地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始。 地域館・地区館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。 葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録。
	6	亀有図書館冷暖房設備改修工事実施。(6/5～7/9 休館) 障がい者サービスの利用案内(墨字版)を作成。
	7	1日から葛飾図書館1階エントランスにて、検定前の小・中学校教科書の展示会を開催。 19日、葛飾ゆかりの作家 中島梓氏の御母堂よりその著作の寄贈を受ける。
	9	録音図書全国総合目録への参加。5作品を登録。
	10	庁内レファレンスサービス事業を開始。 葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始。 紛失・汚破損マニュアルを改訂。
	12	葛飾区立図書館の所蔵するレファレンスブック(参考図書)一覧を改訂。 障がい者サービスの利用案内(点字版)を作成。
14	1	葛飾図書館三階の行政資料室を旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化し充実を図る。 利用案内のハングル語版を新たに作成。

平成	月	
14	3	総合的な学習や調べ学習を支援するため、「図書館利用案内小中学校版」を作成。
	4	「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月公布・施行）に定められた「子ども読書の日」（4月23日）にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催。
	5	図書館システムのリース期間満了（平成15年12月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。（7月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。）
	6	「第1期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催。（受講定員25名に対し、95名の応募。）
	7	中学生、高校生向きの図書リスト「D o g e a r s（ドッグ イアーズ）」を作成し、区立中学校全生徒に配布。
	9	葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事实施。（9/2～11/30 休館）併せて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置。葛飾図書館にBDS（ブック・ディレクション・システム - 葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム）を設置。
	10	区制70周年記念行事の一つとして、「シルバー図書館員」を実施。その他、翌年3月までに区制70周年記念行事として、講演会（林あまり氏 1/18・あきやただし氏 1/25）、人形劇、葛飾昔話紙芝居会、16mmフィルム上映会、区制70年と葛飾区立図書館あゆみ展、文学で見る葛飾区展などを開催。
15	2	「第2期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催。（応募者が多数のため第1期を受講できなかった方々の要望に応え、第2期を開催。受講定員25名に対し105名の応募。） 「葛飾区立図書館基本計画」を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスの計画的な充実を図る。
	4	開館日及び開館時間を拡大する。（地区図書館を除く。）（祝日（1月1日を除く）も開館し、月曜日が祝日にあたる場合は、月曜日を開館し、翌火曜日を休館とする。祝日の開館時間は、午前9時～午後5時まで。また、土曜日の開館時間を午後5時から午後8時までに延長する。） AV資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止。 各地域図書館に専用レファレンスカウンターを設置。（地区図書館を除く。葛飾図書館は平成14年12月に設置。） 平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始。
	6	水元図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。
	8	多くの子どもたちが参加できるよう、「一日図書館員」の開催日を増やす。
	9	9月5日、葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区中央図書館建設検討委員会（庁内検討組織）を開催。

平成	月	
15	9	9月27日から、前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期 中級読み聞かせボランティア講座」を開催。
	12	図書館システムの入替え工事開始。全館12月22日から翌年1月9日まで休館。 入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。（全職員を対象に新システムの操作研修を実施。） 葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置。（8席）
16	1	全館1月10日に開館。新システムによる業務開始。 10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。 10日より、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。 17日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。 28日より、インターネットによる予約受付開始。 新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。AV資料については変更なし。 リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。 葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。
	4	1日、葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設。 文部科学省から今までの児童サービスについての功績に対して、表彰を受ける。
	5	12日、青戸地区図書館開設。（青戸5丁目20-6 青戸地区センター内）葛飾図書館の分館とする。 新中央図書館の基本設計に向けた図書館内検討チーム発足。 水元保健センター管内の児童館・保育園・図書館による子育て支援機関連絡会に参加。（水元） 本年度から導入された、学校図書館支援指導員の導入に伴う、研修を図書館で実施。 新中央図書館整備にあたり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置。
	6	新中央図書館整備に向けて、「新中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をとりまとめる。
	7	「葛飾区子ども読書活動推進計画」の策定に向けて、検討委員会発足。
	8	お花茶屋図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。 居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に中学生のグループ学習に開放。（上小松）
	10	お花茶屋図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
	11	葛飾図書館においてDVDの貸し出し開始。 葛飾図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
		金町保健センター管内の児童館・保育園・図書館子育て支援機関連絡会に参加。（葛飾）

平成	月	
16	11	葛飾図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。
	12	1 日、千葉商科大学との連携事業開始。(図書館が発行した紹介状を持参した区民は千葉商科大学付属図書館の利用カードが発行される。)
17	2	上小松図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。 ブックスタート事業開始に向けた、ブックスタート準備会発足。 金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバル」を開催。(葛飾)
	3	利用者の登録更新期間を3年から5年に延長。 亀有図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。
	4	非常勤図書館専門員の導入。(葛飾区立図書館での経験5年の者は非常勤図書館専門員として最大3年間まで雇用継続。) ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館へ」を作成。 区内小・中学校への図書配送サービスを開始。 図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始。 「お気に入りの本を絵にしよう」を実施。(優秀作品は表彰の後、全館を巡回展示。)
	5	区内中学校の生徒に利用カードを配布。 葛飾区子ども読書活動推進計画の策定。 ブックスタートボランティア講習会を実施。 鎌倉図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。 ヤングアダルトサービスマニュアルの作成。 パソコンを使った手づくり絵本教室開催。 「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集。(18名応募の中7名選定)
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを2台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示を始める。
	8	ブックスタート事業の開始。(図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み。)
		立石図書館の改築を目的とした、PFI可能性調査を実施。
	12	12月28日と1月4日を開館日とする。
	1	葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。(インターネットでも公開。)
		ホームページアクセス数100万件を超える。
18		文字・活字文化振興法施行記念講演会「子どもと本の架け橋に」を実施。(島 多代氏)(読み聞かせボランティア講座中級の公開講座をかねて。)
	3	新中央図書館実施設計完成。 利用者アンケートの実施。
	4	葛飾図書館でカウンター業務の一部委託が始まる。 葛飾図書館のみ月曜日を開館とする。

平成	月	
18	4	メールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。 ブックスタート事業の開催場所が、各図書館から各保健所、保健センターへ変更。 保健所、保健センターで実施される3・4ヶ月健診時に実施。
	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 病院・施設入所者への宅配サービス開始。 点字プリンターを設置。
	6	亀有図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。デザインを変更。
	9	ビジネス関連コーナーを拡充。（葛飾）
	11	再開発ビル起工。 障がい者サービスボランティア入門講座実施。
19	3	中央図書館開設懇談会を終了し、（仮称）図書館友の会準備会へ移行する。
	5	（仮称）図書館友の会準備会発足。
	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 図書館ボランティア基礎講座開催。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	I C タグシステムの導入決定。
20	2	21 年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数 300 万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。 葛飾図書館友の会設立。
	11	I C タグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
21	3	立石図書館が建替え工事のため、休館。立石サービスコーナー開設。
	4	図書マークを、ニッパンマーク（N S）から T R C マーク（T R C）に移行。
	5	葛飾区立中央図書館窓口業務プロポーザルの公募開始。
	6	「葛飾図書館さよならリサイクル市」開催。 葛飾図書館は縮小運営。一階部分で図書館サービスを開始。
	7	再開発ビル中央図書館部分引き渡し。 中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定。（委託期間平成 21 年 9 月から 24 年 8 月）
	8	葛飾図書館引越し開始。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、I C タグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各 1 台が稼働。（地区図書館は除く。） 図書館メールアドレスの変更。

平成	月	
21	9	図書館ホームページデザインのリニューアル。 Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。 「葛飾区視聴覚ライブラリーに関する規則」及び「16ミリフィルム等に関する規則」の廃止を文教委員会に提出。
	10	葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。 自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。 中央図書館でビジネス支援サービスの一環として「ビジネス相談会」を開催。 中央図書館でオリジナル図書館バッグを販売。 葛飾図書館は新宿図書センターに名称を変更。区内図書館ストックヤードの保存庫機能と地区図書館としての機能を併設させる。
	11	図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。
22	2	Eメールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。 文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト（図書館による貧困・困窮者支援）」の参加を中央図書館が表明。
	3	平成22年度前期中央図書館ビジネス相談会の定期的開催を決定。 16ミリフィルム及び16ミリ映写機の貸出を終了。
	4	南奥戸小学校内に開設する奥戸地区図書館の開設準備を開始。 立石図書館リニューアル開館のための開設準備を開始。 新宿図書センターに区内図書館のストックヤードとして保存庫を開設。 国会図書館、各大学図書館所蔵の相互貸借資料の有料化を図る。
	6	新宿図書センター内の学校図書配送エリアの運用及びレイアウトの検討のため、児童サービス委員会からPTを設立。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏のご遺族から、直筆原稿他約297点の寄贈の申し入れ。 中央図書館一周年記念事業として、図書館所蔵資料の葛飾コレクション図録の作成と葛飾区ゆかりの作家の資料展を開催。
	9	新宿図書センターの1階部分について、図書館機能と学校図書館支援機能を持たせるため、改修工事を実施。（9月27日から1月4日） 改修工事中は2階をサービスコーナーとして縮小開設。
	10	ヴィナシス金町（再開発ビル）一周年記念行事に図書館も参加し、ブックトークを行う。 新立石図書館の特別資料は、かつしかエコライフプラザとの併設のため「環境」とする。

平成	月	
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	2	子ども読書活動推進計画（第二次）子ども読書活動を推進するための基本的な指針（素案）の報告、検討、確定を行う。
	3	東日本大震災発生。（3月11日） 被害状況確認のため、全図書館を17時に閉館。（3月11日） 13日の開館に向け、全図書館を休館。（3月12日） 12日の休館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日、12日までの利用者の方の資料の取り置き期限を、15日まで延長。 全図書館で、節電協力のため閉館時間を午後5時に縮小して開館。（3月13日以降） 全図書館で「地震」の緊急特設及び特集展示を開始。（3月13日） 地震発生に伴う省エネ、節電のため、中央図書館を17時で閉館。（3月14日） 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定。（3月15日） 利用者の方の資料の取り置き期限を、15日から16日に延長。 全図書館の開館時間を当面の間17時までに短縮する縮小開館を決定。（3月15日） 縮小開館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日から18日までの利用者の方の取り置き期限を、18日まで延長。 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定。（3月18日） 災害発生時の安全を考慮し、中央図書館及び西水元地区図書館で一部の行事の中止を決定。（3月19日） 震災の影響で葛飾区内に避難されている方の利用登録及び貸出を開始。（3月23日） 水元学び交流館に避難されている方へ、団体貸出を開始。貸出資料約50冊。（3月25日） 水元学び交流館において、読み聞かせを実施。参加者は一般5名、児童6名（3月25日） 水元学び交流館への団体貸出を実施。貸出資料約80冊。（3月30日）
	4	南奥戸小学校内に奥戸地区図書館が開館。（4月2日） 12日より30日まで、館内を消灯し、カウンター業務を一部縮小して夜間開館を行う。 （縮小夜間開館中にご利用いただいたサービス：予約で取り置いている資料の貸出、受取館の変更、貸出中資料の延長、再貸出、資料の予約、資料の返却、新規の利用登録、住所・電話等の変更登録） ・中央図書館の夜間開館時間：午後5時から午後8時まで ・地域図書館の夜間開館時間：（日曜日・祝日を除く）午後5時から午後8時まで ・地区図書館の夜間開館時間：（金曜日のみ）午後5時から午後8時まで

平成	月	
23	5	中央図書館で、開館時間を午後 8 時まで短縮した上で、通常のサービスを開始。(6 月 30 日に開館した立石図書館でも同様。) また、地域図書館及び地区図書館で通常のサービスを開始。(5 月 1 日～9 月 11 日)
	6	立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。(6 月 30 日) 中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナー、簡易返却器によるシステムを開始。 「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)～子ども読書活動を推進するための基本的な指針～」を策定。おおむね 5 年間を計画期間とし、子どもの読書活動の推進のための充実を図る。
	7	各地区図書館で行っていた学校への団体貸出用のパックを、新宿図書センターに設けた団体貸出エリアからの団体貸出・返却として一元化に変更した。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏の寄贈直筆原稿を含め、葛飾区関連の地域資料のデジタル化のためシステム開発準備開始。
	9	中央図書館及び立石図書館で、10 日より通常の開館時間でサービスを開始。 新宿図書センター3 階部分の閲覧席 80 席を開設。
	10	新宿図書センターに設けた学校図書支援コーナーを開設。小中教科書を含み、主に学校図書館関係者に参考になる資料を中心に収集する。
	12	中央図書館で年末年始会館(12 月 31 日から 1 月 3 日)を実施。
24	1	年末年始開館 4 日間の延べ来館者数は 8,698 人、貸出数は 6,540 点(図書・雑誌・A・V 資料計)。
	2	ホームページアクセス数 1,000 万件を超える。
	3	寄贈直筆原稿及び葛飾区関連資料のデジタル化した地域資料の納品完了。 「葛飾区立図書館利用に障害のある人へのサービス実施要綱」改正。
	4	図書館が所蔵する葛飾ゆかりの作家の自筆原稿を始めとする館内の地域資料を 23 年度にデジタル化したのを受けて、一般公開を行うためにシステム改修とデジタル地域資料の図書館ホームページコンテンツの作成に着手。 上記作業を目的とする図書館内検討チームを発足。
	5	「葛飾区立図書館の基本的な考え方(取組方針)」策定に向けた図書館内検討チームを発足。 葛飾区立中央図書館窓口プロポーザルの公募開始。
	7	葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)に基づき、「セカンドブック」事業の準備を開始。 中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定。(委託期間平成 24 年 9 月～27 年 8 月)
	8	図書館利用者アンケートを区内全図書館、区役所、図書館ホームページにて実施。 (10 日～31 日)

平成	月	
24	10	改修工事のため、水元図書館業務縮小開館実施。(10月1日から19日まで) 業務縮小開館中は、月曜日に加え土曜日、日曜日、祝日を休館日とし、閉館時刻を午後5時とした。 また、水元図書館は10月20日から25日まで特別整理期間として休館した。 中央図書館開館3周年記念として5つの講演会、大人のための職場体験、図書館見学ツアー、おはなし会等子どもから大人まで楽しめるイベントを多数実施。 「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づいた多文化サービスの一環として、「いろんなことばのおはなし会」を実施。年4回の定例化とした。
	12	葛飾区立図書館の利用に関するアンケート報告作成。 中央図書館及び立石図書館で年末年始開館(12月31日から1月3日)を行う。
25	1	年末年始開館4日間の延べ来館者数は、中央図書館は9,047人、立石図書館は3,348人。貸出数は、中央図書館は6,146点、立石図書館は2,996点。(図書・雑誌・AV資料計)
	3	8月に実施した葛飾区立図書館の利用に関するアンケート結果概要版を公表。 デジタル画像約18,000点を館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるように図書館システムへのデータ取り込みを実施。4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開する。 ※館内OPAC，図書館ホームページは著作権の関係で一部のみ閲覧。専用パソコンでは全文閲覧が可能。

(2) 葛飾区立図書館 システムのあゆみ

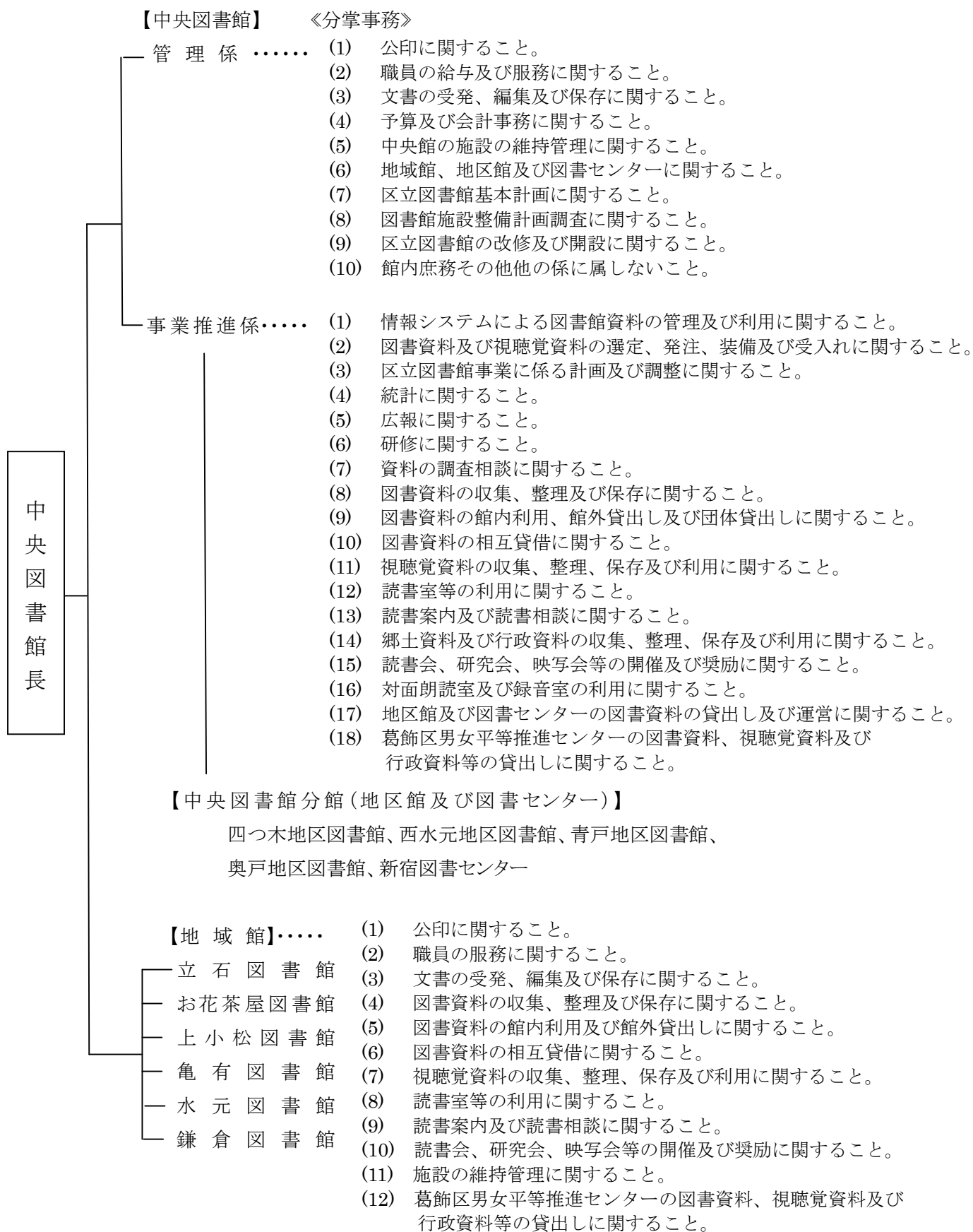
昭和	月	
60	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62	6	同日、葛飾、立石、鎌倉 3 館によるオンラインサービス開始。23 区初の利用者用端末を設置。 利用者用端末は、タッチ式キーボードでかなとローマ字のオーバーレイを切り替えて使用する方式だった。
63	6	1 日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館 7 館全館オンラインサービス開始。
平成		
元	4	電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
2	11	1 日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
4	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行。(第 1 回バージョンアップ)(同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施) タッチパネル方式の利用者開放端末「はてなくん」を設置。 新システムでは利用者開放端末が業務系と切り離されたため業務系への負担が減少。
7	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。(現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。)
8	12	7 日、四つ木地区図書館(四つ木四丁目 8 番 1 号 よつぎ小学校内)開館。葛飾図書館の分館とする。
11	1	電算システム新機種へ移行。(第 2 回バージョンアップ) ソフトは 2000 年対応を含め、部分開発をする。 AVマーク(AV-NOC S)の導入及び図書マーク(日販マーク)のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録(MET L I C S)が検索可能になる。 館指定予約リストの出力を開始。
	6	1 日、西水元地区図書館(西水元二丁目 2 番 8 号 西水元あやめ園内)開館。葛飾図書館の分館とする。
12	4	葛飾図書館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
13	4	地域館、地区館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。

14	5	図書館システムのリース満了（平成 15 年 12 月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。（7 月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。） ・汎用機からクライアントサーバーへ移行 ・WebOPAC 公開 ・メール送信機能
	9	葛飾図書館に BDS（ブック・ディレクション・システム～葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム）を設置。
15	12	図書館システムの入替え工事開始。全館 12 月 22 日から翌年 1 月 9 日まで休館。入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。（全職員を対象に新システムの操作研修を実施。） 葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置。（8 席） 全館のインターネットパソコンの回線を ADSL に変更。
16	1	全館 1 月 10 日に開館。新システムによる業務開始。 10 日、葛飾区立図書館ホームページを開設。 10 日より、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。 17 日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。 28 日より、インターネットによる予約受付開始。 新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて 30 冊まで、予約冊数については合わせて 20 冊までとする。AV 資料については変更なし。 リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。 葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。
	5	12 日、青戸地区図書館開設。（青戸 5-20-6 青戸地区センター内）葛飾図書館の分館とする。
	10	ホームページアクセス数が 30 万件を超える。
17	3	利用者の登録更新期間を 3 年から 5 年に延長。 ホームページアクセス数が 50 万件を超える。
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを 2 台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
18	1	葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。（インターネットでも公開。） ホームページアクセス数が 100 万件を超える。
	4	メールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。

	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 点字プリンターを設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。デザインを変更。
19	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	I C タグシステムの導入決定。
20	2	21 年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数が 300 万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。I C タグ、自動返却仕分機、I C 予約棚、自動貸出機を検討。
	11	I C タグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
21	4	図書マークを、ニッパンマーク（N S）から T R C マーク（T R C）に移行。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、I C タグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各1台が稼働。（地区図書館は除く。） 図書館メールアドレスの変更。 図書館ホームページデザインのリニューアル。 W e b からの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。
	10	葛飾区立中央図書館開館。23 区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。 自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。
	11	図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。
22	2	E メールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	3	東日本大震災発生。（3 月 11 日）。システムは通常どおり稼働。
	4	南奥戸小学校内に奥戸地区図書館が開館。（4 月 2 日）
	6	立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。（6 月 30 日） 中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナー、簡易自動返却機によるシステムを開始。 図書館ホームページの「葛飾百科」が稼働。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏の寄贈直筆原稿を含め、葛飾区関連の地域資料のデジタル化のためシステム開発準備開始。
24	2	ホームページアクセス数が、1,000 万件を超える。
	8	男女平等推進センターの全資料に I C タグを貼付。

25	4	A Vマークを、日図協マーク（ライト版）から日図協マーク（スタンダード版）に移行。 館内検索機及び図書館ホームページにて、「かつしかデジタルライブラリー」の公開を開始。（4月1日） 中央図書館において、すべてのデジタル画像が閲覧できる「かつしかデジタルライブラリー専用パソコン」を4台設置。（4月1日）
----	---	--

3 組織図（館・係名及び分掌事務）

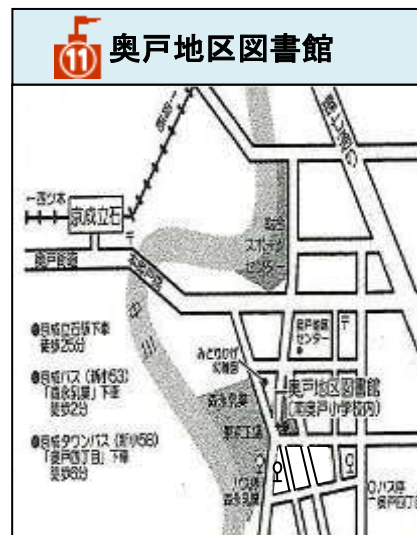


4 開館時間・休館日

館 名		開 館 時 間		休 館 日
中央 立石	一 般 室	月～土	午前 9 時～午後 10 時	館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 4 日間)
		日・祝 12/29-30	午前 9 時～午後 8 時	
		年末年始 (12/31-1/3)	午前 9 時～午後 5 時	
中央 立石	児 童 室	月～日 祝	午前 9 時～午後 6 時	
		年末年始 (12/31-1/3)	午前 9 時～午後 5 時	
お花茶屋 上小松 亀有 水元 鎌倉	一 般 室	火～土	午前 9 時～午後 8 時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 4 日間) 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
	児 童 室	火～日 祝	午前 9 時～午後 5 時	
四つ木 西水元 青戸 奥戸 新宿		火～木 土・日	午前 10 時～午後 5 時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 2 日間) 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日) 国民の祝日(祝日が月曜または 館内整理日の場合は翌日も)
		金	午前 10 時～午後 8 時	

5 施設の概要





施設の概要

	 中央図書館	 立石図書館	 お花茶屋図書館	 上小松図書館	 亀有図書館	 水元図書館
創 立 年 月 日	H.21.10.17	S.24.1.10 (S.48.5.1及び H.23.6.30 全面改装開館)	S.52.6.1	S.52.10.1	S.56.10.1	S.57.6.1
所 在 地	〒125-0042 金町6-2-1 ヴィナシス金町 ブライコート3階       (有料)	〒124-0012 立石1-9-1    	〒124-0003 お花茶屋2-1-15   	〒124-0023 東新小岩 3-12-1 (都営住宅1階)  	〒125-0061 亀有1-17-5 (都営住宅1・2階)  	〒125-0033 東水元1-7-3    
電 話 番 号	03-3607-9201	03-3696-4451	03-3690-7661	03-3696-7901	03-3690-1901	03-3627-3111
F A X 番 号	03-3607-9200	03-3696-3750	03-3838-5771	03-5698-1755	03-3838-5772	03-3627-3114
閲 覧 座 席 数	450 席	180 席	58 席	64 席	80 席	78 席
パソコン持込可能席	42 席	5 席	6 席	6 席	0 席	0 席
インターネットコーナー	15 席	10 席	2 席	2 席	2 席	2 席
敷 地 面 積	—	614.13 m ²	911.09 m ²	—	—	2,982.81 m ² (区の複合施設)
延 床 面 積	5,077.85 m ² (図書館部分)	1,426.00 m ²	1,754.80 m ²	1,030.90 m ² (図書館部分)	1,472.60 m ² (図書館部分)	1,735.00 m ² (図書館部分)
蔵 書 数	360,166 冊	85,174 冊	111,659 冊	102,928 冊	110,509 冊	98,982 冊
(一 般 書)	(310,901 冊)	(65,831 冊)	(84,603 冊)	(80,587 冊)	(81,786 冊)	(71,190 冊)
(児 童 書)	(49,265 冊)	(19,343 冊)	(27,056 冊)	(22,341 冊)	(28,723 冊)	(27,792 冊)
雑誌タイトル数	382 種	167 種	173 種	161 種	162 種	158 種
新 聞 購 読 数	36 種 (及び東日本大震災被災地の新聞3種)	14 種 (及び東日本大震災被災地の新聞2種)	13 種 (及び東日本大震災被災地の新聞2種)	15 種	12 種	14 種
A V 資 料 数	11,330 点	3,482 点	3,189 点	4,426 点	3,543 点	3,169 点
〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕						
開 館 日 数	349 日	349 日	292 日	292 日	292 日	287 日
職 員 数	26 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
(司書・司書補)	(4 人)	(1 人)	(2 人)	(3 人)	(2 人)	(1 人)
非 常 勤 職 員 数	9 人	24 人	12 人	11 人	12 人	12 人
(司書・司書補)	(6 人)	(13 人)	(9 人)	(6 人)	(11 人)	(8 人)
委 託 職 員 数	37 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
(司書・司書補)	(14 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)

* 司書・司書補は職員の内数。

* 閲覧席数・蔵書数・雑誌タイトル数・新聞購読数・AV資料数は平成25年4月1日現在。

* 職員数・非常勤職員数は平成25年4月1日現在、開館日数は平成24年度実績。

* 雑誌タイトル数・新聞購読数の合計欄の数は区立図書館の全タイトル数。

* 中央図書館、立石図書館、及びお花茶屋図書館の新聞購読数には、東日本大震災被災地の新聞(それぞれ3種、2種、2種)を含む。

* 新宿図書センターの蔵書数及びAV資料数には、学校図書支援センター所蔵分を含む。

 鎌倉図書館	 四つ木地区図書館	 西水元地区図書館	 青戸地区図書館	 奥戸地区図書館	 新宿図書センター	合 計
S.62.6.25	H.8.12.7 (中央図書館分館)	H.11.6.1 (中央図書館分館)	H.16.5.12 (中央図書館分館)	H.23.4.2 (中央図書館分館)	H.21.10.17 (中央図書館分館)	
〒125-0053 鎌倉2-4-5  	〒124-0011 四つ木4-8-1 よつぎ小学校内 	〒125-0031 西水元2-2-8 西水元あやめ園内 	〒125-0062 青戸5-20-6 青戸地区センター内   	〒125-0022 奥戸3-5-1 南奥戸小学校内   	〒125-0051 新宿3-7-1     	
03-3650-7741	03-5670-3321	03-5660-2201	03-3838-1273	03-3696-2781	03-3607-9105	
03-5694-4421	03-5670-3422	03-5660-2203	03-3838-1269	03-3696-2785	03-3607-9209	
96 席	10 席	14 席	6 席	3 席	114 席	1,153 席
2 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	61 席
2 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	35 席
1,591.52 m ²	—	—	—	—	3,995.69 m ²	
1,827.40 m ²	230.40 m ²	303.76 m ²	219.56 m ²	306.00 m ²	5,524.05 m ² (図書館部分は 2,406.53 m ²)	17,790.80 m ² (図書館部分)
111,101 冊	37,115 冊	38,040 冊	32,158 冊	29,633 冊	92,453 冊	1,209,918 冊
(83,143 冊)	(24,398 冊)	(24,644 冊)	(19,920 冊)	(20,373 冊)	(29,612 冊)	(896,988 冊)
(27,958 冊)	(12,717 冊)	(13,396 冊)	(12,238 冊)	(9,260 冊)	(62,841 冊)	(312,930 冊)
146 種	70 種	61 種	72 種	59 種	62 種	1,673 種
13 種	8 種	8 種	9 種	8 種	8 種	158 種
3,788 点	1,536 点	1,484 点	1,291 点	1,200 点	793 点	39,231 点
292 日	280 日	280 日	280 日	280 日	280 日	3,553 日
4 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	50 人
(3 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(16 人)
11 人	5 人	5 人	6 人	5 人	10 人	122 人
(7 人)	(2 人)	(2 人)	(3 人)	(1 人)	(5 人)	(73 人)
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	37 人
(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(14 人)

* パソコン持込可能席・インターネットコーナーは閲覧席数の内数。

* 立石図書館には、車椅子専用駐車スペース(1台分)がある。

*  だれでもトイレ  おむつ台  ベビーキープ
 授乳室  エレベーター  駐車場

6 各サービスの説明

(1) 一般サービス

①図書・雑誌の貸出

図書の貸出は、区内に在住・在勤・在学及び葛飾区に隣接している区・市に在住し、「利用カード」の交付を受けている方が対象。「利用カード」は、区内全 12 館で共通して利用できる。

貸出や検索等は、オンラインのコンピューターシステムにより行われている。貸出期間は 2 週間、貸出冊数は図書、雑誌合わせて 30 冊までである。

また、中央図書館及び各地域館に自動貸出機を設置し、中央図書館には自動返却仕分機を、中央図書館と立石図書館には予約棚を導入した。予約棚は、利用者自身で予約本を受け取る仕組みになっている。書架案内パソコンから予約資料の置いてある棚を確認し、職員を介さずに予約資料の受け取りをすることができる。

②閲覧

館内では、自由に図書を閲覧できるようになっているほか、コピーサービスも行っている。館内での閲覧には、住所要件などの利用制限はなく、誰でも自由に利用できる。

また、各館には参考図書（調べものの本）コーナーや新聞・雑誌コーナーが設けられている。中央図書館には閲覧室 1・2 のほか、利用カード登録者が自分で予約する個人閲覧席が 42 席ある。インターネットやデータベースを利用できる席が中央図書館に 9 席、立石図書館に 4 席、他の地域館に各 2 席ある。

③予約・リクエストサービス

1. 予約・リクエストサービス

図書館の蔵書には限度があり、その中で利用者の資料要求に応えるために予約・リクエストサービスがある。利用者の求める資料が貸出中、または自館で所蔵していない場合、図書・雑誌合わせて 20 冊を限度に予約・リクエストとして受け付け、主に次のような方法で提供している。

区内で所蔵している資料については、予約をいただき他の館から取り寄せ、到着後予約者に連絡している。なお、図書・雑誌・AV 資料等の運搬のため専用の交換車が毎日運行している。

区内未所蔵資料については、他区・市の図書館や都立図書館（館内閲覧の場合あり）・国会図書館（館内閲覧のみ）などから借りて提供するほか、選定会で検討し、購入して提供している。（ただし、他自治体からの取り寄せ、新規購入のリクエストサービスについては、近隣市在住の方には提供していない。また、国会図書館からの取り寄せは、区内在住で 18 歳以上の方のみ。）いずれの方法についても CD・カセット・ビデオ・DVD 及び漫画のリクエストサービスは行っていない。

2. 館内検索機（OPAC）及びインターネットサービスを用いた予約・リクエストサービス

館内検索機（OPAC）及び図書館ホームページからも予約・リクエストサービスを受け付けている。ただし未所蔵資料については、3冊を限度とし、区内在住の中学生以上の方のみ予約を受け付けている。

④レファレンスサービス

レファレンスとは、図書館に来館する利用者の様々な相談に応じることである。このレファレンス業務は、図書の貸出とならぶ図書館の重要な業務である。

例えば、「老人介護のことについて調べたい」あるいは、「オリンピックの歴史を知りたい」といった質問に対し、インターネット検索や図書資料を探して提供することで、利用者の要求に応じている。また、図書館ホームページ上からもレファレンスを受け付けている。レファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答については図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧する。

(2) 児童サービス

平成 21 年 3 月に東京都が「第二次東京都子供読書活動推進計画」を策定し、葛飾区においても平成 23 年 6 月に「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)」策定した。これに基づき、子どもが読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるよう様々な事業を行っている。

子ども対象の事業としては、おはなし会を開催し、年齢別のお薦めの図書リストを発行している。また、新小学 1 年生対象の事業として、従来から行っている 1 年生推薦図書リスト「いちねんせいになったらよんでみよう」の全児童への配付に加え、平成 24 年度からは、そのリストを図書館に持参するとスタンプを押してもらえる「一年生事業」を開始した。スタンプ押印時に、図書館の利用登録を勧め、おはなし会カードをプレゼントし、行事案内を行うことで、図書館の利用促進を図っている。

また、子どもに関わる機関や団体と連携したり、読書活動を推進するボランティアの育成をして、読書活動を広く普及、啓発している。

小中学校に対しては、新宿図書センター内に「学校図書団体貸出エリア」を設置し、一元的に団体貸出を行っている。また、小中学校関係者向けに「学校図書館支援コーナー」を設置し、学校図書館の選書や調べ学習に役立つ図書を集め、閲覧に供し、貸出を行っている。

セカンドブック事業については、平成 25 年度の実施に向けて準備を行った。

(3) ヤングアダルト（YA）サービス

小学校高学年から青年期の「大人と子ども」の境界にいる世代を YA（ヤングアダルト）と位置付け「読書の楽しみ」を知ってもらうこと、様々な資料を使い問題を解決していく力を身につけてもらうことを目的として、この世代に向けたサービスを行っている。

平成 16 年 6 月に出された「葛飾区社会教育委員の会議」（青少年が読書に親しむ環境を整備するために）の答申では、区立図書館における中・高校生世代の利用の促進が大きな課題となっており、葛飾区では、中・高校生世代の居場所として図書館に YA コーナーを設置し、担当者が充実をはかっている。

サービスとしては、YA 世代向けの本のリスト「Dog ears」（ドッグイアーズ）や「鉄板本」、

また、新中学 1 年生向け利用案内「ピカ☆イチ」を作成し、配布を行った。さらに、学校での読書活動促進のための団体貸出の充実や、YA 世代向けホームページの作成を行った。

各図書館では、中学校の団体利用、職場体験、ボランティアの受け入れ、ブックトーク（テーマに沿った本の紹介）の実施、学校図書館支援指導員との交流や情報交換など様々な形で学校との連携を図っている。また、各図書館独自に YA 世代に向けての情報誌などを作成し、配布している。

(4) 視聴覚（AV）サービス

視聴覚サービスとして CD・カセットテープ・DVD の貸出を行っている。貸出対象は中学生以上、貸出期間は 2 週間、貸出点数は CD・カセット合せて 4 点まで、DVD は 1 点までとしている。16 ミリフィロムの貸出の事業は 21 年度をもって終了した。

中央図書館では、隔月で第 4 土曜日午後映画会を実施した（また、8 月第 1 日曜日に子ども映画会を実施した）。立石、お花茶屋、上小松、亀有、鎌倉の各図書館では、月 2 回～隔月で映画会を実施した。

(5) インターネットサービス

図書館ホームページでは、利用案内、行事予定、ベストリーダー、ベストオーダーなど図書館の様々な情報を提供している。各種情報提供はもちろんのこと、その他以下のサービスを提供している。

①資料の検索、予約

インターネット上で図書館資料を検索し、検索した資料をそのまま予約することが出来る。また、資料情報の幅広い提供を目的として区内図書館未所蔵資料への検索ができる。区内在住の中学生以上の利用者のみ、未所蔵資料へ 3 件まで予約ができる。さらに、検索した資料をまとめて予約をする機能である予約かごを使った予約サービスも提供している。

ただし、個人情報を保護するため、資料の予約や個人情報の確認には、パスワードの登録が必要となる。パスワードは各図書館の窓口で直接本人に交付する。（窓口で仮パスワードを交付し、利用者が館内端末機やホームページでパスワードを変更し、利用する。）

②メールサービス

予約した資料が到着した旨の連絡をする「予約確保連絡メール」、延滞の方へ送信する「督促連絡メール」がある。また、利用者の希望に応じて送信する「貸出情報お知らせサービス」、「返却期限お知らせサービス」、「新着図書お知らせサービス」、「メールマガジン送付サービス」があり、「メールマガジン送付サービス」は、パソコン版、携帯版を選択することができる。新着図書お知らせサービスでは、利用者が希望する新着図書をキーワード、分類から選んで登録ができる。

③レファレンスサービス

ホームページ上からメールレファレンスの受付を行っている。メールレファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答については図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧する。

④利用者登録事前申請

区内在住の方を対象に利用登録申請を事前にインターネット上で受け付ける。この登録を行うと、本登録を行う前に、3 件まで区内所蔵資料への予約ができ、本登録の際に予約した資料が用意できていれば、本登録と同時に予約した資料を受け取ることができる。

⑤館内でのインターネットサービス

中央図書館、立石図書館では、座席管理システムを導入し、従来の調査・研究支援サービスを強化するだけでなく、商用データベースを拡充して、ビジネス支援サービスの強化を図っている。そのほか、中央図書館の一般書エリアには検索コーナーを設置し、短時間のインターネット検索用のパソコンを用意している。

また、児童書エリアでは、児童向けにカスタマイズされたインターネット検索用端末と、調べ学習用のデータベースがある。

各地域館においても、利用者用のインターネット検索パソコンを配置し、調査・研究のためのインターネットサービスを行っている。

(6) 団体サービス

図書と区民とをより一層結びつける手段として、登録要件を満たした団体に、1 ヶ月間 50 冊まで貸し出せる団体貸出を行っている。

ここでいう団体とは、活動の場所が区内にある、読書サークル・地域文庫などの一般の団体のほか、幼稚園・保育園・学校・児童館・学童保育などの施設や、読み聞かせボランティアグループなど子どもの読書活動推進に関わるグループ、葛飾図書館友の会などの自主グループなどであり、図書館ではレファレンスや予約を含めて、それらの団体へのバックアップを行っている。特に各図書館で行っている保育園招待、小学校訪問・招待の際には、紹介した図書等の団体貸出を行っている。

学校への団体貸出サービスについては、新宿図書センター内の配送エリアを拠点としている。小・中学校向け「学習用図書」「読書活動支援図書」の各パックと学校からの「調べ学習」の要望に応じた図書を集め、学校の長期休みを除く毎週、小・中学校へ図書運搬車を運行し団体貸出用図書を配送している。

(7) 障がい者サービス

葛飾区では、通常の印刷文字による読書が困難な方、図書館への来館が困難な方など、図書館の利用に支障がある方を対象に次のようなサービスを行っている。

①対面朗読

利用者からの申し込みにより、図書館は音訳ボランティアに依頼をし、その利用者に最寄りの図書館または、自宅等で資料を朗読している。1回の利用時間は2時間以内で、月4回までである。また、中央図書館と立石図書館に対面朗読室がある。

②録音図書の作成及び収集

文字で書かれた資料を音訳して、カセットテープやCDに録音したものを録音図書という。作成は区内の音訳ボランティア団体に委託している。カセットに代わるデジタル録音図書（デジ録音図書ともいわれ、国際標準規格で50時間以上の収録が可能で、目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる）やマルチメディア化したデジ録音図書（音声にテキスト及び画像をシンクロ（同期）させ、音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵をみることができる）を収集している。

③点字図書の収集

点字図書については、日本点字図書館から購入したもののほか、区内の点訳グループが作成し、寄贈を受けたものを所蔵している。

④点訳絵本、布絵本の収集

点訳絵本については、区内の点訳ボランティアグループが市販の絵本に点訳し、作成を行っている。布絵本は、区内の布絵本ボランティアグループが作成している。

⑤郵送及び宅配サービス

点字図書や音訳資料などの図書館資料の貸出については、視覚障がい者から電話にて申し込みを受け、盲人郵便（盲人の方のみ無料で利用）により郵送を行っている。

また肢体不自由の方、高齢で図書館に来館することが困難な方に対してはご希望により、職員が宅配をしている。

⑥点字版資料リストの作成

中央図書館では、ハンディキャップコーナーに『点字図書資料リスト』・『朗読CDリスト』・『演歌CD&カセットリスト』の点字版を作成し閲覧している。

⑦点字及び録音図書、プレクストークの貸出

視覚障がい者の方向けには、点字図書及び録音図書を貸出している。また、デジ録音図書専用再生機であるプレクストークを1か月貸出している。区内に所蔵していない点字及び録音図書は全国の図書館から取り寄せて、利用者の要望に応じている。

また、「サピエ図書館（視覚障がい者のための電子図書館）」にあるデータをダウンロードして提供することもできる。

⑧音訳者養成講座の実施

区内で活動している音訳ボランティア向けに、年に各1回、音訳ボランティア講座を実施している。

⑨四者懇談会

年に1回、利用者、ボランティア（音訳・点訳）、図書館員が集い、情報交換を行い相互理解を深めながら、サービスの向上を図っている。

⑩『かつしかアイ・リブ通信』の発行

障がい者サービス情報として、テープ版・デージー版・点字版・FD版（点字）・墨字版を発行し、利用者の方々にお知らせしている。ご要望により、「白黒反転版」も提供できる。

(8) 広報活動

図書館の行事、利用案内などを「広報かつしか」に掲載しているほか、24年度は以下のような印刷物を作成し、広報活動を行った。

(一般対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
館報「としょかんだより」	各館共通	年1回	16,000部
事業年報	各館共通	年1回	250部
雑誌・新聞目録	各館共通	年1回	50部
図書館行事案内	各館共通	毎月1回	各館必要部数
各館だより（一般向け）	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 100～200部
各館だより（ヤングアダルト向け）	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～200部
ヤングアダルト図書リスト 「Dog ears（ドッグイアーズ）」	各館共通	年1回	17,000部
新中学1年生向け利用案内 「ピカ☆イチ」	各館共通	年1回	3,000部
24年度用図書館カレンダー	各館共通	年1回	66,000部

(児童対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
夏休み推薦図書リスト 「むぎわらぼうし」 (1,2年・3,4年・5,6年用の3種類)	全館共通	年1回	(3種類× 9,000部) 27,000部
1年生推薦図書リスト 「いちねんせいになったらよんでみよう」	全館共通	年1回	7,000部
児童室だより	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～350部
ライブラリー・インフォメーション 小・中学校先生向け利用案内	全館共通	年1回	50部
図書館見学・学級招待時の配布資料	各館独自	年1回	各館必要部数
ほんはともだち	全館共通	隔年	16,000部
ファーストブック	全館共通	隔年	10,000部

(9) 自主活動グループの支援

①一般の団体

文学研究・郷土史研究・読書に関わるボランティアをしている団体など生涯学習活動を行っているグループに対して、会議室の貸出やボランティア活動に必要な機器(点字プリンター他)の利用貸出等を含め、様々な活動の支援を行っている。

②子どもの読書活動に関わる団体

子どもの読書活動を進める上で、読み聞かせグループや学校での読書活動を推進するボランティアの活動を支援・育成している。

これらのボランティアグループが子どもの読書推進において地域の力として積極的に活かせるよう支援している。

(10) リサイクルコーナー

図書館で除籍した本・雑誌、区民の方が不要になった本(リサイクル本)を無料提供することで図書の再利用を図っている。各館にリサイクルコーナーを設けて、随時リサイクル本を提供している。

また、図書館の児童図書のリサイクル本に関しては、区内の児童館、幼稚園、保育園、小学校、中学校、支援学校等の子どもに関わる施設に優先的に譲渡し、児童図書の再活用を行っている。

(11) 学校との連携・学校図書館支援

子どもの読書活動の普及・推進や学校図書館の支援を目的に、小学校・中学校の学校図書館司書教諭及び学校図書館支援指導員と図書館職員、学校図書館で活動する図書ボランティアとの「学校図書館・公共図書館連絡会」を中央図書館と地域図書館ごとに立ち上げ、情報交換や連絡調整を平成16年度から継続して行っている。また、資料提供・読書活動の支援に力を入れている。

平成23年9月、新宿図書センター内に団体貸出用図書配送エリアを設け、これまで、各地域図書館に行っていた団体パックの配送を一元化し、学校への読書と調べ学習の支援を行っている。また、10月に開設した学校図書館支援コーナーでは区内の各図書館との連携を図りながら、学校図書館の選書のための参考となる資料を積極的に収集し、情報提供を行っている。

各図書館では、学級招待・訪問などの事業に取り組み、公共図書館の利用案内・ブックトーク・読み聞かせ・お話(ストーリーテリング)などを行い、図書館の利用促進を図るとともに、読書推進を行っている。

また、学校図書館支援指導員と図書ボランティアへの研修会を指導室と共催で開催し、新任教員研修の中では、読書活動に関する内容を学ぶ事を目的に区立図書館での実習を実施している。

(12) 学校図書館ボランティアへの支援

平成 14 年に主に小学校などで読み聞かせを行っている読書ボランティアに「読み聞かせボランティア講座(初級)」を開始。平成 15 年からは「読み聞かせボランティア講座(中級)」を開始し読書活動への支援としている。

平成 16 年に「葛飾学校図書館ボランティア連絡会」が発足し、ボランティア同士の情報交換・読み聞かせや読書活動についての技術や資質向上・学校図書館の機能についての学び・中学校の課題をテーマに研修会や学習会を重ね、平成 17 年からは、「子ども夢基金」の助成を受けフォーラムや講演会などを開催している。

図書館は、個々のボランティアを支援していくとともに、連絡会に対しても情報や資料の提供などで支援している。

(13) 大学図書館との連携

東京理科大学葛飾キャンパスの開学を機に、図書館では区内大学図書館の関連資料を集めたキャンパスコレクションの充実などを通して、専門分野への関心を高め、大学図書館が区民にとって身近なものになるよう促進に努めている。

東京理科大学葛飾図書館と中央図書館では、連携のために定例会を設け、18 歳以上の区民は身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により紹介状なしで利用できるよう利用条件を整えた。これからも区立図書館及び大学図書館双方の利用の充実を図っていくために連携を重ねていく。

また、近隣の千葉商科大学附属図書館利用については、葛飾区立図書館において紹介状を交付している。

(14) ビジネス支援サービス

ビジネス支援サービスでは、起業・新規事業立ち上げに関する情報、ビジネスパーソンのスキルアップや中小企業経営者・従事者に役立つ情報、就職・転職を考える方への情報を提供するなど、働く世代の課題解決を支援している。また、平成 21 年度の中央図書館開館以降、ビジネス支援セミナーやデータベースセミナー、ビジネス相談会等を実施している。

各館のビジネス支援サービスは以下のとおり。

- ・効率よく資料を探せるよう、またビジネス支援サービスを PR するために、出版年の新しいビジネス関連資料や、基本的な資料を 9 つのテーマのもとに配架。(中央図書館・立石図書館・お花茶屋図書館・亀有図書館)
- ・インターネットが利用できるパソコンの設置。(中央図書館・立石図書館・お花茶屋図書館・上小松図書館・亀有図書館・水元図書館・鎌倉図書館)
- ・持ち込みパソコンを利用できる席を設置。(中央図書館・立石図書館・お花茶屋図書館・上小松図書館・亀有図書館・水元図書館・鎌倉図書館)
- ・商用データベースを導入し無料で提供。(中央図書館 12 種、立石図書館他 7 種、パソコン設置館で 1~2 種)

商用データベース一覧

●朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries

朝日新聞の1879年創刊から1984年までの新聞記事と紙面イメージを収録。1985年以降はテキスト表示の記事データベースである。「AERA」（創刊1988年5月～）、週刊朝日（2000年4月～）ニュース面も記事検索できる。

●聞蔵Ⅱテキスト（朝日新聞記事検索）

朝日新聞の1985年以降のテキスト表示の記事データベースである。「AERA」（創刊1988年5月～）、週刊朝日（2000年4月～）ニュース面も記事検索できる。

●日経テレコン21（図書館限定版）

日経4紙（日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞）の記事データベースである。企業情報3万社、人事情報は約5,100社から19万人が収録されている。

●ヨミダス歴史館（読売新聞記事検索）

読売新聞の1874年創刊から1989年までの紙面イメージ、1986年以降の読売新聞記事テキスト、1989年以降の英字新聞「The Daily Yomiuri」記事テキスト、及び現代のキーパーソン約26,000人の情報をそれぞれ収録している。

●ヨミダス文書館（読売新聞記事検索）

1986年以降の読売新聞記事テキスト、1989年以降の英字新聞「The Daily Yomiuri」記事テキスト、及び現代のキーパーソン約26,000人の情報をそれぞれ収録している。

●D1-Law.com（判例体系全法編）

公刊、民刊の判例誌約100誌に公表された全分野の判例及び第一法規独自入手判例より、判例書誌（18万件）、判例要旨（32万件）、判例本文（16万件）を収録している。

●D1-Law.com（法律判例文献情報）

幅広い収録対象（図書・雑誌・研究紀要等）から選んだ法関連文献と判例の内容に即して分類し、独自のキーワードを加えて提供している。

●D1-Law.com（履歴検索）

公布情報をもとに、現在・過去・未来それぞれの時点で再生した現行法規、法律情報及び改正情報を収録している。

●Lexis AS ONE

広範な法律情報を収録したデータベース。法令（現行法令7,300に加え、改正履歴情報・廃止法令等も含む）、判例（約20万7千件）、判例解説、法律関連書誌・文献情報などを収録している。

●人物・文献情報 WHOPLUS

人物・文献情報のデータベースである。多数の人名事典類を一括検索できる。

●雑誌・論文情報 MAGAZINEPLUS

国立国会図書館（NDL）の「雑誌記事索引」ファイルのほか、論文集・学会年報・研究報告・一般誌・総合誌・ビジネス誌・海外産業誌紙・企業雑誌・国内経済専門業界誌等が収録されている。

●官報情報検索サービス

官報（本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録）を、インターネットで昭和22年5月3日日本国憲法施行日以降から当日分までを閲覧、検索できる。

●JapanKnowledge+

事典・辞書を中心に 30 以上のコンテンツを収録し多角的な知識、情報が網羅されている総合データベースである。辞書・事典から企業情報までの幅広いデータを、見出し検索、全文、用例、方言検索などの多彩な機能で検索できる。

●JDream II

科学技術及び医学・薬学関係の国内外文献が検索できるデータベース。論文検索、抄録を収録している。

●Mpac（マーケティング情報パック）

独自に調査された市場規模推移・予測や、業界における企業の売上、企業動向のデータなどが閲覧できる。データは、食品・化粧品・医療・情報機器・電子部品・IT 産業・FA 機器・サービス産業ほか多数の領域に分類されている。また、市場調査以外にも、家計調査・消費者調査のデータ、コンビニ POS データなどが収録されている。

●ポプラディアネット

子ども達の調べものや、学習に役立つ「総合百科事典ポプラディア」をもとに、最新の情報を追加、更新しているオンライン百科事典である（ポプラディアネットは児童コーナーで利用できる）。

●ルーラル電子図書館

「食と農」をテーマにした農文協の出版物などをデジタルデータで豊富に収録している。フリーワード全文検索や専用目次をクリックでたどるだけで、データを探すことができる。

各図書館において利用できるデータベースは以下の通り。

中央図書館	朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries
	日経テレコン 21（図書館限定版）
	ヨミダス歴史館
	D1-Law.com（判例体系全法編・法律判例文献情報・履歴検索）
	Lexis AS ONE
	雑誌・論文情報 MAGAZINEPLUS, 人物・文献情報 WHOPLUS
	官報情報検索サービス
	JapanKnowledge+
	JDream II
	Mpac(マーケティング情報パック)
	ポプラディアネット
立石図書館	朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries
	日経テレコン 21（図書館限定版）
	LexisNexis JP（現 Lexis AS ONE(レクシス・アズ・ワン)）
	人物・文献情報 WHOPLUS
	JapanKnowledge+
	官報情報検索サービス
	ルーラル電子図書館

お花茶屋図書館	日経テレコン 21 (図書館限定版)
	人物・文献情報 WHOPLUS
上小松図書館	聞蔵Ⅱテキスト(朝日新聞記事検索)
亀有図書館	ヨミダス文書館 (読売新聞記事検索)
水元図書館	聞蔵Ⅱテキスト(朝日新聞記事検索)
鎌倉図書館	ヨミダス文書館 (読売新聞記事検索)

(15) 図書館員のための新任研修・現任研修

図書館では、職員に対し公立図書館職員としての資質向上のための研修を実施している。

新任研修は、新しく図書館職員となった職員を対象に、ベテラン職員が講師となって「図書館員としての心構え」「図書館システム」からはじまり図書館の全般的な業務のほか、児童、障害者、レファレンス、YA など分野別にサービスの講義や実習など年 4 回実施した。

現任研修は、図書館運営やサービスに求められるテーマを決め実施している。24 年度は外部から講師を招き、9 月に「個人情報と公共図書館―事例をとおして考える」、2 月に「ネットライブラリと電子書籍―現状と公共図書館との関わり」というテーマで行った。

(16) 図書館海援隊

中央図書館では、平成 22 年 1 月 5 日に文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト (図書館による貧困・困窮者支援)」に賛同し、平成 22 年 2 月にプロジェクトへの参加表明をした。実施しているサービスは以下のとおり。

(「図書館海援隊」は有志の公立図書館が、関係部局と連携しながら、貧困・困窮者支援をはじめ、地域が抱える様々な課題に対する解決支援サービスへの取組である。)

- ・「ビジネスコーナー」内に<就職活動><資格試験>の見出しのもとに、各種業種、会社情報、履歴書・エントリーシートの書き方、面接の受け方、資格検定試験等のテキストを配架し、提供。
- ・「ビジネスコーナー」内に<起業・開業>の見出しのもとに、開業のための基本的な案内書や様々な業種の開業紹介本を配架し、提供。
- ・厚生労働省の 2011 年 9 月までの「緊急人材育成支援事業」に引き続きスタートした「求職者支援制度」による、雇用保険を受給していない失業者の方への安定した就職の役に立つ資格取得援助として、各種・専門学校の資格取得講座案内のチラシを、ハローワーク経由で収集し、提供。
- ・「ビジネス IT コーナー」でハローワークインターネットサービスへのリンクを設置。また商用データベースの無料提供により、記事検索やマーケティング情報検索によるビジネス情報を提供。
- ・「暮らしに役立つ法律情報コーナー」を設置。12 のテーマのもとに、身近な法情報関連図書を配架し、労働・生活に関するトラブル解決に役立つ図書等を提供。
- ・「暮らしに役立つ法律情報コーナー」において、日本司法支援センター「法テラス」発行の法的トラブル解決に役立つテーマ別のリーフレットを配架し、提供。

(17) 葛飾図書館友の会

「中央図書館開設懇談会」の有志が平成 19 年 5 月「(仮称)図書館友の会準備会」を発足した。そして、図書館ボランティア基礎講座を開催し、図書館について学びながら平成 20 年 5 月に「葛飾図書館友の会」を設立した。

当初総務委員会・広報委員会・事業委員会の三つの委員会で活動を開始した。

現在では、事業委員会がイベント委員会・ナイトシアター委員会・児童 YA サービス応援委員会・16 ミリフィルム映画を楽しむ会・展示企画委員会・CD・DVD コンサート委員会の 6 つの委員会に分かれ活動をしている。また、毎年総会を開き、委員会活動も幅広くなっている。

平成 24 年度「友の会ウィーク」(11/4～11/18)には区内で読書活動する団体が参加し、12 イベント 363 名の参加者があった。

(18) 中央図書館及び立石図書館年末年始試行開館の取組

平成 24 年 12 月 31 日から平成 25 年 1 月 3 日にかけて、中央図書館で平成 23 年度に引き続き年末年始試行開館を実施した。また、平成 24 年度は立石図書館でも同期間、年末年始試行開館を実施した。両館とも開館時間は午前 9 時から午後 5 時までとし、通常の開館期間と同じサービスを提供した。

7 24 年度の事業報告

平成 24 年度は、各図書館から選出された代表者によって構成されている以下の委員会において、各分野の検討を行った。

	(部会名)	職員数(人)
中央図書館長 館長・係長会	一般サービス委員会	9
	YA サービス委員会	14
	児童サービス委員会	10
	資料収集委員会	9
	障がい者サービス委員会	9

(1) 一般サービス委員会

- ①各館申し合わせ事項の見直し。
- ②カウンターマニュアルの見直し。
- ③弁償基準の見直し。
- ④団体貸出基準の見直し。
- ⑤「としょかんだより」第 78 号の発行。
- ⑥一般サービス委員会講演会の開催。

(2) YA サービス委員会

- ①平成 24 年度「Dog ears」を作成し、区内の中学校及び高等学校に配布。
- ②新中学 1 年生向け利用案内「ピカ☆イチ」を作成し、区内の中学校に配布。
- ③YA 雑誌リストを改訂し、館内の YA コーナーに設置。
- ④中学校からのブックトークの依頼にそなえて、ブックトーク研修を定期的実施。
- ⑤毎月持ち回りで 3 館ずつ、ホームページ上でオススメ本を紹介。
- ⑥秋の読書週間にともない、本のおたのしみ袋「はてなぶつくす？」を実施。

(3) 児童サービス委員会

- ①子ども読書の日を記念して「としょかんのおすすめの本のなかのこの本が好き！」を実施。各図書館で記念おはなし会や特別展示などを実施。
- ②一年生事業を開始。
- ③各図書館で一日図書館員を実施。(7/25、7/27、8/3)
- ④読み聞かせボランティア講座(初級)を開催。(5/12、5/16、5/23、6/6の全4回。第1回目は、公開講座とした。講師:伊藤明美氏)
読み聞かせボランティア講座(中級)を開催。(11/25、12/7、12/12、12/14の全4回。第1回目は、公開講座とした。講師:平田美恵子氏)
- ⑤ブックスタート公開講座を開催。(9/30、講師:中村亜子氏)
- ⑥「学校への団体貸出マニュアル」及び「児童保存庫マニュアル」の改定。
- ⑦「ライブラリーインフォメーション」の改定、配付。
- ⑧お薦めの図書リスト「むぎわらぼうし」及び「いちねんせいになったらよんでみよう」の作成、配布。
- ⑨セカンドブック事業(新規)の検討。
- ⑩児童弁償免除の運用について検討をするにあたり、東京23区を中心館へ「図書館における児童の利用登録と貸出に関する調査」を実施。

(4) 資料収集委員会

- ①月例で除籍選定を行い、図書17,659冊の内782冊(復活率4.42パーセント)を復活資料として選定。
- ②東京都発行有償刊行物の選定、購入。
- ③都立再活用資料の選定(今年度移管資料なし)。
- ④コミック(購入及び寄贈)の受け入れ選定。
- ⑤休廃刊雑誌・新規購入雑誌の情報提供及び受け入れ雑誌の選定。
- ⑥次年度購入雑誌の選定と見直しを行い、「2013 葛飾区立図書館雑誌新聞目録」を編集・作成。
- ⑦旅行ガイドブック購入分担館の見直し。
- ⑧予約多数図書の複本購入選定。
- ⑨ホームページ掲載用レファレンス事例の選定。
- ⑩DVD計195点を選定購入。
- ⑪不健全図書の取り扱いについて検討。
- ⑫リクエスト購入と相互貸借に関する、一般サービス委員会との合同部会の決定を受けた、選定評価の見直し。
- ⑬各館コレクションのテーマを複数設けたときの、別置記号Zの取り方について検討。
- ⑭図書・雑誌の付属CD(録音データ)の取り扱いについて検討。

(5) 障がい者サービス委員会

①四者懇談会(四者:利用者、音訳・点訳ボランティア、図書館職員)の開催

10月24日に四者懇談会を開催し、障がい者サービスに対しての質問や意見、情報交換を行った。

②朗読CD・マルチメディアデージー資料の選定購入

朗読CD61タイトル、マルチメディアデージー資料110タイトルを選定し、購入した。

③音訳ボランティア養成講座(中級)の開催

今までに音訳や朗読講座を受講したことがある方、またはボランティア経験のある方を対象に、区内の図書館で活動する新たな音訳者を養成するため、講師に恵美三紀子氏をお招きし、音訳ボランティア養成講座(中級)を開催した。

全9回、それぞれ、11月20日、11月27日、11月29日、12月4日、12月6日、12月13日、12月18日、12月20日、12月25日に開催した。

12月25日の最終回は堀江達朗氏の「サピエについて」の概論の講座を開催した。

④ハンディキャップ講座(機器説明編)の開催

10月31日に中央図書館内のハンディキャップコーナーにある機器を実際に使用し、音声による資料の検索や「よむべえ」による読書、プレクストークを使用してデージー図書の操作を体験する講座を初めて開催した。視覚障がいを理解するよい機会となった。

⑤点訳体験講座の開催

点訳を体験することで、視覚障がい者の方の読書環境についての理解を深めていただくとともに、ボランティア活動参加へのきっかけとした。

視覚障がいについて関心のある方を対象に行ったこの講座は、年1回の開催であり、親子の参加も多く見られた。「点字グループ・アイ」のボランティアグループの共催により、活動の紹介、点訳についての講義、実際に簡易点字板にて点字を打って名刺の作成を行った。平成24年度は10月31日に開催し、参加者は、一般11名、子ども4名の計15名であった。

⑥音訳資料の作成

デージー(こちら葛飾区亀有公園前派出所)を8タイトル、文学作品他を6タイトル、葛飾区についての情報冊子(かつしかまちナビ)を4タイトル作成した。

また、葛飾区立中央図書館所蔵のデージー図書リストと英訳絵本リストを音訳した。

8 行事実績

(1) 中央図書館 開館3周年記念イベント

①3周年記念講演会

開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
10月20日	本を脳で読む、心で読む	酒井邦嘉氏(東京大学大学院教授)	70
10月21日	Web小説の10年	橙乃ままれ氏(作家)	75
10月27日	絵本の育て方	いとうひろし氏(児童文学作家)	45
10月28日	いわゆる『グリム童話集』の諸問題	鈴木満氏(武蔵大学名誉教授)	33
11月3日	生きること学ぶこと ある作家の体験から	早乙女勝元氏(作家)	95

②3周年記念おはなし会

開催日	時間	内容(テーマ)	参加人数
10月17日	15時30分から16時	記念おはなし会	11
10月21日	15時30分から16時30分	いろんなことばのおはなし会 …イタリア語・英語の絵本の読み聞かせと切り紙…	29
10月27日	15時から16時30分	小学生によるおはなし会	71
10月28日	10時30分から11時	育児パパあつまれ！ ～男性図書館員によるおはなし会～	21
10月17日	10時30分から11時	記念おひぎにだっこのおはなし会	45
10月20日			45
10月27日			35

③図書館と親しくなる特別事業

開催日	時間	内容(テーマ)	参加人数
10月27日	10時から12時	図書館員トライアル ～大人のための職場体験講座～	11
10月26日	14時から15時	図書館見学ツアー 1	9
10月31日	14時から15時	図書館見学ツアー 2	8
10月31日	13時から14時	ハンディキャップ講座 機器説明編	2
10月31日	14時30分から16時	ハンディキャップ講座 点訳体験講座	15
11月2日	10時から10時50分	図書検索のコツ 本の探し方編	5
11月2日	11時から11時30分	図書検索のコツ OPACの使い方編	5
10月17日～ 11月18日		3周年記念クイズ	103

④1日映画会「LOVE」

開催日	時間	テーマ	タイトル	参加人数
10月19日	11時から11時35分	郷土愛	かつしか川物語	101
	13時から15時	家族の愛	若草物語	
	15時10分から16時20分	人間愛	特選！米朝落語全集 ―地獄八景亡者戯―第十集―	
	16時30分から18時20分	友情	ウイニング・パス	
	18時30分から20時55分	男女の愛	ある貴婦人の肖像	

⑤3周年記念展示

開催日	内容(テーマ)	参加人数
9月28日～ 11月21日	かつしか区制施行80周年 葛飾区立図書館のあゆみ展 ～年表と写真～	
	かつしか区制施行80周年 人間国宝小宮康孝 ～江戸小紋の世界～	
	閉架図書紹介	

⑥YAイベント

開催日	内容(テーマ)	参加人数
9月14日～ 11月21日	『帯で伝えようHON☆～あなたのデザインでオリジナルの本の帯を作ろう～』	9
10月17日～ 11月21日	(展示)『今なら読める！人気の10冊』	

(2) 立石図書館 開館1周年記念イベント

①1周年記念おはなし会

開催日	時間	対象	参加人数
6月23日	15時から15時30分	3歳以上の子と保護者	34

②開館1周年記念展示

開催日	内容(テーマ)	参加人数
6月29日～ 7月25日	立石図書館利用者へわたしからおすすめる本	
7月27日～ 8月22日	発掘！立石探検隊！～立石図書館の知られざる蔵書をご紹介します～	

③開館1周年記念 人形劇

開催日	時間	対象	参加人数
7月1日	15時から15時45分	小学生以下と保護者	83

④開館1周年記念 1日映画会

開催日	時間	タイトル	参加人数
7月14日	10時～11時15分	第一部 NHKスペシャル『日本列島 奇跡の大自然』	72
	11時30分～12時	第二部 葛飾区オリジナルフィルム『葛飾の四季』	
	13時～15時5分	第三部 邦画『地下鉄(メロ)に乗って』	
	15時20分～16時	第四部 葛飾区オリジナルフィルム『私たちの葛飾区』	
	16時15分～18時10分	第五部 邦画『暴力の街』	

⑤おとなの職場体験講座in図書館

開催日	時間	対象	参加人数
7月29日	14時から16時	高校生以上	13

⑥開館1周年記念講演会

開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
8月26日	おとなのための夜空の楽しみ方	井上麻友美氏(葛飾区郷土と天文の博物館)	20
11月10日	『まちの歴史と赤提灯文化について』 ～葛飾を中心に～	マイク・モラスキー氏(一橋大学大学院教授) 谷口栄氏(郷土と天文の博物館学芸員)	55

⑦開館1周年記念YAイベント

開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
8月7日	イラストワンポイントセミナー	佐々木剛氏 (東京アニメーター学院アニメーション科講師)	9

(3)一般室主催行事

①一般映画会・1日映画会

おもに中学生以上を対象とし、名作・芸術映画・文学作品などを上映した。また、芸術作品を深く味わっていただくため、1日映画会を実施した。

◇一般映画会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	鎌倉	合計
回 数	6	5	12	12	10	6	51
参加人数	254	151	588	381	408	205	1,987

◇1日映画会

	お花茶屋
回 数	1
参加人数	160

②一般講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
鎌倉	11月10日	「葛飾区を元気にする方法」 ～地域の歴史とまちづくり講座～	西村憲一氏(葛飾区市民活動支援センター施設長) 田辺恵司氏(社団法人葛飾区観光協会 鎌倉支部史跡委員会副委員長)	21
立石	1月26日	昭和30年代 立石の思い出話	立石一夫氏(ヒーロー研究家、文筆家)	50
合計				71

③ビジネス支援セミナー

ビジネスのスキルアップに役立つセミナーを講師を招いて開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	5月19日	「事業計画の策定と資金計画の作り方」	新井秀樹氏 (日本政策金融公庫国民生活事業本部 東京地区総括東京操業支援センター所長)	22
立石	7月28日	起業家向けビジネスアイデアの考え方	吉村充弘氏(中小企業診断士)	15
中央	9月1日	「夢への一歩を踏み出そう！ 女性向け起業超入門」	池田史子氏(中小企業診断士)	21
中央	9月8日	起業に役立つ！仕事術	入山央氏(中小企業診断士)	18
立石	9月23日	飲食店を始めたい人のための準備講座	中倉誠二氏(中小企業診断士)	45
立石	10月21日	お店を始めたい人のホームページ立上げ 基礎講座	吉村充弘氏(中小企業診断士)	30
立石	11月18日	売上回復のために考えるポイント (小売・飲食・サービス業向け)	中倉誠二氏(中小企業診断士)	10
中央	1月27日	「キャリアデザインと社会への役立ち」 ～キャリアを活かした転職・起業・社会貢献～	藤江俊彦氏(千葉商科大学大学院教授)	31
中央	2月23日	暮らしに役立つ法律セミナー 「身近な契約トラブルQ&A」	太田晃弘氏(法テラス東京法律事務所弁護士)	18
立石	2月23日	厨房から観た飲食店経営	吉田光一氏(東京聖栄大学講師)	18
立石	3月2日	ホスピタリティーなくして料理は売れない	中富貴仁氏(東京聖栄大学講師)	16
中央	3月9日	起業体験談「先輩起業家 その思い」	石田優子氏(NPO法人陽だまり) 市村剛史氏(社会保険労務士) 森尾浩司氏(中小企業診断士)	26
中央	3月24日	葛飾の社長・会社シリーズ 第1回「オビツ製作所 おもちゃの歴史とともに」 ～キューピー人形からフィギュア・ドールまで～	牧有里子氏(オビツ製作所) 木幡整氏(オビツ製作所)	44
合計				314

④データベース講習会

データベース利用促進及びビジネス支援、並びに学習支援を目的として開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	7月6日	法律情報データベースセミナー2012 『D1-Law.com』	加藤沙織氏(第一法規株式会社)	8
中央	7月7日	法律情報データベースセミナー2012 『レクシスネクシス』	湯川明子氏(レクシスネクシスジャパン株式会社)	8
中央	8月5日	「ポブラディアネット」親子セミナー	飯田建氏(株式会社ポブラ社ポブラディア事業局)	23
中央	11月30日	新聞記事をサクッと検索！中央図書館データ ベースセミナー(1日目)『日経テレコン21』	松尾豊氏(日経メディア・マーケティング株式会社)	8
中央	12月1日	新聞記事をサクッと検索！中央図書館データ ベースセミナー(2日目)『開蔵Ⅱビジュアル』	楠哲二氏(紀伊国屋書店)	9
立石	7月26日	「開蔵Ⅱビジュアル」検索活用術 「入門編」「応用編」	楠哲二氏(紀伊国屋書店)	12
立石	12月19日	データベース入門 『ジャパナレッジ』『WHO PLUS』	図書館職員	3
立石	1月16日	データベース入門 『日経テレコン21』『開蔵Ⅱビジュアル』	図書館職員	3
立石	2月20日	データベース入門『Lexis Nexis』 『官報情報検索サービス』	図書館職員	3
立石	3月20日	データベース入門『ルーラル電子図書館』 『日経テレコン21』	図書館職員	1
合計				78

⑤ビジネス相談会

ビジネス支援サービスの一環として、中小企業診断士による起業・開業・経営改善等の相談会を実施した。

23年度からは立石図書館でもビジネス相談会を開催した。また、中央図書館では、平成24年7月より夜間ビジネス相談会を実施した。

【会場:中央図書館】

開催日	参加人数	開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月21日	4	9月6日	1	12月15日	6
5月19日	3	9月15日	1	1月10日	1
6月16日	2	10月4日	2	1月19日	3
7月5日	2	10月20日	3	2月16日	6
7月21日	1	11月1日	1	3月6日	0
8月2日	2	11月17日	4	3月16日	4
8月18日	3	12月6日	2		
合計					51

【会場:立石図書館】

開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月8日	2	10月7日	5
5月6日	2	11月4日	4
6月3日	2	12月2日	3
7月1日	1	1月6日	3
8月5日	6	2月3日	2
9月2日	4	3月3日	6
合計			40

* 中央図書館の7月5日、8月2日、9月6日、10月4日、11月1日、12月6日、1月10日、および3月6日実施分は夜間ビジネス相談会。

平成24年度の夜間ビジネス相談会の参加人数は、計11名。

(4)児童室・YA主催行事

①子ども映画会

子どもたちが本や図書館に興味を持つことを目的に、児童書を原作とする映画や名作アニメなどを上映した。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	合計
回 数	1	3	3	12	19
参加人数	37	108	84	246	475

②児童室講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	9月30日	ブックスタート公開講座 「子どもの成長と絵本」	中村 柊子氏(青山学院短期大学講師)	30
中央	2月24日	手づくり絵本ボランティア公開講座 高島純氏講演会 「絵本の発想とそのあたり」	高島純氏(絵本作家)	53

③おはなし会

子どもと本を結びつける手段として、「おはなし会」を行った。

また、まだ小さい子どもたちでも楽しめるよう、絵本の読み聞かせを中心にした「絵本読み聞かせ」、
わらべうたなども取り入れ、0〜3歳くらいの子と保護者の方を対象にした「おひざにだっこのおはなし会」など、
対象別におはなし会を開催した。

◇おはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	新宿	合計
回 数	32	20	20	21	20	10	21	8	10	162
参加人数	870	417	214	312	193	70	254	56	98	2,484

◇絵本読み聞かせ

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	新宿	合計
回 数	394	71	24	26	50	36	51	6	658
参加人数	4,965	697	196	321	407	374	657	20	7,637

◇おひざにだっこのおはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	新宿	合計
回 数	23	47	43	59	23	22	12	14	6	249
参加人数	909	1,064	1,341	788	508	358	247	326	37	5,578

◇特別おはなし会(夏のこわいおはなし会、食育のおはなし会、クリスマスのおはなし会など)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	新宿	合計
回 数	11	7	4	2	2	3	2	2	4	1	38
参加人数	209	311	98	43	44	58	146	62	52	8	1,031

④「子ども読書の日」記念行事

4月23日の「子ども読書の日」及び5月12日までの「子どもの読書週間」に合わせ、より本に親しんでもらうために、記念おはなし会や、読み聞かせ、展示などを行った。

◇記念おはなし会・読み聞かせ

館名	開催日	内容(テーマ)	参加人数
中央	4月28日	小学生による絵本読み	34
立石	4月28日	子ども読書の日 記念おはなし会	23
立石	5月5日	子どもによるおはなし会	26
上小松	4月28日	子ども読書の日 記念おはなし会	24
水元	4月28日	学校ボランティアによるおはなし会	24
鎌倉	4月21日	子どもや大人のボランティアによるおはなし会	31
西水元	4月28日	「よい絵本」の読み聞かせ	17
青戸	4月21日	子ども読書の日 記念おはなし会	12
青戸	4月21日	子ども読書の日 記念おはなし会	10
新宿	4月21日	子ども読書の日 記念おはなし会	16

◇記念イベント

館名	開催日	内容(テーマ)	参加人数
全館	4月1日～ 5月31日	としよかんおすすめの本のなかのこの本がすき！ (葛飾区立図書館お薦めの図書リスト「ファーストブック」「いちねんせいになったらよんでみよう」「むぎわらぼうし」の中から好きな本を投票してもらい、結果を各図書館で掲示する。)	
中央	3月23日～ 4月23日	ランドセルクイズ	31
お花茶屋	4月25日～ 4月27日	ぬいぐるみの図書館おとまり会	15
亀有	4月27日～ 5月23日	『はてなボックス』	256
西水元	4月27日～ 5月23日	おたのしみボックス	51

◇記念展示

館名	開催日	内容(テーマ)	参加人数
中央	4月27日～ 5月23日	子どもの詩の本の展示	
上小松	4月20日～ 5月23日	「よい絵本」の展示	
四つ木	4月20日～ 5月23日	「よい絵本」の展示	
奥戸	4月20日～ 5月23日	特別展示 「コールデコット賞受賞の本」	

⑤人形劇

ボランティアグループの人形劇団による名作などの上演を通して、本への関心を高めてもらうきっかけづくりを児童館やボランティアグループとの共催により実施した。

館名	開催日	内 容	劇団名	参加人数
水元	12月8日	おはながわらった 他	柴又おはなしこりん(ボランティアグループ)	77
西水元	2月3日	おはながわらった 他	柴又おはなしこりん(ボランティアグループ)	40

⑥保育園・幼稚園招待・訪問

保育園・幼稚園児を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアターなどで本の紹介をし、団体貸出なども行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	奥戸	合計
回 数	41	66	54	78	64	58	43	45	12	32	21	31	545
参加人数	923	1,510	1,612	2,211	1,721	1,893	1,341	979	298	1,020	817	750	15,075

⑦児童館訪問

児童館に集まる子どもたちを対象に、本の読み聞かせや紙芝居などを行った。

	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	合計
回 数	15	9	3	4	4	3	3	41
参加人数	506	354	94	249	85	39	221	1,548

⑧学級招待

小学校2・3年生を対象に学級単位で図書館に招待し、館内見学、ブックトーク(本の紹介)などを行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	水元	鎌倉	西水元	合計
回 数	9	3	1	2	8	8	4	35
参加人数	424	186	34	162	697	373	143	2,019

⑨学級・学校訪問、YAブックトーク

学校に訪問し、学級や学校単位で図書館の利用方法について説明し、ブックトーク(本の紹介)や読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会を作った。

◇学級・学校訪問

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	青戸	奥戸	合計
回 数	13	6	7	6	33	4	1	31	7	9	117
参加人数	662	202	193	463	1,391	507	42	969	264	312	5,005

◇YAブックトーク

	中央	お花茶屋	上小松	亀有	水元	合計
回 数	1	3	3	1	2	10
参加人数	35	135	360	156	242	928

⑩図書館deビンゴ！？

本の分類を基にした、クイズ形式のイベントを実施した。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	奥戸	合計
回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
参加人数	9	15	1	7	4	6	3	0	0	3	3	83	134

⑪はてなぶっくす？

中高生向けにテーマに沿っておすすめの本を選び、英字新聞で本を包装してタイトルが分からないようにして貸出をした。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
参加人数	29	15	8	31	15	2	7	34	20	36	24	10	231

⑫職場体験・図書館見学

図書館の仕事の体験や見学を通して、図書館への理解を深めてもらうとともに、本に親しむ機会を作った。

◇職場体験

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	青戸	合計
回 数	11	4	17	5	3	7	1	48
参加人数	46	15	44	18	12	28	2	165

◇図書館見学

	中央	立石	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	奥戸	合計
回 数	4	1	2	2	2	2	2	1	2	2	3	23
参加人数	178	81	141	186	15	44	66	7	125	77	189	1,109

⑬一日図書館員

小学4～6年生を対象に、図書の受入・装備、カウンター業務(資料の貸出・返却・配架)などの
図書館の仕事を体験することにより、図書館への関心を深め、本に親しむ機会を作った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	新宿	奥戸	合計
回 数	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	26
参加人数	26	24	17	24	24	24	25	4	4	3	5	3	183

⑭保健所訪問・招待

乳幼児健診等で保健所・各保健センターに集まった乳児と保護者を対象に、保健所・保健センターや図書館で
乳幼児からの絵本の紹介、読み聞かせ等についての話や絵本の紹介を行った。

	中央	水元	鎌倉	合計
回 数	12	12	5	29
参加人数	304	267	77	648

⑮読み聞かせボランティア講座

◇読み聞かせボランティア講座(初級)

幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、又はする予定のある方を対象に
子どもの読書活動を推進するボランティアを養成するため、読み聞かせ講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	5月12日	立石	公開講座「読み聞かせ」-幸福なひと時をみんなで- 講師 伊藤 明美氏(浦安市立図書館司書)	45 (24)
第2回	5月16日	立石	ボランティア経験者のお話と実演 講師 読み聞かせの会『きびだんご』『おはなしこぐまの会』の皆様	24
第3回	5月23日	立石	読み聞かせ指導・発表準備 講師 図書館職員	24
第4回	6月6日	立石	受講生による発表会 講師 図書館職員	24

* 第1回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

◇読み聞かせボランティア講座(中級)

読み聞かせボランティア講座(初級)修了生のレベルアップを図るとともに、
現在読み聞かせを行っている区民の技術向上を図るため講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	11月25日	中央	公開講座『おはなしとは』 講師 平田美恵子氏(語りや読み聞かせ講師)	40 (11)
第2回	12月7日	中央	『読み聞かせガイド～プログラムの組み方』 講師 平田美恵子氏(語りや読み聞かせ講師)	25 (13)
第3回	12月12日	中央	『読み聞かせ指導・発表準備』 講師 図書館員	12
第4回	12月14日	中央	受講生による「おはなし会」の発表会 講師 図書館員	10

* 第1回および第2回の()の数は、参加人数の内の受講者数

⑯ブックスタート

赤ちゃんと保護者が絵本を介して言葉と心を通わす、そのかけがえのないひとときを応援する事業。

◇ブックスタートパックの配布

絵本、イラストアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を手渡し、絵本の読み聞かせを行った。
平成18年4月から、保健センターで実施される「4か月児健康診査」で行っている。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	24	18	12	12	15	14	12	107
パック配布数	841	576	431	457	464	459	366	3,594

⑰障がい児学校訪問・招待

障がいのある児童・生徒を図書館に招待又は訪問し、ブックトーク(本の紹介)、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行い、本に親しむ機会を作った。

	中央	西水元	合計
回 数	8	12	20
参加人数	184	278	462

⑱学校図書館・公共図書館連絡会

地域の学校と公立図書館との連携を推進するために、担当教諭・支援指導員・ボランティア等の出席のもと連絡会を行った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	3	3	2	4	3	4	3	22
参加人数	43	62	31	39	23	42	26	266

(5)障がい者サービス委員会主催行事

①音訳ボランティア養成講座(中級)

区内の図書館で音訳ボランティアの活動をしていて、かつ「音訳ボランティア講座(初級)」を修了しているか、同等レベルの技術のある方を対象として、技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成するため講座を開催した。

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	11月20日	中央	ボランティアの意味 音訳の初心にかえて、利用者が望む録音図書・資料とは 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	22
第2回	11月27日	中央	『基本の短文』聞いている人に伝わるように読む 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	22
第3回	11月29日	中央	『校正』誤字はどれか 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	19
第4回	12月4日	中央	音訳文の校正① 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	19
第5回	12月6日	中央	音訳文の校正② 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	20
第6回	12月13日	中央	『漫画の読み方』 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	16
第7回	12月18日	中央	『絵本の読み方』 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	20
第8回	12月20日	中央	『絵画の読み方』 講師 恵美 三紀子氏(東京都音訳指導者講習会講師)	19
第9回	12月25日	中央	「サビエについての概論」 講師 堀江 達朗氏(ヘレン・ケラー協会)	33

(6)その他の行事

◇かみしばいの会

	中央	お花茶屋	水元	合計
回 数	15	3	11	29
参加人数	392	55	125	572

◇科学絵本・工作の会

	中央	立石	お花茶屋	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	1	1	3	1	4	1	11
参加人数	50	18	75	40	118	32	333

◇ブッククラブ

	水元	鎌倉	合計
回 数	12	21	33
参加人数	103	74	177

◇学校図書館ボランティア講座

	中央	上小松	亀有	合計
回 数	2	2	1	5
参加人数	34	27	4	65

◇ボランティア連絡会

	立石	上小松	亀有	鎌倉	合計
回 数	1	1	1	1	4
参加人数	9	5	4	5	23

◇葛飾図書館友の会共催の行事

行 事 名	館 名	回数	参加人数
ナイトシアター	中央	12	535
特別講演会『本屋はこんなにおもしろい』(講師 石橋毅史氏・ノンフィクション作家)	中央	1	40
CD・DVDコンサート	中央	11	389
16ミリ映画会	中央	5	251

◇その他の行事

行 事 名	館 名	回数	参加人数
四者懇談会(障がい者サービス) ※四者…利用者、音訳・点訳ボランティア、図書館員	中央	1	43
パソコンを使った手作り絵本教室	中央	5	135
ブックトークの会	中央	2	20
いろんなことばのおはなし会	中央	4	118
むぎわらぼうしクイズ	中央	1	14
らんらんフェスティバル	中央	1	202
絵本かるた	中央	2	11
おはなし会(拘置所内)	お花茶屋	1	32
保育園へのリサイクル本の提供	上小松	2	16
図書館ボランティア	上小松	1	1
やってみよう! 絵本読み!(小学生による絵本読み)	亀有	1	3
絵本カルタ	亀有	1	4
図書館ビンゴ	水元	1	43
お正月絵本カルタ会	水元	2	49
かみしばいまつり	水元	1	70
ブッククラブによるおはなし会	水元	1	16
わらべうたの会	水元	1	17
水元図書館ボランティア連絡会	水元	1	13
図書館クイズの説明	水元	1	26
中学生によるボランティア体験	水元	4	4
子育て支援連絡会(細田・高砂地区)	鎌倉	1	11
そよかぜ朗読会	鎌倉	1	47
西水元あやめ園訪問	西水元	4	64
職場インタビュー	西水元	3	4

9 各種統計

(1) サービス実績

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	23区平均
区民一人当りの蔵書数	蔵書総数／人口 (図書)	2.29	2.52	2.43	2.65	2.71(冊)	3.00(冊)
区民一人当りの貸出冊数	貸出冊数／人口 (図書・雑誌 含団体)	6.46	6.79	7.57	7.96	7.88(冊)	7.95(冊)
登録者一人当りの貸出冊数	個人貸出冊数 (図書・雑誌)／登録者数	15.07	16.58	18.16	18.65	18.20(冊)	20.25(冊)
区民一人当りの資料購入費	図書館資料費／人口	572	305	458	260	250(円)	415(円)
区民一人当りの購入冊数	購入冊数／人口 (図書)	0.25	0.15	0.11	0.12	0.11(冊)	—
登録率	登録者数／人口*100 (個人)	40.99	39.34	40.11	41.33	41.82(%)	38.09(%)
全蔵書の平均貸出回数	貸出冊数／蔵書冊数 (図書・雑誌 含団体)	2.67	2.56	2.89	2.86	2.77(回)	—
開館日一日当りの貸出冊数	館ごとの「貸出冊数(図書・雑誌 含団体)／開館日数」の合計	9,773	11,101	11,233	11,563	11,532(冊)	—

注：人口、蔵書総数は、平成25年4月1日現在。登録者数は、24年度の延べ登録者数。

その他は、各年度の実績。登録者には区内在勤・在学・近隣区市を含む。

図書資料費は、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料など全ての資料を含む。

登録者数・貸出冊数・図書館資料費・購入冊数・開館平均日数には、男女平等推進センター分及びAV資料は除く。

(2) 登録者所在内訳

	一 般 室 登 録 者	児 童 室 登 録 者	合 計	構 成 比
区 内 在 住	141,039	20,516	161,555	86.4%
足 立 区	5,009	289	5,298	2.83%
江 戸 川 区	5,772	558	6,330	3.39%
墨 田 区	693	9	702	0.38%
江 東 区	386	4	390	0.21%
そ の 他 の 都 内	581	0	581	0.31%
都 内 計	153,480	21,376	174,856	93.53%
埼 玉 県 三 郷 市	3,423	248	3,671	1.96%
千 葉 県 松 戸 市	5,473	190	5,663	3.03%
そ の 他	2,690	62	2,752	1.47%
合 計	165,066	21,876	186,942	100.00%

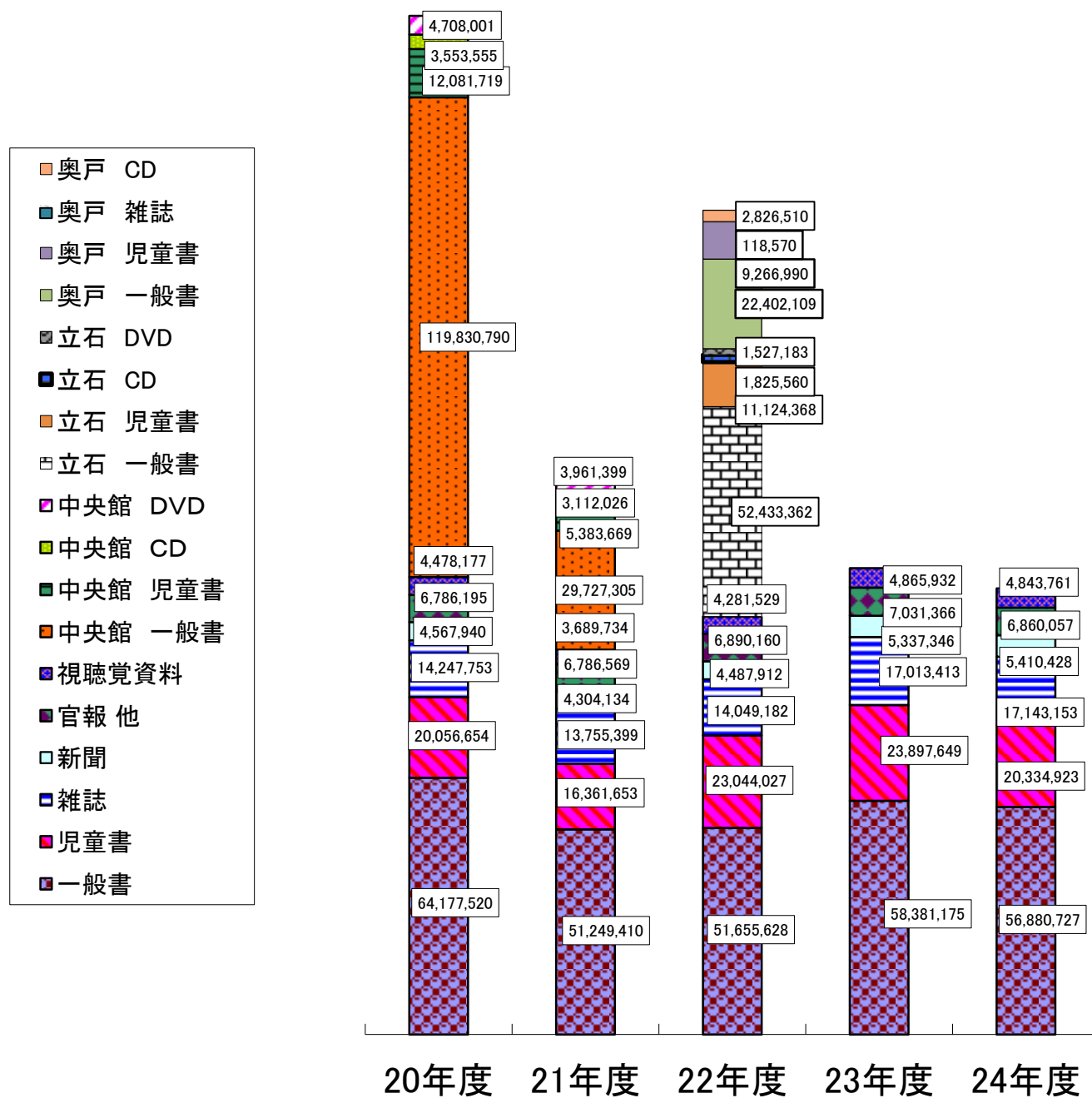
注：登録者数は、平成25年4月1日現在。(男女平等推進センターの登録者を含む。)

(3) 図書館資料費推移(決算額)

(単位:円・%)

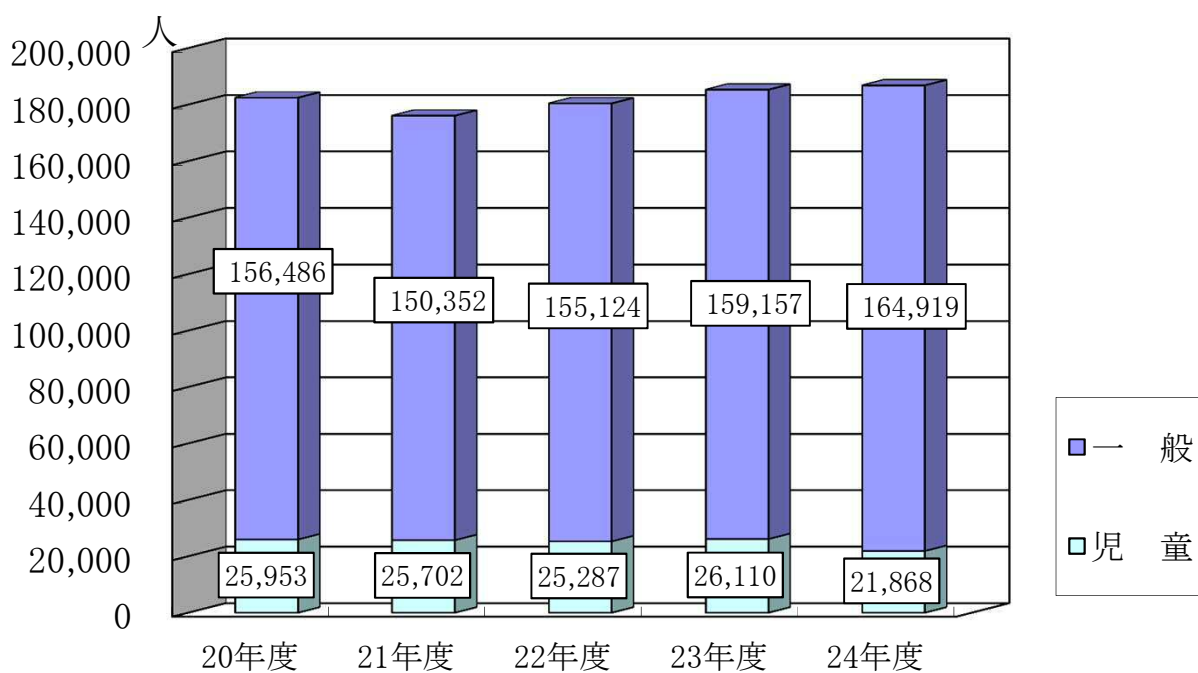
種 別		23 年 度	24 年 度	前年度比
図 書 (計)		82,205,324	77,111,711	-6.2
	一 般 書	58,307,675	56,776,788	-2.6
	児 童 書	23,897,649	20,334,923	-14.9
雑 誌		17,013,413	17,143,153	0.8
新 聞		5,337,346	5,410,428	1.4
官 報		304,516	314,160	3.2
追 録		4,336,650	4,190,350	-3.4
ブックスタート図書資料費		2,390,200	2,355,547	-1.4
図書等購入費の計 [A]		111,587,449	106,525,349	-4.5
	コンパクトディスク (計)	2,826,374	2,858,902	1.2
	カセットテープ (計)	0	0	—
	デジター図書	89,617	60,500	-32.5
	ビデオソフト	0	0	—
	DVD	1,949,941	1,924,359	-1.3
	CD-ROM	73,500	103,939	41.4
視聴覚資料費の計 [B]		4,939,432	4,947,700	0.2
図書館資料費の合計[A]+[B]		116,526,881	111,473,049	-4.3

図書館資料費推移(決算額)



* CD-ROMの購入費は一般書に含む。

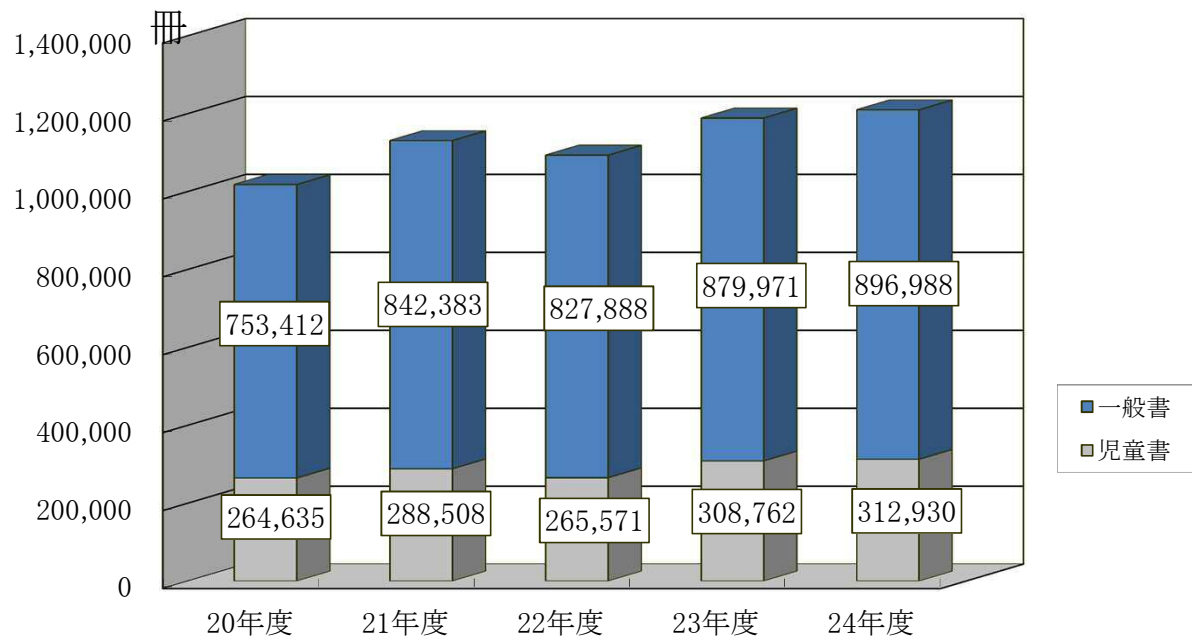
(4) 登録者の推移



		中 央	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
新 規 登 録 者	一 般	5,090	1,723	859	953	644	376	753	143	147	369	232	278	11,567	20
	児 童	764	454	389	368	311	294	387	75	121	155	178	128	3,624	0
	合 計	5,854	2,177	1,248	1,321	955	670	1,140	218	268	524	410	406	15,191	20
	H S	20	5	2	5	0	3	1	0	0	1	0	0	37	0
	団 体	21	12	32	11	18	31	36	0	1	1	1	47	211	0
	相 互	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3	0
開 館 日 数		349	349	292	292	292	287	292	280	280	280	280	280	3,553	—
1日平均登録者数		17	6	4	5	3	2	4	1	1	2	0	1	46	—
登 録 者 延べ人数	一 般	52,041	17,153	18,264	17,365	12,937	16,239	17,114	3,847	4,009	4,118	845	987	164,919	368
	児 童	4,622	2,161	2,635	2,415	1,774	2,897	2,383	598	620	858	509	396	21,868	11
	合 計	56,663	19,314	20,899	19,780	14,711	19,136	19,497	4,445	4,629	4,976	1,354	1,383	186,787	379
	H S	205	78	169	61	43	59	57	20	21	9	4	7	733	4
	団 体	403	156	299	277	221	323	237	32	41	14	9	47	2,059	0
	相 互	271	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	274	0

*「HS」はハンディキャップサービスの登録者数。

(5)蔵書数の推移



(6)資料統計
館別蔵書・所蔵数

平成25年4月1日現在

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合 計
図 書	360,166	85,174	111,659	102,928	110,509	98,982	111,101	37,115	38,040	32,158	29,633	51,421	41,032	1,209,918
一 般 書	310,901	65,831	84,603	80,587	81,786	71,190	83,143	24,398	24,644	19,920	20,373	25,514	4,098	896,988
(大活字・点字資料)	5,147	626	733	797	1,304	964	908	171	161	53	126	130	0	11,120
(地域資料)	23,902	3,159	3,679	2,072	2,762	1,961	1,536	562	545	599	425	573	197	41,972
(外国語資料)	5,587	132	572	1,111	1,271	899	771	31	64	0	4	0	3	10,445
児 童 書	49,265	19,343	27,056	22,341	28,723	27,792	27,958	12,717	13,396	12,238	9,260	25,907	36,934	312,930
(紙芝居)	1,127	465	444	524	603	726	672	424	306	227	200	564	0	6,282
(絵 本)	20,696	8,322	9,711	8,656	10,596	10,918	11,142	4,788	5,755	5,476	3,950	9,247	12,265	121,522
新 聞	36	14	13	15	12	14	13	8	8	9	8	8	0	158
雑 誌	382	167	173	161	162	158	146	70	61	72	59	62	0	1,673
C D	7,525	3,237	2,781	3,116	2,804	2,567	2,986	1,405	1,175	1,268	1,191	736	0	30,791
カ セ ッ ト	558	31	313	1,228	636	557	691	119	285	2	1	48	0	4,469
ビ デ オ	161	6	54	43	37	0	67	0	9	7	2	2	1	389
D V D	3,086	208	41	39	66	45	44	12	15	14	6	6	0	3,582
16ミリフィルム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- * ()は内数
- * 新聞・雑誌はタイトル数
- * ビデオは旧葛飾図書館(2009年10月17日から貸出停止)のみ、その他の図書館は広報ビデオ。保存庫のビデオは中央に含める。旧葛飾図書館のビデオ所蔵数は中央に含める。

(7)館別蔵書冊数

一 般 書

単位:冊

		中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥戸	新宿	支援	合 計
0	総 記	9,226	1,744	2,234	2,192	2,600	1,462	1,615	342	449	477	513	682	12	23,548
1	哲 学	11,877	1,865	2,670	2,985	2,635	2,021	2,088	565	544	465	570	674	2	28,961
2	歴 史	25,539	5,172	7,482	7,264	6,220	5,977	6,805	1,635	1,554	1,693	1,886	1,938	245	73,410
3	社会科学	44,304	8,080	9,360	9,936	9,258	7,002	7,819	1,891	1,878	1,609	1,949	2,203	413	105,702
4	自然科学	17,940	3,748	5,921	5,264	3,944	3,813	5,443	1,448	1,396	1,137	1,286	1,808	10	53,158
5	技 術	20,401	6,445	5,626	6,254	5,614	5,353	7,058	2,490	2,044	2,720	2,436	2,898	0	69,339
6	産 業	9,443	2,327	2,520	2,593	2,282	2,121	3,504	815	559	565	653	944	1	28,327
7	芸 術	24,514	5,033	7,178	7,751	6,936	6,101	6,583	1,516	1,562	1,505	1,551	2,093	12	72,335
8	言 語	4,743	1,132	1,215	863	1,086	1,220	1,420	353	328	401	321	604	1	13,687
9	文 学	57,301	10,728	16,090	17,829	18,590	14,447	18,779	4,597	8,972	3,758	4,157	4,500	49	179,797
K	郷土・行政資料	22,346	3,159	3,679	2,072	2,762	1,961	1,536	562	545	599	425	573	197	40,416
KC	かつしかコレクション	1,556	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,556
L・X	大活字・点字資料	5,147	626	733	797	1,304	964	908	171	161	53	126	130	0	11,120
R	参考図書	17,128	2,459	3,022	2,510	2,829	2,700	2,089	204	266	196	203	292	0	33,898
B	文 庫	18,954	7,068	8,001	5,453	7,144	6,463	8,726	4,298	2,555	2,773	2,295	3,111	0	76,841
G	外国語資料	5,587	132	572	1,111	1,271	899	771	31	64	0	4	0	3	10,445
Y	ヤングアダルト	11,672	4,361	5,854	3,922	5,379	5,962	5,479	2,472	1,434	1,530	1,540	2,587	3,111	55,303
Z	特集本等	841	325	1,628	1,193	1,296	1,462	934	29	20	11	14	28	38	7,819
M	マンガ	2,382	1,427	818	598	636	1,262	1,586	979	313	428	444	449	4	11,326
	合 計	310,901	65,831	84,603	80,587	81,786	71,190	83,143	24,398	24,644	19,920	20,373	25,514	4,098	896,988

児 童 書

単位:冊

		中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥戸	新宿	支援	合 計
0	総 記	458	91	162	119	164	221	175	94	82	57	62	118	344	2,147
1	哲 学	168	86	117	66	96	104	88	49	41	36	50	144	51	1,096
2	歴 史	1,448	541	1,077	819	1,065	1,074	1,156	414	497	434	243	941	2,057	11,766
3	社会科学	1,947	871	1,377	984	1,377	1,174	1,222	683	663	473	373	1,241	1,537	13,922
4	自然科学	2,386	1,444	2,537	1,700	2,399	2,304	2,383	840	1,231	955	685	2,034	2,353	23,251
5	技 術	1,176	809	1,315	805	1,277	1,079	1,081	552	523	388	278	1,040	743	11,066
6	産 業	218	90	279	218	240	200	211	116	89	78	42	189	161	2,131
7	芸 術	1,458	636	1,243	898	1,526	1,103	1,078	536	560	456	263	993	617	11,367
8	言 語	287	142	207	208	255	188	194	133	152	78	78	202	186	2,310
9	文 学	15,000	4,365	7,330	6,156	7,765	7,072	7,324	3,200	2,891	2,739	2,273	7,198	14,871	88,184
P	紙芝居	1,127	465	444	524	603	726	672	424	306	227	200	564	0	6,282
E	絵 本	20,696	8,322	9,711	8,656	10,596	10,918	11,142	4,788	5,755	5,476	3,950	9,247	12,265	121,522
R	参考図書	657	189	280	372	389	261	237	107	114	190	167	349	136	3,448
B	文 庫	1,948	676	821	704	835	1,103	825	685	422	572	549	1,379	1,423	11,942
Z	特集本等	289	234	134	112	123	141	136	64	60	78	47	143	181	1,742
M	マンガ	2	382	22	0	13	124	34	32	10	1	0	125	9	754
	合 計	49,265	19,343	27,056	22,341	28,723	27,792	27,958	12,717	13,396	12,238	9,260	25,907	36,934	312,930

(8) 分野別蔵書冊数表

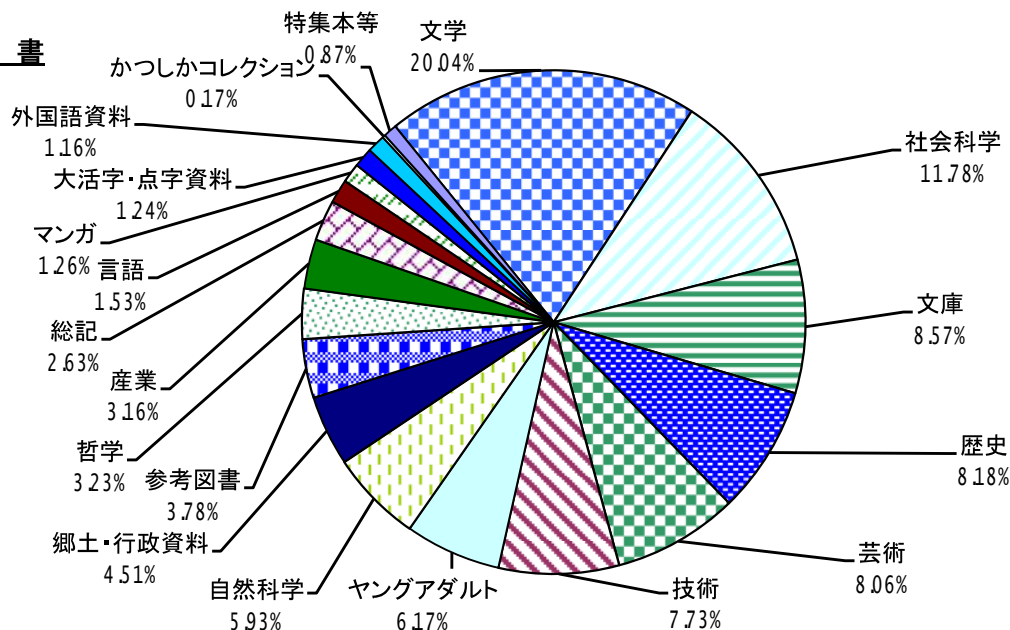
一般書

記号	分類	冊数	割合
9	文学	179,797	20.04%
3	社会科学	105,702	11.78%
B	文庫	76,841	8.57%
2	歴史	73,410	8.18%
7	芸術	72,335	8.06%
5	技術	69,339	7.73%
Y	ヤングアダルト	55,303	6.17%
4	自然科学	53,158	5.93%
K	郷土・行政資料	40,416	4.51%
R	参考図書	33,898	3.78%
1	哲学	28,961	3.23%
6	産業	28,327	3.16%
0	総記	23,548	2.63%
8	言語	13,687	1.53%
M	マンガ	11,326	1.26%
L・X	大活字・点字資料	11,120	1.24%
G	外国語資料	10,445	1.16%
KC	かつしかコレクション	1,556	0.17%
Z	特集本等	7,819	0.87%
	合 計	896,988	100.00%

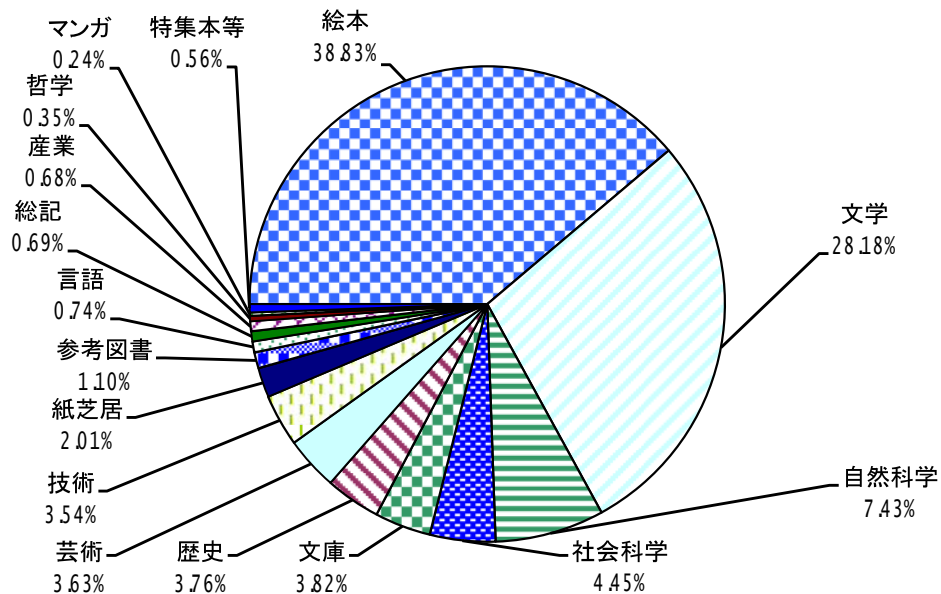
児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	121,522	38.83%
9	文学	88,184	28.18%
4	自然科学	23,251	7.43%
3	社会科学	13,922	4.45%
B	文庫	11,942	3.82%
2	歴史	11,766	3.76%
7	芸術	11,367	3.63%
5	技術	11,066	3.54%
P	紙芝居	6,282	2.01%
R	参考図書	3,448	1.10%
8	言語	2,310	0.74%
0	総記	2,147	0.69%
6	産業	2,131	0.68%
1	哲学	1,096	0.35%
M	マンガ	754	0.24%
Z	特集本等	1,742	0.56%
	合 計	312,930	100.00%

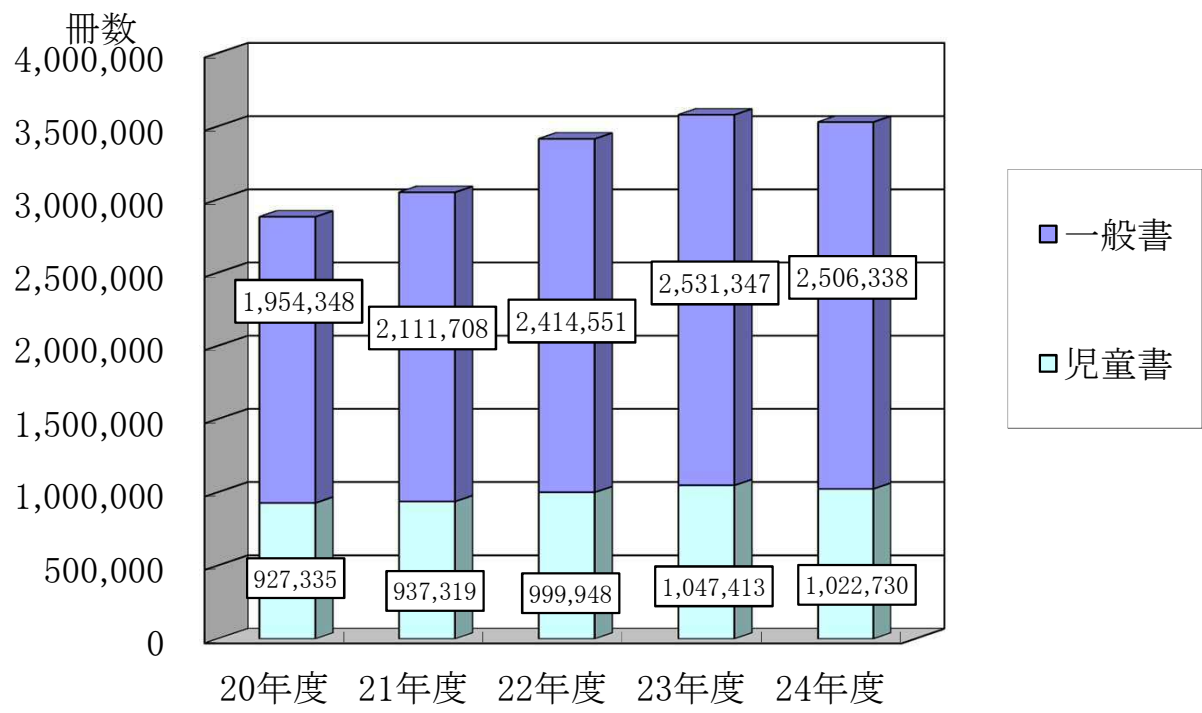
一般書



児童書



(9) 図書貸出冊数の推移



平成24年度における貸出冊数(図書・雑誌)

	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計	男女 センター
一般書	758,810	350,088	255,763	187,438	182,535	165,658	240,907	60,896	40,300	114,510	60,662	87,627	1,144	2,506,338	4,599
1日平均 貸出冊数	2,174.2	1,003.1	875.9	641.9	625.1	577.2	825.0	217.5	143.9	409.0	216.7	313.0	-	-	-
児童書	214,333	125,669	95,815	80,677	74,688	80,376	86,323	32,455	28,090	46,092	39,130	48,927	70,155	1,022,730	546
1日平均 貸出冊数	614.1	360.1	328.1	276.3	255.8	280.1	295.6	115.9	100.3	164.6	139.8	174.7	-	-	-
開館日数	349	349	292	292	292	287	292	280	280	280	280	280	-	-	-
合計	973,143	475,757	351,578	268,115	257,223	246,034	327,230	93,351	68,390	160,602	99,792	136,554	71,299	3,529,068	5,145

注:団体・協力貸出等を含む。

(10) 分野別図書・雑誌貸出冊数表

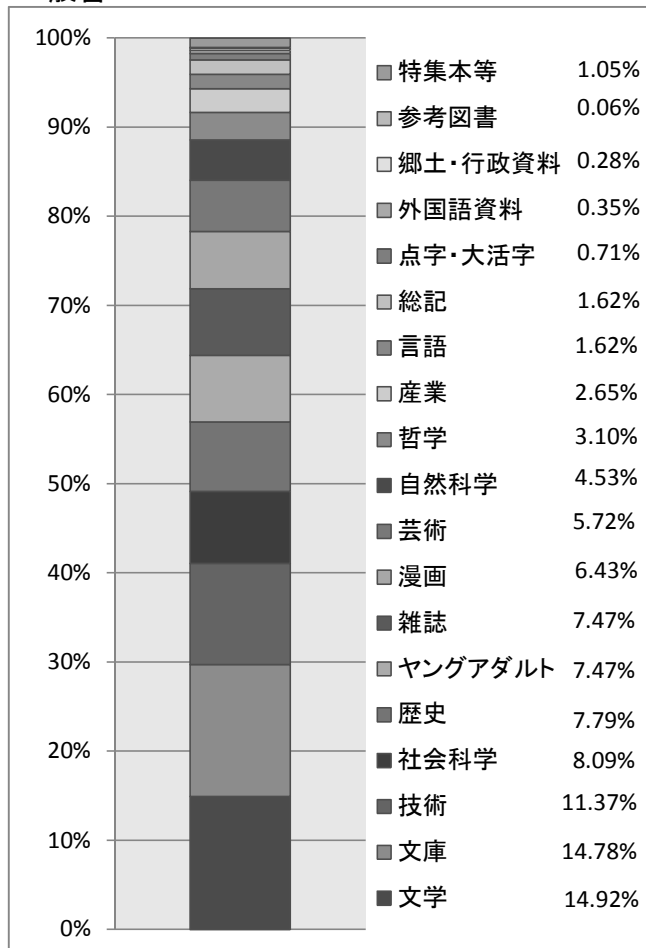
一般書

記号	分類	冊数	割合
9	文学	374,026	14.92%
B	文庫	370,456	14.78%
5	技術	284,907	11.37%
3	社会科学	202,658	8.09%
2	歴史	195,228	7.79%
Y	ヤングアダルト	187,215	7.47%
	雑誌	187,134	7.47%
M	漫画	161,122	6.43%
7	芸術	143,411	5.72%
4	自然科学	113,593	4.53%
1	哲学	77,788	3.10%
6	産業	66,346	2.65%
8	言語	40,557	1.62%
0	総記	40,518	1.62%
X・L	点字・大活字	17,677	0.71%
G	外国語資料	8,790	0.35%
K	郷土・行政資料	7,056	0.28%
R	参考図書	1,582	0.06%
Z	特集本等	26,274	1.05%
合計		2,506,338	100.00%

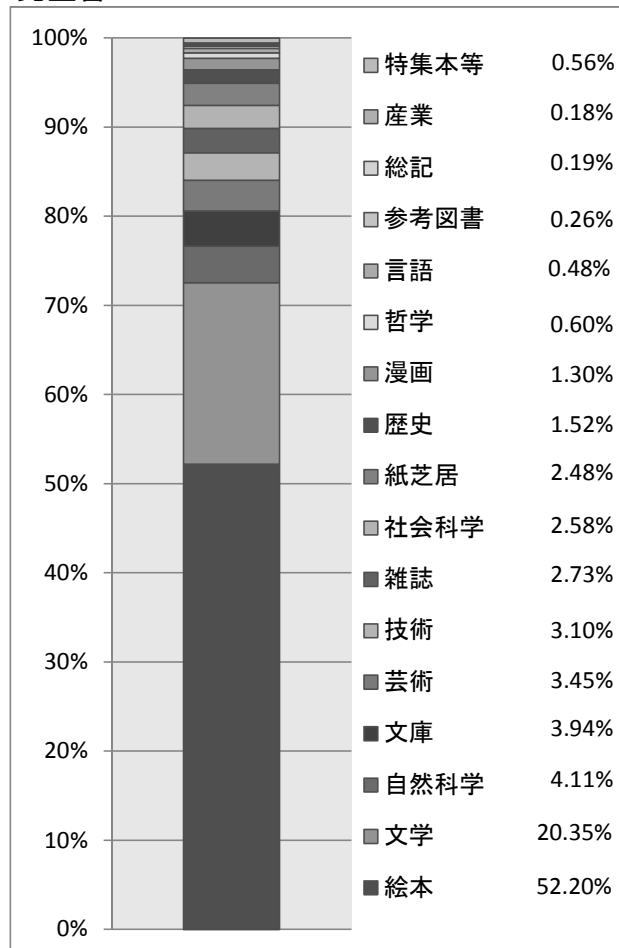
児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	533,830	52.20%
9	文学	208,088	20.35%
4	自然科学	42,077	4.11%
B	文庫	40,250	3.94%
7	芸術	35,256	3.45%
5	技術	31,670	3.10%
	雑誌	27,871	2.73%
3	社会科学	26,379	2.58%
P	紙芝居	25,322	2.48%
2	歴史	15,592	1.52%
M	漫画	13,272	1.30%
1	哲学	6,131	0.60%
8	言語	4,941	0.48%
R	参考図書	2,620	0.26%
0	総記	1,923	0.19%
6	産業	1,816	0.18%
Z	特集本等	5,692	0.56%
合計		1,022,730	100.00%

一般書



児童書



(11)AV(視聴覚)資料利用状況

AV資料貸出数

	中 央	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男 女 センター
C D	85,335	33,038	17,164	15,651	14,720	9,720	18,611	4,843	2,755	8,110	5,374	4,747	220,068	382
カセット	365	157	560	899	744	927	261	129	52	21	4	75	4,194	0
ビ デ オ	25	1	4	4	1	4	3	2	1	2	0	1	48	1
D V D	29,212	1,479	1,010	955	914	450	1,064	277	118	403	160	311	36,353	49
その他	3	9	4	0	0	0	1	0	0	1	0	0	18	0
合 計	114,940	34,684	18,742	17,509	16,379	11,101	19,940	5,251	2,926	8,537	5,538	5,134	260,681	432

(12)外国語図書 館別言語別図書蔵書数

	中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	支 援	合 計
中国語	541	7	130	200	164	171	104	1	1	0	0	0	0	1,319
アジア言語	63	3	6	10	11	6	8	0	0	0	0	0	0	107
ハングル語	600	4	77	157	174	137	101	1	0	0	0	0	0	1,251
英語	4,054	93	325	710	862	547	519	29	62	0	4	0	3	7,208
ドイツ語	85	3	12	7	18	5	11	0	0	0	0	0	0	141
フランス語	110	4	5	4	12	7	8	0	0	0	0	0	0	150
スペイン語	24	2	2	3	10	9	3	0	0	0	0	0	0	53
イタリア語	17	0	3	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	27
ロシア語	22	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	27
その他言語	71	15	11	19	17	16	12	0	1	0	0	0	0	162
合計	5,587	132	572	1,111	1,271	899	771	31	64	0	4	0	3	10,445

(13)レファレンス受付数

	中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計
一般	1,788	738	580	973	792	373	749	706	291	409	610	424	8,433
児童	875	937	364	1,259	490	731	391	547	437	279	384	352	7,046
合 計	2,663	1,675	944	2,232	1,282	1,104	1,140	1,253	728	688	994	776	15,479

(14) 予約・リクエスト統計

一般図書・雑誌

館名 内訳	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	228,780	108,988	79,076	65,638	61,986	43,187	75,525	18,583	11,265	46,180	14,932	30,489	784,629	3,276
内 借用	2,884	1,727	1,494	874	1,218	705	932	279	205	921	144	481	11,864	37
数 提供不能	184	42	66	53	70	29	64	9	22	74	4	21	638	
選定落ち	0	49	13	0	0	0	65	0	0	3	0	1	131	

児童図書・雑誌

館名 内訳	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	20,088	13,214	10,565	9,191	6,766	9,412	7,966	2,865	1,905	6,119	3,963	4,725	96,779	281
内 提供不能	0	2	0	0	1	0	0	3	1	0	1	0	8	
数 選定落ち	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	

A V

館名 内数	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	24,529	10,123	8,275	9,293	6,892	4,070	10,326	2,103	1,062	3,301	1,410	2,738	84,122	371
内 提供不能	0	11	11	1	0	1	0	1	0	6	1	0	32	
数 選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

予約受付 →インターネット・館内端末からの利用者による予約を含む。

借用 →当該資料が区内未所蔵等のため、区外の図書館からの取り寄せたもの。

(他の自治体所蔵の資料のため、一般書・児童書の区別ができず、一般書にまとめて記載した。)

提供不能 →区内・区外ともに資料がなく、絶版等で購入もできなかったもの。

選定落ち →区内・区外ともに資料がなく購入選定を行ったが、区立図書館の蔵書として不適当と判断したもの。

予約方法別受付件数(再掲)

予約方法	合 計	割合
図書館カウンター	92,484	9.47%
インターネット	705,508	72.19%
館内端末	179,251	18.34%
合計	977,243	100%

* 男女平等推進センター含む。団体、協力含む。

図書館カウンター →予約・リクエストカードを図書館カウンターに提出し、図書館職員が予約入力する。

インターネット →インターネットによる予約。(平成16年1月28日より受付開始。)

館内端末 →館内利用者端末から、利用者が直接予約入力。(平成15年1月17日より受付開始。)

(15)蔵書点検

蔵書資料点検の実施時期及び3年にわたって不明だった資料数

館名	蔵書点検実施時期	一般書	児童書	雑誌	図書・雑誌の計	CD	カセット	ビデオ	DVD
中央図書館	9月10日～9月13日	194	29	24	247	13	1	0	7
中央図書館 (保存庫部分)	5月15日～5月17日	43	24	0	67	0	3	1	0
立石図書館	6月11日～6月14日	23	0	1	24	24	0	0	0
お花茶屋図書館	6月19日～6月22日	83	15	26	124	4	0	0	0
上小松図書館	5月29日～6月1日	45	18	18	81	0	1	0	0
亀有図書館	6月5日～6月8日	60	14	8	82	2	0	0	0
水元図書館	10月20日～10月25日	150	22	28	200	11	3	0	0
鎌倉図書館	10月2日～10月5日	83	10	17	110	4	0	0	1
四つ木地区図書館	11月6日～11月7日	9	6	2	17	1	0	0	0
西水元地区図書館	9月4日～9月5日	10	1	3	14	0	0	0	0
青戸地区図書館	11月13日～11月14日	24	5	1	30	0	0	0	0
奥戸地区図書館	10月30日～10月31日	1	0	0	1	0	0	0	0
新宿図書センター	11月27日～11月28日	47	40	7	94	0	0	0	0
合 計		772	184	135	1,091	59	8	1	8

図書資料の除籍冊数推移

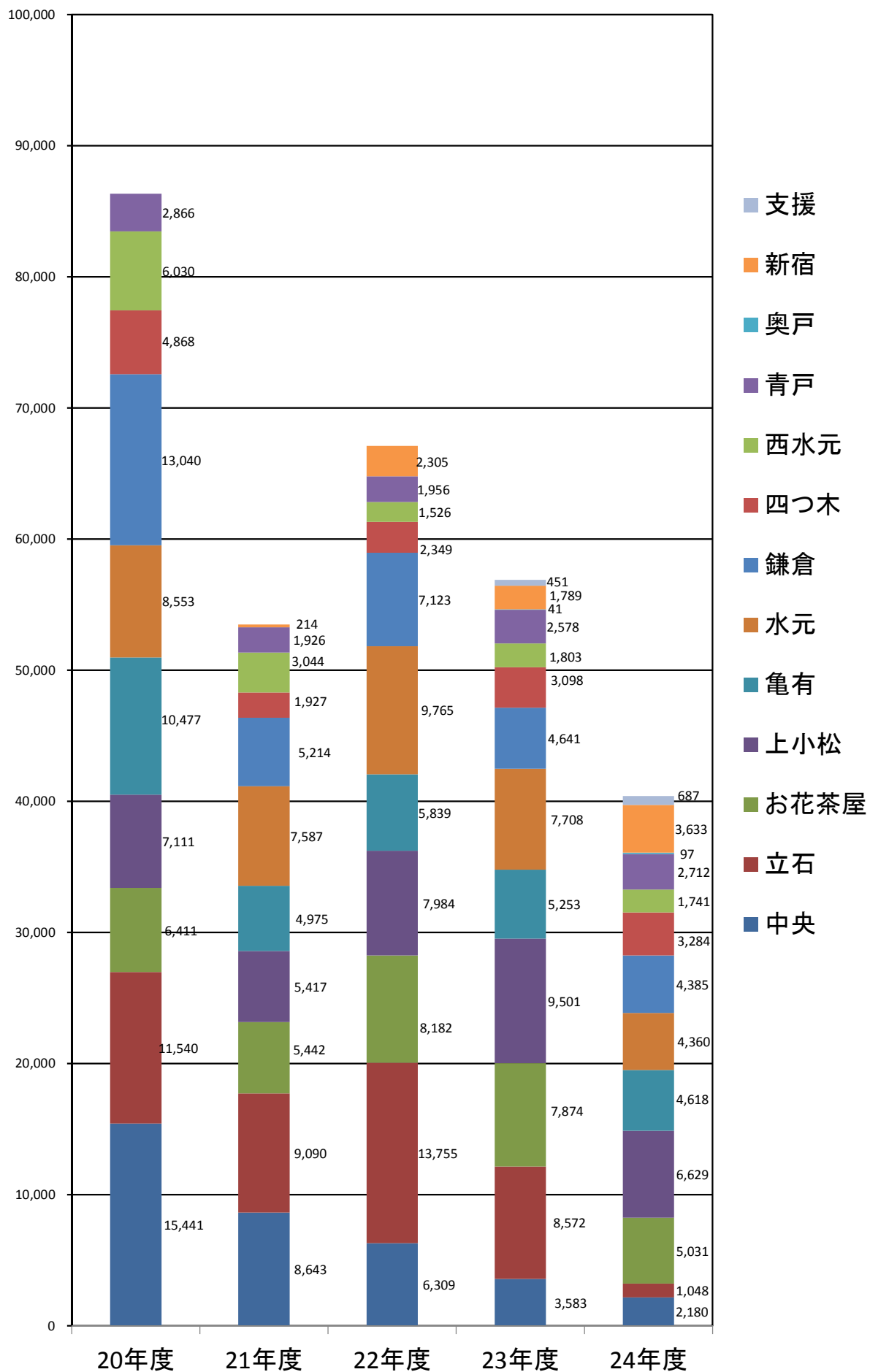
(平成25年4月1日現在)

館 名	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
中央図書館	15,441	8,643	6,309	3,583	2,180
立石図書館	11,540	9,090	13,755	8,572	1,048
お花茶屋図書館	6,411	5,442	8,182	7,874	5,031
上小松図書館	7,111	5,417	7,984	9,501	6,629
亀有図書館	10,477	4,975	5,839	5,253	4,618
水元図書館	8,553	7,587	9,765	7,708	4,360
鎌倉図書館	13,040	5,214	7,123	4,641	4,385
四つ木地区図書館	4,868	1,927	2,349	3,098	3,284
西水元地区図書館	6,030	3,044	1,526	1,803	1,741
青戸地区図書館	2,866	1,926	1,956	2,578	2,712
奥戸地区図書館	—	—	—	41	97
新宿図書センター	—	214	2,305	1,789	3,633
学校図書支援コーナー	—	—	—	451	687
合 計	86,337	53,479	67,093	56,892	40,405

注:平成20年度の中央図書館の除籍冊数は、葛飾図書館の除籍冊数。

平成21年度の中央図書館の除籍冊数には、葛飾図書館の除籍冊数を含む。

図書資料の除籍冊数推移



(16) 図書受入・除籍数

図書受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計
一般	購入	6,321	3,382	3,155	3,028	3,276	3,188	3,122	1,649	1,533	1,612	1,906	1,671	58	33,901
	寄贈	1,968	1,155	986	790	846	856	551	468	133	287	223	264	53	8,580
	合計	8,289	4,537	4,141	3,818	4,122	4,044	3,673	2,117	1,666	1,899	2,129	1,935	111	42,481
児童	購入	3,904	1,506	1,140	1,135	1,142	1,148	1,193	633	510	617	659	635	396	14,618
	寄贈	53	121	104	53	18	100	26	42	4	12	15	13	129	690
	合計	3,957	1,627	1,244	1,188	1,160	1,248	1,219	675	514	629	674	648	525	15,308
合計	購入	10,225	4,888	4,295	4,163	4,418	4,336	4,315	2,282	2,043	2,229	2,565	2,306	454	48,519
	寄贈	2,021	1,276	1,090	843	864	956	577	510	137	299	238	277	182	9,270
	合計	12,246	6,164	5,385	5,006	5,282	5,292	4,892	2,792	2,180	2,528	2,803	2,583	636	57,789

雑誌受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
購入		4,494	2,441	2,352	2,188	2,314	2,273	2,152	967	1,066	996	1,032	971	23,246
寄贈		833	49	97	86	123	90	40	12	14	1	0	2	1,347
合計		5,327	2,490	2,449	2,274	2,437	2,363	2,192	979	1,080	997	1,032	973	24,593

図書除籍数

		中央 (葛飾 舎)	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計
一般	廃棄	1,391	890	4,221	4,606	3,438	3,269	3,072	2,490	1,287	2,153	61	2,117	35	29,030
	亡失	345	58	98	56	79	167	111	14	15	32	7	54	0	1,036
	合計	1,736	948	4,319	4,662	3,517	3,436	3,183	2,504	1,302	2,185	68	2,171	35	30,066
児童	廃棄	385	91	695	1,948	1,086	900	1,190	773	437	524	28	1,411	652	10,120
	亡失	59	9	17	19	15	24	12	7	2	3	1	51	0	219
	合計	444	100	712	1,967	1,101	924	1,202	780	439	527	29	1,462	652	10,339
合計	廃棄	1,776	981	4,916	6,554	4,524	4,169	4,262	3,263	1,724	2,677	89	3,528	687	39,150
	亡失	404	67	115	75	94	191	123	21	17	35	8	105	0	1,255
	合計	2,180	1,048	5,031	6,629	4,618	4,360	4,385	3,284	1,741	2,712	97	3,633	687	40,405

(17)AV受入数

	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計
C D	216	130	101	100	116	133	95	57	54	67	58	61	1,188
カセット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビ デ オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D V D	231	24	1	1	3	1	2	1	1	1	1	1	268

(18)団体貸出の利用状況

	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	支 援	合 計
登録 団体数	403	156	299	277	221	323	237	32	41	14	9	47	0	2,059
貸出 冊数	5,081	3,794	5,824	4,683	4,589	7,212	4,790	4,917	1,411	2,590	3,384	1,347	71,299	120,921

注:支援の登録団体数は新宿に含める。

(19)障がい者サービスの利用状況

登録数

登録数 (人)	内 訳		
	視 覚	肢 体	そ の 他
776	167	316	293

対面朗読利用者数(自宅含む)

利用者数 (人)	延時間 (H)
162	286

資料数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	2,546	2,840
録音図書	56	274
大活字本	3,474	8,142
文芸カセット	—	1,648
文芸CD	—	1,273
デージー図書	154	154
デージー再生機	8台	—
点訳絵本	202	202
布絵本	52	121

宅配件数及び貸出数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	5	5
録音図書	117	117
カセット類	0	0
C D	305	305
デージー	202	202
墨字図書	906	906

(単位:カセット類;巻, CD・デージー;枚)

(単位:文芸カセット;巻, デージー;枚)

*点字図書は中央図書館、その他は全館分

(20) 図書館別・自動貸出機利用者数

一般室

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合 計
就学前	2,820	1,072	102	175	131	131	586	5,017
小学生	12,839	5,353	908	2,242	643	1,185	4,474	27,644
中学生	6,826	4,608	808	501	484	462	657	14,346
高校生	4,000	2,322	311	87	217	163	120	7,220
一般	188,062	115,644	18,704	8,927	11,640	11,899	12,608	367,484
高齢者	47,766	21,548	4,993	1,141	1,933	2,923	1,721	82,025
その他	16	12	2	2	1	0	2	35
団体	66	8	0	0	0	1	5	80
合 計	262,395	150,567	25,828	13,075	15,049	16,764	20,173	503,851

児童室

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	合 計
就学前	4,890	3,543	1,495	9,928
小学生	9,934	12,433	7,727	30,094
中学生	534	525	199	1,258
高校生	78	21	14	113
一般	8,836	10,831	4,725	24,392
高齢者	341	430	107	878
その他	3	4	6	13
団体	9	5	0	14
合 計	24,625	27,792	14,273	66,690

予約棚

(貸出者数:人)

	中央
就学前	1,022
小学生	5,019
中学生	4,176
高校生	2,482
一般	112,430
高齢者	9,124
その他	0
団体	47
合 計	134,300

図書館別合計

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合 計
就学前	8,732	4,615	1,597	175	131	131	586	15,967
小学生	27,792	17,786	8,635	2,242	643	1,185	4,474	62,757
中学生	11,536	5,133	1,007	501	484	462	657	19,780
高校生	6,560	2,343	325	87	217	163	120	9,815
一般	309,328	126,475	23,429	8,927	11,640	11,899	12,608	504,306
高齢者	57,231	21,978	5,100	1,141	1,933	2,923	1,721	92,027
その他	19	16	8	2	1	0	2	48
団体	122	13	0	0	0	1	5	141
合 計	421,320	178,359	40,101	13,075	15,049	16,764	20,173	704,841

(21) 中央図書館個人閲覧席・利用者用インターネット利用者数

(利用者数:人)

	個人閲覧席 (42席)	ビジネスPC (9台)	児童PC (1台)	検索PC (4台)
4月	4,148	1,365	126	2,899
5月	4,834	1,366	147	3,007
6月	4,823	1,392	154	3,007
7月	5,323	1,502	265	3,307
8月	5,731	1,768	422	3,739
9月	4,340	1,252	146	2,663
10月	5,140	1,521	182	3,095
11月	4,808	1,302	127	2,751
12月	4,756	1,403	131	2,862
1月	5,212	1,405	158	3,054
2月	4,764	1,386	100	2,848
3月	4,243	1,406	134	3,231
合 計	58,122	17,068	2,092	36,463

(22)メール通知サービス登録者数

(登録者数:人)

		24年度新規登録者数	累計登録者数
メールマガジン 送付サービス	PC向け	305	2,130
	携帯向け	118	797
新着図書 お知らせサービス	検索条件指定の 件数	994	3,107
	ジャンル指定	522	2,310
貸出情報お知らせサービス		1,927	10,111
返却期限お知らせサービス		2,521	13,229
合計		6,387	31,684

(23)図書館別来館者数・平均来館者数

(来館者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
来館者数	1,187,303	497,997	258,601	264,092	196,121	214,845	282,013	59,952	55,598	106,333	55,250	131,647	3,309,752
開館日数	349	349	292	292	292	287	292	280	280	280	280	280	3,553
平均来館者数	3,402	1,427	886	904	672	749	966	214	199	380	197	470	10,466

(24)利用カードパスワード登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	1,546	3,266	750	388	13,142	1,550	311	215	21,168
累計登録者数	4,654	14,858	9,203	7,175	100,383	12,463	146	1,285	150,167

(25)E-mailアドレス登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	146	336	240	149	3,636	148	7	0	4,662
累計登録者数	450	1,490	1,167	1,398	35,763	1,610	8	27	41,913

(26)貸出ベスト 一般図書

対象期間 平成24年4月 ～ 平成25年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	新参者(〔加賀恭一郎シリーズ〕)	東野圭吾	講談社	529
2	夜行観覧車	湊かなえ	双葉社	470
3	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	光文社	469
3	1Q84-a novel-BOOK 1 4月-6月	村上春樹	新潮社	469
4	小暮写真館	宮部みゆき	講談社	465
5	謎解きはディナーのあとで [1]	東川篤哉	小学館	441
6	聖女の救済(〔ガリレオ〕 [5])	東野圭吾	文藝春秋	440
7	1Q84-a novel-BOOK 2 7月-9月	村上春樹	新潮社	419
8	麒麟の翼(〔加賀恭一郎シリーズ〕)	東野圭吾	講談社	412
9	1Q84-a novel-BOOK 3 10月-12月	村上春樹	新潮社	406
10	白銀ジャック(実業之日本社文庫 ひ1-1)	東野圭吾	実業之日本社	404
11	告白(双葉文庫 み-21-01)	湊かなえ	双葉社	401
12	ガリレオの苦悩(〔ガリレオ〕 [4])	東野圭吾	文藝春秋	393
13	天地明察	沖方丁	角川書店	382
14	悪の教典 上	貴志祐介	文藝春秋	378
14	パラドックス13	東野圭吾	毎日新聞社	378
15	マスカレード・ホテル	東野圭吾	集英社	374
16	プラチナデータ	東野圭吾	幻冬舎	363
17	東雲ノ空-書き下ろし長編時代小説-(双葉文庫 さ-19-44 居眠り磐音江戸双紙 38)	佐伯泰英	双葉社	354
18	悪の教典 下	貴志祐介	文藝春秋	351
19	真夏の方程式(〔ガリレオ〕 [6])	東野圭吾	文藝春秋	345
20	あんじゅう-三島屋変調百物語事統一	宮部みゆき	中央公論新社	341

(26)貸出ベスト 児童図書

対象期間 平成24年4月 ～ 平成25年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	はらぺこあおむし 改訂版	エリック＝カール	偕成社	810
2	ぐりとぐら	中川李枝子作 大村百合子絵	福音館書店	784
3	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん〔え〕 森比左志著 わたよしおみ著	こぐま社	779
4	もこもこもこ	谷川俊太郎作 元永定正絵	文研出版	682
5	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	668
6	ぼくんちカレーライス	つちだのぶこ	佼成出版社	666
7	がたんごとんがたんごとん	安西水丸	福音館書店	661
8	からすのパンやさん	加古里子	偕成社	643
9	11ぴきのねこ	馬場のぼる	こぐま社	642
10	わたしのワンピース	にしまきかやこ	こぐま社	628
11	キャベツくん	長新太	文研出版	611
11	ぐりとぐらのえんそく	なかがわりえこ著 やまわきゆりこ絵	福音館書店	611
12	そらまめくんのベッド	なかやみわ	福音館書店	593
13	おつきさまこんばんは	林明子	福音館書店	578
14	歯がぬけた	中川ひろたか作 大島妙子絵	PHP研究所	567
15	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	565
16	おおきなかぶーロシアの昔話ー	A. トルストイ	福音館書店	564
17	ねないこだれだ	せなけいこ	福音館書店	561
18	ともだちや	内田麟太郎作 降矢なな絵	偕成社	553
19	じゃあじゃあびりびり 改訂版	まつい のりこ	偕成社	536
19	こんとあき	林明子	福音館書店	536
20	エルマーのぼうけん 新版	ルース・スタイルス ・ガネット	福音館書店	534

(26)貸出ベスト AV(CD)

対象期間 平成24年4月 ～ 平成25年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	ayaka's History 2006-2009	絢香	ワーナーミュージック・ジャパン	176
2	My song Your song	いきものがかり	ソニー・ミュージックディストリビューション	139
3	キング・オブ・ポップ-ジャパン・エディション-	マイケル・ジャクソン	ソニー・ミュージックジャパン・インターナショナル	133
4	What's Love?	JUJU	ソニー・ミュージックディストリビューション	131
5	スタジオジブリの歌		ファーストディストリビューション	118
6	いままでのA面、B面ですと！?	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック	117
7	GAME/パフューム	Perfume	徳間ジャパンコミュニケーションズ	113
7	あかちゃんとお母さんのあそびうた	小林衛己子	キング レコーズ	113
8	ザ・ビートルズ アンソロジー2	ザ・ビートルズ	東芝EMI	111
8	愛すべき未来へ	EXILE	エイベックス・マーケティング	111
9	ALL SINGLES BEST	コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン	109
10	ベスト・フォーク100-青春のFORK&POPS-		東芝EMI	108
11	ライヴアルバム/いきものがかり	いきものがかり	ソニー・ミュージックディストリビューション	107
12	UTADA HIKARU SINGLE COLLECTION VOL.2	宇多田ヒカル	EMIミュージック・ジャパン	106
12	CYCLE HIT-スピッツ・コンプリート・シングル・コレクション-1991-1997	スピッツ	ユニバーサル・ミュージック	106
12	FAKIN' POP/平井堅	平井堅	ソニー・ミュージックディストリビューション	106
13	“元祖”爆笑スーパーライブ第0集! -すべてはここから始まった-	綾小路きみまろ	テイチクエンタテインメント	104
14	夢やぶれて	スーザン・ボイル	ソニー・ミュージックディストリビューション	103
15	Love Songs～また君に恋してる～	坂本冬美	EMIミュージック・ジャパン	101
15	Box Emotions	Superfly	ワーナーミュージック・ジャパン	101
15	FUNKY MONKEY BABYS BEST	FUNKY MONKEY BABYS	キングレコード	101
16	MR.CHILDREN 1996-2000	ミスター・チルドレン	トイズファクトリーレコード	100
17	HEART STATION/宇多田ヒカル	宇多田ヒカル	EMIミュージック・ジャパン	99
18	展覧会の絵	フランツ・リスト	エイベックス・マーケティング	96
18	Utada Hikaru SINGLE COLLECTION VOL.1	宇多田ヒカル	東芝EMI	96
18	グレイテスト・ヒッツ/スキマスイッチ	スキマスイッチ	BMGジャパン	96
18	コンプリート 百恵回帰	山口百恵	SONY MUSIC DIRECT	96
19	中島美嘉/BEST	中島美嘉	SONY MUSIC ASSOCIATED	95
20	神様のカルテ～辻井伸行自作集	辻井伸行	エイベックス・マーケティング	94
20	ソングス・フォー・ジャパン		ソニー・ミュージックディストリビューション	94
20	ANSWER	アンジェラ・アキ	ソニー・ミュージックディストリビューション	94
20	ザ・ベスト盤	Cocco	ビクターエンタテインメント	94
20	柴咲 コウ Single Best/柴咲コウ	柴咲コウ	ユニバーサル・ミュージック	94

(26)貸出ベスト AV(カセット)

対象期間 平成24年4月 ～ 平成25年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	よいこのどうようベスト60		日本コロムビア	33
2	宮路オサム/全曲集 2007	宮路オサム	東芝EMI	28
3	イングリッシュジャーナル 2000年12月		アルク	27
4	EMI演歌全曲集		EMIミュージック ジャパン	26
5	夜ふけと梅の花(新潮カセットブック 18)	井川比佐志	新潮社	19

(26)貸出ベスト AV(DVD)

対象期間 平成24年4月 ～ 平成25年3月

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	男はつらいよ-寅次郎の休日-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	90
2	男はつらいよ-拝啓 車 寅次郎様-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	88
3	男はつらいよ-寅次郎真実一路-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	87
4	男はつらいよ-寅次郎の告白-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
4	男はつらいよ-寅次郎紙風船-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
5	男はつらいよ-寅次郎 紅の花-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	85
6	男はつらいよ-旅と女と寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	84
7	男はつらいよ-知床慕情-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	83
7	男はつらいよ-寅次郎あじさいの恋-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	83
8	男はつらいよ-夜霧にむせぶ寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
8	男はつらいよ-寅次郎サラダ記念日-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
8	男はつらいよ-望郷篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
8	男はつらいよ-寅次郎夢枕-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
8	男はつらいよ-フーテンの寅-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
8	男はつらいよ-新・男はつらいよ-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
9	男はつらいよ-葛飾立志篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	81
10	男はつらいよ-寅次郎子守歌-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	80

10 葛飾区立図書館関係例規集

○葛飾区立図書館設置条例

昭和42年3月20日
条例第10号

(設置)

第1条 葛飾区に図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき、葛飾区立図書館(以下「館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第2条 館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
葛飾区立中央図書館	東京都葛飾区金町六丁目2番1号
葛飾区立立石図書館	東京都葛飾区立石一丁目9番1号
葛飾区立お花茶屋図書館	東京都葛飾区お花茶屋二丁目1番15号
葛飾区立上小松図書館	東京都葛飾区東新小岩三丁目12番1号
葛飾区立亀有図書館	東京都葛飾区亀有一丁目17番5号
葛飾区立水元図書館	東京都葛飾区東水元一丁目7番3号
葛飾区立鎌倉図書館	東京都葛飾区鎌倉二丁目4番5号

2 前項の館に次のとおり分館を置く。

名称等	位置
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立四つ木地区図書館	東京都葛飾区四つ木四丁目8番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立西水元地区図書館	東京都葛飾区西水元二丁目2番8号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立青戸地区図書館	東京都葛飾区青戸五丁目20番6号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立奥戸地区図書館	東京都葛飾区奥戸三丁目5番1号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立新宿図書センター	東京都葛飾区新宿三丁目7番1号

(昭42条例39・昭48条例9・昭52条例2・昭52条例27・昭56条例52・昭57条例18・昭62条例15・平8条例45・平10条例67・平15条例70・平21条例1・平22条例47・一部改正)

(委任)

第3条 この条例の施行について必要な事項は、葛飾区教育委員会が定める。

付 則

- この条例は、昭和42年4月1日から施行する。
- 東京都葛飾区立図書館設置及び管理条例(昭和23年12月葛飾区条例第13号)は、廃止する。
- 葛飾区立立石図書館は、平成21年3月23日から葛飾区教育委員会規則で定める日までの間、休館とする。

(葛飾区教育委員会規則で定める日
=平成23年6月29日)

(平21条例1・追加)

付 則(中間省略)

付 則(平成10年12月14日条例第67号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成11年教委規則第8号で平成11年6月1日から施行)

付 則(平成15年12月12日条例第70号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成16年教委規則第6号で平成16年5月12日から施行)

付 則(平成21年2月27日条例第1号)

この条例は、平成21年10月17日から施行する。ただし、付則に1項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

付 則(平成22年12月15日条例第47号)

この条例は、平成23年4月2日から施行する。

○葛飾区立図書館館則

昭和 52 年 4 月 30 日
教委規則第 6 号

東京都葛飾区立図書館館則(昭和 42 年 4 月
東京都葛飾区教育委員会規則第 4 号)の全部
を改正する。

(目的)

第 1 条 この規則は、葛飾区立図書館設置条
例(昭和 42 年葛飾区条例第 10 号。以下「条
例」という。)に規定する図書館(以下「館」
という。)の運営等に関し、必要な事項を
定めることを目的とする。

(平 3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・
一部改正)

(館の区分)

第 2 条 葛飾区教育委員会(以下「委員会」と
いう。)は、館を次のとおり区分する。

中央館 葛飾区立中央図書館
地域館 葛飾区立立石図書館
地域館 葛飾区立お花茶屋図書館
地域館 葛飾区立上小松図書館
地域館 葛飾区立亀有図書館
地域館 葛飾区立水元図書館
地域館 葛飾区立鎌倉図書館

2 条例第 2 条第 2 項に規定する分館は、地区館
及び図書センターとし、次に掲げるとおり
とする。

地区館 葛飾区立四つ木地区図書館
(葛飾区立中央図書館分館)
地区館 葛飾区立西水元地区図書館
(葛飾区立中央図書館分館)
地区館 葛飾区立青戸地区図書館(葛
飾区立中央図書館分館)
地区館 葛飾区立奥戸地区図書館(葛
飾区立中央図書館分館)
図書センター 葛飾区立新宿図書セン
ター(葛飾区立中央図書館分館)

(昭 52 教委規則 9・昭 56 教委規則 11・
昭 57 教委規則 11・昭 62 教委規則 7・
平 8 教委規則 22・平 11 教委規則 9・
平 16 教委規則 7・平 21 教委規則 17・
平 23 教委規則 2・一部改正)

(事業)

第 3 条 館は、図書館法(昭和 25 年法律第 118
号)第 3 条の規定に基づき、次の事業を行
う。

- (1) 図書資料(図書、記録、官報、公報、
地図、絵画、写真集、新聞、雑誌、パ
ンフレット等をいう。以下同じ。)の
館内利用、館外貸出し及び団体貸出し
- (2) 読書案内及び読書相談

(3) 読書会、研究会、講演会、講習会、
映写会、鑑賞会等の主催及びこれらの
開催の奨励

(4) 視聴覚資料(CD、DVD、録音テープ、
紙芝居等をいう。以下同じ。)の館内
利用及び館外貸出し

(5) 視覚障害者に対する資料の朗読及
び資料の録音

(6) 郷土資料(郷土に関する文献等をい
う。以下同じ。)及び行政資料の館内
利用及び館外貸出し

(7) 他の図書館、学校その他の教育機関
との連絡

(8) その他館の目的達成のため必要な
事業

2 前項の規定にかかわらず、地区館及び図書
センターは次の事業を行う。

(1) 図書資料、視聴覚資料の館内利用及
び館外貸出し

(2) その他館の目的達成のため必要な
事業

(昭 61 教委規則 2・昭 63 教委規則 3・
平元教委規則 9・平 2 教委規則 3・平
3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・平
21 教委規則 17・一部改正)

(開館時間)

第 4 条 開館時間は別表第 1 のとおりとする。
ただし、中央館の館長(以下「中央館長」
という。)は、事情によりこれを変更する
ことができる。

(平 18 教委規則 5・全改)

(休館日)

第 5 条 館の休館日は、別表第 2 のとおりと
する。ただし、中央館長が必要と認めると
きは、これを変更し、又は臨時に休館日を
定めることができる。

(平 18 教委規則 5・全改)

(読書室等の利用)

第 6 条 館の読書室等の種別及びその利用区
分は、次のとおりとする。ただし、中央館
長及び地域館の館長(以下「館長」という。)
は、事情によりこれを変更し又は制限する
ことができる。

(1) 一般室 主として社会人、学生及び
生徒

(2) 児童室 概ね 12 才未満の者及びそ
の付添人

(3) 対面朗読室 対面朗読で利用する
者

(4) 録音室 録音を行う者

(昭 61 教委規則 2・平 23 教委規則 2・
一部改正)

(館内秩序)

第7条 館長は、館内の秩序を乱し、又は他の利用者の迷惑になる行為をする者に対し、館の利用を制限し、又は退館させることができる。

(平6教委規則7・全改)

(個人貸出し)

第8条 資料(図書資料、視聴覚資料、郷土資料及び行政資料をいう。以下同じ。)の個人貸出しを受けようとする者は、個人利用カードによらなければならない。

- 2 前項の個人利用カードは、葛飾区に居住し、勤務し、又は通学する者で、その事実を証明する証書類を提出した者、その他館長が特に必要があると認める者に交付する。
- 3 個人利用カードの有効期間は、5年とする。
- 4 貸与され、若しくは譲渡され、又は紛失届の出された個人利用カードは、無効とする。
- 5 個人貸出しのできる資料の数は、中央館長が別に定める。
- 6 資料の個人貸出期間は、14日以内とする。ただし、館長は、利用者から申出があった場合は、7日以内の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、中央館長が特に必要があると認める場合は、別に個人貸出期間を定めることができる。

(昭61教委規則2・昭63教委規則3・一部改正、平2教委規則3・旧第9条繰上・一部改正、平6教委規則7・平12教委規則4・平17教委規則5・一部改正)

(団体貸出し)

第9条 図書資料の団体貸出しを受けようとする者は、団体登録証によらなければならない。

- 2 前項の団体登録証は、葛飾区に在住する読書サークル、文庫、事務所その他団体(以下「団体等」という。)の代表者に交付する。
- 3 団体登録証の有効期間は、5年とする。
- 4 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた団体等の代表者に対し、その利用状況について報告を求めることができる。
- 5 団体貸出しは、1口10冊とし5口以内とする。ただし、館長が特に必要があると認める場合は、この限りでない。
- 6 図書資料の団体貸出期間は、1箇月とする。ただし、館長は、あらかじめ申出があった場合は、更に1箇月間の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認める場合は、別に団体貸出期間を定めることができる。

(昭63教委規則3・平元教委規則9・一部改正、平2教委規則3・旧第10条繰上・一部改正、平23教委規則2・一部改正)

(館外貸出し等を禁ずる資料)

第10条 館長が指定した資料は、館外貸出しを禁ずる。ただし、館長が適当と認めた場合は、10日以内に限り貸出すことができる。

2 館長は、写真等による複写を許さない資料を指定することができる。

(平2教委規則3・旧第11条繰上・一部改正)

(利用中の資料の返却)

第11条 館長は、必要と認めた場合は利用者に対し、利用中の資料を返却させることができる。

(平2教委規則3・旧第14条繰上・一部改正、平3教委規則6・旧第12条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(長期未返却者に対する処置)

第12条 館長は、利用者が資料の返却を怠り、督促しても返却しない場合には、以後その者に対し資料の利用を禁ずることができる。

(平2教委規則3・旧第15条繰上、平3教委規則6・旧第13条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(損害の賠償)

第13条 館長は、利用者が資料を亡失し、又は著しく汚損し、若しくは棄損した場合には、現品又は金額をもって賠償させることができる。

(平2教委規則3・旧第16条繰上、平3教委規則6・旧第14条繰上)

(委任)

第14条 この規則の施行について必要な事項は、中央館長が定める。

(平2教委規則3・旧第17条繰上、平3教委規則6・旧第15条繰上)

付 則

この規則は、昭和52年6月1日から施行する。

付 則(中間省略)

付 則(平成12年1月26日教委規則第4号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成15年2月21日教委規則第2号)

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 16 年 2 月 20 日教委規則第 7 号)

この規則は、平成 16 年 5 月 12 日から施行する。

付 則(平成 17 年 3 月 31 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 18 年 2 月 22 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 21 年 9 月 25 日教委規則第 17 号)

この規則は、平成 21 年 10 月 17 日から施行する。

付 則(平成 23 年 3 月 10 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条第 2 項の改正規定は平成 23 年 4 月 2 日から、別表第 1 及び別表第 2 の改正規定は同年 6 月 30 日から施行する。

別表第 1(第 4 条関係)

(平 18 教委規則 5・追加、平 21 教委規則 17・平 23 教委規則 2・一部改正)

図書館名	曜日等	開館時間
中央図書館 立石図書館	月曜日から土曜日まで(次の項(2)及び(3)に掲げる日を除く。)	午前 9 時から午後 10 時まで
	(1) 日曜日 (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「祝日法」という。)に定める休日(以下「休日」という。) (3) 12 月 29 日及び同月 30 日	午前 9 時から午後 8 時まで
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	火曜日から土曜日まで(休日を除く。)	午前 9 時から午後 8 時まで
	日曜日及び休日	午前 9 時から午後 5 時まで
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 新宿図書センター	日曜日、火曜日から木曜日まで及び土曜日	午前 10 時から午後 5 時まで
	金曜日	午前 10 時から午後 8 時まで

別表第 2(第 5 条関係)

(平 18 教委規則 5・追加、平 21 教委規則 17・平 23 教委規則 2・一部改正)

図書館名	休館日
中央図書館 立石図書館	(1) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (2) 1 月 1 日から同月 3 日まで (3) 12 月 31 日 (4) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	(1) 月曜日。ただし、その日が休日(1 月 1 日を除く。)に当たるときは、その直後の休日でない日とする。 (2) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (3) 1 月 1 日から同月 3 日まで (4) 12 月 29 日から同月 31 日まで (5) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 新宿図書センター	(1) 月曜日 (2) 休日(1 月 1 日を除く。)。ただし、その日が月曜日に当たるときは、その直後の休日でない日を休館日とし、休日のうち祝日法第 3 条第 2 項で規定する休日が月曜日に当たるときは、その前日を開館日、その直後の休日でない日を休館日とする。 (3) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (4) 1 月 1 日から同月 3 日まで (5) 12 月 29 日から同月 31 日まで (6) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内

○葛飾区立図書館処務規程

昭和 52 年 6 月 1 日

教委訓令甲第 5 号

事務局一般

各図書館

東京都葛飾区立図書館処務規程(昭和 42 年 3 月葛飾区教育委員会訓令甲第 2 号)の全部を次のように改正する。

(目的)

第 1 条 この規程は、葛飾区立図書館(葛飾区立図書館館則(昭和 52 年葛飾区教育委員会規則第 6 号)第 2 条の規定に基づく中央館及び地域館並びに地区館及び図書センターをいう。以下「館」という。)の組織等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平 8 教委訓令 4・平 21 教委訓令 3・一部改正)

(系の設置)

第 2 条 中央館に次の係を置く。

管理係

事業推進係

(平元教委訓令 2・全改、平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 23 教委訓令 1・一部改正)

(分掌事務)

第 3 条 中央館の各係の分掌事務は、次のとおりとする。

管理係

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の給与及び服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 予算及び会計事務に関する事。
- (5) 中央館の施設の維持管理に関する事。
- (6) 地域館、地区館及び図書センターに関する事。
- (7) 区立図書館基本計画に関する事。
- (8) 図書館施設整備計画調査に関する事。
- (9) 区立図書館の改修及び開設に関する事。
- (10) 館内庶務その他他の係に属しない事。

事業推進係

- (1) 情報システムによる図書館資料の管理及び利用に関する事。

- (2) 図書資料及び視聴覚資料の選定、発注、装備及び受入れに関する事。
- (3) 区立図書館事業に係る計画及び調整に関する事。
- (4) 統計に関する事。
- (5) 広報に関する事。
- (6) 研修に関する事。
- (7) 資料の調査相談に関する事。
- (8) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (9) 図書資料の館内利用、館外貸出し及び団体貸出しに関する事。
- (10) 図書資料の相互貸借に関する事。
- (11) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (12) 読書室等の利用に関する事。
- (13) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (14) 郷土資料及び行政資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (15) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
- (16) 対面朗読室及び録音室の利用に関する事。
- (17) 地区館及び図書センターの図書資料の貸出し及び運営に関する事。
- (18) 葛飾区男女平等推進センター(以下「男女平等推進センター」という。)の図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関する事。

2 地域館の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (5) 図書資料の館内利用及び館外貸出しに関する事。
- (6) 図書資料の相互貸借に関する事。
- (7) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (8) 読書室等の利用に関する事。
- (9) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (10) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
- (11) 施設の維持管理に関する事。

(12) 男女平等推進センターの図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関すること。

(平元教委訓令 2・全改、平 3 教委訓令 2・平 4 教委訓令 10・平 5 教委訓令 1・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 13 教委訓令 7・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 21 教委訓令 3・平 23 教委訓令 1・平 24 教委訓令 2・一部改正)

(職員)

第 4 条 中央館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 係長
- (3) 館員

2 地域館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 館員

3 係に主査を置くことができる。

4 地域館に主査を置くことができる。

5 前 4 項に掲げる職員は、葛飾区教育委員会が命ずる。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 61 教委訓令 2・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・一部改正)

第 4 条の 2 地区館及び図書センターに館員を置く。

2 前項に定める館員は、前条の職員のうちから中央館の館長(以下「中央館長」という。)が配属する。

(平 8 教委訓令 4・追加、平 21 教委訓令 3・一部改正)

(職責)

第 5 条 中央館長は、課長相当職とし、教育次長の命を受け、館務を掌理し、館の職員を指揮監督する。

2 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。

3 地域館の館長(以下「地域館長」という。)は、係長相当職とし、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 主査は、上司の命を受け、係の事務又は地域館の事務のうち、特定の事務を処理する。

5 前 4 項以外の職員は、上司の命をうけ、館務に従事する。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 57 教委訓令 甲 6・平 4 教委訓令 9・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(館長の専決事項)

第 6 条 中央館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

(1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

(2) 中央館の所属職員及び地域館長の近接地内旅行、私事旅行、欠勤、休暇、育児休業、部分休業、育児短時間勤務、超過勤務、休日勤務、代休日の指定、週休日の振替及び深夜勤務制限に関すること。

(3) 地域館の所属職員の私事旅行、欠勤、病気休暇、介護休暇、組合休暇及び深夜勤務制限に関すること。

(4) 職員の事務分掌に関すること。

(5) その他定例の事務に関すること。

2 地域館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

(1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

(2) 所属職員の近接地内旅行、年次有給休暇、特別休暇、育児休業、部分休業、育児短時間勤務、超過勤務、休日勤務、代休日の指定及び週休日の振替に関すること。

(3) 所属職員の事務分掌に関すること。

(4) その他定例軽易な事務に関すること。

(昭 56 教委訓令 甲 3・平 4 教委訓令 9・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 19 教委訓令 7・平 20 教委訓令 10・一部改正)

(事案の代決)

第 7 条 中央館長及び地域館長(以下「館長」という。)が出張又は休暇その他の事故により不在のときは、館長があらかじめ指定する職員がその事案を代決する。

(事務報告)

第 8 条 中央館長は、毎月 5 日までに次の事項を教育次長に報告しなければならない。

(1) 前月分の職員の勤務状況

(2) 前月分の事務の処理状況

2 前項に掲げるもののほか特に必要と認める事項は、随時報告しなければならない。

3 地域館長は、毎月 3 日までに前 2 項に規定する事項を中央館長に報告しなければならない。

(昭 57 教委訓令甲 6・平 4 教委訓
令 9・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(準用)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、館
の処務、文書の取扱い、職員の服務その
他必要な事項については、葛飾区教育委
員会事務局処務規程(昭和 40 年葛飾区
教育委員会訓令甲第 1 号)を準用する。

付 則(中間省略)

付 則(平成 12 年 2 月 15 日教委訓令第
1 号)

この訓令は、平成 12 年 4 月 1 日から施行す
る。

付 則(平 13 年 3 月 30 日教委訓令第 7
号)

この訓令は、平成 13 年 4 月 1 日から施行す
る。

付 則(平成 16 年 3 月 9 日教委訓令第
10 号)

この訓令は、平成 16 年 4 月 1 日から施行す
る。

付 則(平成 18 年 3 月 10 日教委訓令第
6 号)

この訓令は、平成 18 年 4 月 1 日から施行す
る。

付 則(平成 19 年 5 月 31 日教委訓令第
7 号)

この訓令は、平成 19 年 6 月 1 日から施行す
る。

付 則(平成 20 年 7 月 10 日教委訓令第
10 号)

改正後の第 6 条の規定は、平成 20 年 7 月 1
日から適用する。

付 則(平成 21 年 9 月 25 日教委訓令第
3 号)

この訓令は、平成 21 年 10 月 17 日から施行
する。

付 則(平成 23 年 3 月 10 日教委訓令第
1 号)

この訓令は、平成 23 年 4 月 1 日から施行す
る。

付 則(平成 24 年 3 月 9 日教委訓令第
2 号)

この訓令は、平成 24 年 4 月 1 日から施行す
る。

1 1 葛飾区子ども読書活動推進計画

○葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次） （子ども読書活動を推進するための基本的な指針）（抜粋）

第 1 章 子ども読書活動推進計画（第二次）策定の背景

1 子どもの読書活動の背景

平成 19 年度に東京都が実施した「東京都子ども読書活動推進計画実務に伴う児童・生徒の読書の状況及び学校における読書活動などに関する調査」によると、葛飾区（小学生 3,311 人 中学生 1,231 人）においては、1 か月に読む本の数は小学 2 年生の 10.2 冊をピークに、中学 3 年生は、1.2 冊に減る傾向にあります。平成 14 年に実施した同様の調査と比較すると、平均読書冊数はやや増えたものの、学年が進むにつれ読書冊数が減るという傾向は、依然として続いています。都全体を見ても、小学生、中学生、高校生と学年が進むにつれ未読者率が進む傾向にあります。

平成 20 年度の葛飾区読書の現状（教育委員会調査）によると、小学校では全 49 校中 47 校（保田しおさい学校を除く）が、中学校では全 24 校中 18 校が全校一斉の読書活動を行っています。保育園、幼稚園、児童館では、平成 21 年度の「子育ての中の読書に関するアンケート調査」によると、ほぼ全施設で本に親しむ行事を行っています。また、子ども読書に関わる地域ボランティアの活動が行われ、小・中学校においては学校図書館の環境整備が進められています。

国レベルでは、経済協力開発機構（OECD）において、2010 年 12 月 7 日、各国の 15 歳を対象に、2009 年に実施した国際的な学習到達度調査「PISA 調査」の結果が発表されました。「読解力」では、2006 年の 15 位から最も順位が高かった 2000 年と同じ 8 位に回復しています。

一方、高度情報化社会の中で、子ども達を取り巻く現状は、大きく変化しています。情報メディアであるテレビや DVD、インターネット、

携帯電話の普及により、気軽に多くの情報を一度に得ることができるようになりましたが、情報の取捨選択やセキュリティ、情報モラルなどの問題も生じています。また、電子書籍が開発され、早い、安い、省スペース、検索・加工可能など多くの利点から、今後急速に広まる可能性があります。

このため、情報メディアの利便性を生かしつつ、本という印刷物とじっくり向き合うことの出来る環境を整備し、両者の特性を十分活用出来るようにしていかなければなりません。

2 国及び東京都の動向（省略）

3 「葛飾区子ども読書活動推進計画（第一次）」の成果と課題

国や東京都の動向を踏まえ、葛飾区においても平成 17 年度に「葛飾区子ども読書活動推進計画」を策定し、(1) 子どもの読書環境の整備 (2) 地域全体での推進体制 (3) 子どもの読書活動に関わる人材育成の 3 本柱のもとで取組を推進してきました。

(1) 子どもの読書環境の整備

乳児への取組として保健所、保健センター、図書館、ボランティアが協働してブックスタート*事業を開始しました。また、保健所、保健センターでは、育児グループへの支援を行っています。図書館では、「おひぎにだっこのおはなし会」（0～3 歳児と保護者への読み聞かせ）を開始し年々参加者が増えています。

幼児への取組としては、保育園や幼稚園などでは日常の中に本を取り入れることに加えて、図書館やボランティアと協力し、絵本の時間を設けるなど充実させています。

児童への取組としては、図書館からの学校訪問・学級招待の実施、おはなし会、絵本の時間など各種行事を充実させてきました。

生徒への取組としては、図書館からの中学校訪問に際してのブックトーク（本の紹介）、ヤングアダルト（中高生）向けリスト「Dog ears」（ドッグイアーズ）」の配布やヤングア

ダルト世代（中高生）が参加できる事業の実施など、読書離れが進む世代への積極的なアプローチに努めました。また、インターネット世代を意識し、特に図書館ホームページを活用したPRの充実を図りました。

学校においては、学校図書館支援指導員の全校配置による人的整備や指導員研修の実施、図書資料の充実やデータベース化など、学校図書館の環境整備を進めてきました。

課題としては、ブックスタート以降の乳幼児への取組、病院の小児科等の子どもが集まる場所への本の配置、保育園・幼稚園等での取組について検討が求められます。また、中学校では、生徒が勉強、部活動に時間をとられるなどにより、読書から離れる傾向があり働きかけが必要とされています。

*ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、葛飾区では、一人ひとりの赤ちゃんに絵本の読み聞かせの実演などをしながら、絵本を開く楽しい体験といっしょに、絵本を手渡す活動をしています。地域に生まれたすべての赤ちゃんを対象に、乳児健康診査で実施しています。

(2) 地域全体での推進体制

子どもの読書活動推進にあたり、小・中学校、保育園、幼稚園、児童館、保健所、保健センター、図書館が連携した事業はもとより、子ども発達センター（障害者施設課）での読み聞かせの実施や、「わくわくチャレンジ広場」（地域教育課）での学校図書館の開放やおはなし会の実施など、第一次推進計画の策定をきっかけとして、庁内の関係各課との協力体制を強化してきました。

図書館主催の読み聞かせボランティア養成講座を修了したボランティアが、学校や図書館、児童館等で活動するなど、子どもの読書を地域で進めていただいています。協働による成果を踏まえ、今後、子どもの読書活動の意義を広め、さらに多くの区民の参画を促す必要があります。

(3) 子どもに関わる人材育成

平成17年に図書館が主催したボランティア研修を修了したボランティアがブックスタート事業に協力して活動しています。また、高齢者支援課が開催する社会セミナー「シニア紙芝居ボランティア養成講座」を修了した方が紙芝居サークルを結成し、子どものための上演活動を区内の施設で継続して行っています。

生涯学習課では、図書館と連携して、子どもの読書活動に関する講座の実施や生涯学習援助制度などによるボランティア団体の支援を行っており、ボランティア団体が自主的な研修会や講演会を継続的に主催するなど大きな成果が見られます。

ボランティアの自主的組織である学校図書館ボランティア連絡会では、学校図書館での本の修理、装備、読み聞かせや作家の講演会など、様々な研修会を行っています。また、子どもの読書活動推進及びボランティア活動の交流を目的とした「かつしか子どもの本のフォーラム」を毎年開催しています。

課題としては、小学校を中心としたボランティア活動は活発に行われていますが、中学校ではまだ全体に波及していないことがあげられます。今後は、家庭での読書環境を整えるために、中学校の保護者への働きかけを進めていくことが必要です。

また、ボランティアのネットワーク化を進め、読書活動に関わる人材の育成を図ることが必要です。

第2章 計画策定における基本的な考え方

1 計画の性格

本計画は、「子ども読書活動の推進に関する法律」の第9条第2項の規定に基づき、「葛飾区生涯学習振興ビジョン」、「葛飾区教育振興ビジョン（第2次）」や後期「葛飾子育て支援行動計画」、「葛飾区図書館基本計画」を踏まえて作成するものであり、「葛飾区子ども読書活動推進計画」（第一次）の目標を引き継ぎ、平成23年からお

おむね 5 年間を計画期間として、子ども読書活動推進のための基本的な指針や取組を示したものです。

2 計画の目標

(1) 子ども読書環境の充実

子どもが、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるように、多様な読書の体験ができる読書環境を整備します。また、それぞれの興味・関心を尊重しながら、発達段階に応じて読書に親しむ機会を多く作ります。

(2) 地域全体での推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、保護者や周囲の大人たちを巻き込んだ地域全体での取組が必要です。子どもの読書活動を推進できる体制を作るために、子どもに関わる機関、団体等がこれまで以上に連携・協力を深めます。

(3) 子ども読書活動に関わる人材育成

一人ひとりの区民が、子どもの読書活動の意義や重要性を理解し、関心を持ってもらえるように、広く普及、啓発を図っていきます。

また、子どもの読書活動の推進を行う人材を育成するため、ボランティア、子どもに関わる施設の職員、教員等への研修会や連絡会を開催するとともに、地域団体が行う自主的な学習会などを支援します。

3 計画の数値目標

本計画における、子ども読書活動の推進のための数値目標を設定します。

目標内容		平成 21 年度末	平成 27 年度末
図書館	児童書蔵書数	288, 508 冊	342, 000 冊
	1 人当りの貸出冊数	0～12 歳 19. 78 冊／年 13～15 歳 6. 52 冊／年	24. 5 冊 7. 7 冊
学校図書館	蔵書数	小学校 400, 029 冊 中学校 179, 188 冊	小学校 413, 500 冊 中学校 239, 120 冊
	1 人当りの貸出冊数	小学校 31. 17 冊 中学校 3. 83 冊	小学校 36 冊 中学校 10 冊
図書館と団体との連携 (団体貸出登録累計 数)		小学校	1, 140 件
		中学校	126 件
		保育園・幼稚園・読み聞かせグループ・その他	249 件
図書館と学校との連携 (学級招待・訪問)		53 回 2, 747 人	100 回 6, 000 人
読み聞かせボランティア数 (講座修了者数)		平成 14～21 年度累計 1, 358 人	平成 14～27 年度累計 2, 300 人
学校図書館の 読書活動を支援するボランティア受け入れ校	小学校	47/50 校(平成 22 年)	50/50 校
	中学校	6/24 校 (平成 22 年)	14 /24 校

*小学校・中学校の団体登録は、1 クラスにつき、2 登録（読書用・調べ学習用）が可能。

第3章「葛飾区子ども読書活動推進計画」（第二次）の取組（一部抜粋）

「葛飾区子ども読書活動推進計画（第一次）」における取組を踏まえて、今後、さらに各施策を推進します。

1 乳幼児への取組

事業名	ブックスタート事業の充実	所管	図書館 保健所・保健センター	充実
事業目標	保健所・保健センターの乳児健康診査で保護者に絵本の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡し、絵本を通して親子、親子と地域がふれあうきっかけをつくる。			
事業内容	平成17年度より開始し、保健所・保健センターにおいて乳児健康診査の際、地域のボランティア等による読み聞かせの実演を行うとともに、絵本の入ったブックスタートパックを配布します。また、外国人向けの案内も用意し一人ひとりに応じた対応をします。			

事業名	「ファーストブック」の配布	所管	図書館 保健所 保健センター	充実
事業目標	乳幼児の時期から絵本の楽しさを伝え、本のある暮らしを定着させる。			
事業内容	図書館が作成する乳幼児向け絵本リストを、ブックスタートパックの中に同封します。保護者と乳幼児が絵本を楽しむための参考として、また、図書館が実施しているお話会への参加のきっかけづくりとして効果を上げています。			

事業名	（仮称）セカンドブックの事業の検討	所管	図書館	新規
事業目標	ブックスタート以降の年齢の子どもに読書の習慣を身に付けさせる。			
事業内容	ブックスタートを契機とした読み聞かせの習慣を継続させるため、ボランティアの協力を得て、絵本の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡します。			

事業名	育児グループへの支援	所管	保健所・保健センター図書館	充実
事業目標	育児グループの活動の中で、読書の重要性を伝える。			
事業内容	絵本を通して保護者と乳児がふれあえるように、絵本の選び方などのアドバイスや読み聞かせなどを行います。また、親子、親同士の交流の機会をもてるように、継続して乳児の健やかな成長と保護者の子育てを支援します。			

事業名	ブックスタートボランティアの育成とフォローアップ	所管	図書館 ボランティア	充実
事業目標	ブックスタート事業を地域で支えるためのボランティアを養成する。			
事業内容	ボランティア養成講座や説明会を開催し、新規のボランティアを募集しています。ボランティアが意欲的に活動継続するためにフォローアップ研修を実施します。			

事業名	絵本に親しむ場の拡大	所 管	図書館	充実
事業目標	親子で絵本に親しむことができるようにする。			
事業内容	児童館、保健所・保健センターなど、子どもが集まる場所に絵本を設置しています。 今後は、病院の小児科等の各施設と連携し親子で訪れる場に拡大し、いつでもどこでも絵本に親しむことができるようにします。			

2 児童への取組 （小学生）

事業名	年齢別おすすめ絵本リストなどの作成	所 管	図書館	充実
事業目標	子ども達の本選びや保護者が読み聞かせを行うための絵本選びを支援する。			
事業内容	「いちねんせいになったらよんでみよう」「むぎわらぼうし」など、毎年、対象年齢別のお薦め本のリストを作成し、学校を通して全児童に配布します。また、大人向けの「読み聞かせに向く絵本のリスト」を作成し、読み聞かせや子ども達のための本選びに活用してもらい、読書への関心を高めます。さらに、図書館ホームページにも掲載し、いつでも活用できる状態を整えます。			

事業名	児童図書の充実	所 管	図書館	充実
事業目標	子ども達の読書活動を支えるために蔵書を充実する。			
事業内容	児童が読書に対する楽しみや喜びを発見し、児童の持つ想像力、創造性、知的好奇心を豊かに伸ばすことができるように、幅広く収集します。教科書の改訂時には調べ学習ができる蔵書の拡充を図り、学習活動の支援をします。長く読み継がれた本については買い替えをし、基本図書を中心とした蔵書の維持に努めます。			

事業名	児童室行事の充実	所 管	図書館	充実
事業目標	図書館の利用や読書のきっかけとなる各種行事を充実する。			
事業内容	従来より開催している「おはなし会」、「絵本の時間」、第一次計画時以降に開催した「おひざにだっこのおはなし会」（乳児向け）に加え、今後は「外国語のおはなし会」や「ブックトーク*の会」等、幅広く行事を企画します。			

*ブックトーク：ひとつのテーマに沿って、様々なジャンルから本を集め、複数の人に紹介し、本に興味を持たせる読書指導の方法です。

事業名	読書相談・レファレンス*機能の 実 充	所 管	図書館	充実
事業目標	子ども達からの読書相談や調べ学習などの支援、子ども読書活動を推進しているボランティアからのレファレンスに幅広く対応できる体制を整える。			
事業内容	子ども達の調べ学習に対しては、学校との連携を深め、児童、生徒が利用しやすい環境を整えるとともに、レファレンス事例をパスファインダー*にし情報共有を図るなど、素早く的確な対応を目指します。 また、ボランティア活動をする上で必要な情報や資料を提供できる体制を整えます。			

*レファレンス：図書館利用者が学習や調べものをする上で必要となる資料や情報を、効率的に利用できるように、図書館員がお手伝いをするサービスのことです。

*パスファインダー：ある特定のトピック（主題・論題）に関して資料・情報を収集する際に、関連する資料の探し方を提供するツールのことです。リーフレット形式の物やWebのものなどがあります。

事業名	体験型行事の充実	所 管	図書館 小学校	充実
事業目標	体験型行事を通して図書館への理解や読書への親しみを深める。			
事業内容	各図書館において、夏休み期間中に一日図書館員を積極的に受け入れ、図書館への理解を深めてもらい、読書に親しむ契機とします。			

事業名	ボランティアとの協働による事業の実 施	所 管	図書館	充実
事業目標	ボランティアとの協働により図書館事業を拡充する。			
事業内容	図書館主催の読み聞かせボランティア講座修了者に、おはなし会、絵本の時間、おひざにだっこのおはなし会などに積極的に参加していただくとともに、児童館、保育園、保健所にも活動の場が広がるように支援します。			

3 ヤングアダルト世代（中高生）への取組

事業名	中学生の職場体験やボランティアの受 入れ	所 管	図書館 中学校	充実
事業目標	中学生の職場体験授業を積極的に受入れ、図書館への理解や、読書への親しみを深める。			
事業内容	教育課程に組み込まれている「職場体験」「ボランティア体験」を積極的に受入れ、働く事の厳しさや楽しさを実感してもらうとともに、図書館の仕事の幅広さを知ってもらい、図書館への理解と興味を深め、図書館活動への参加や図書館利用へつなげます。			

事業名	ヤングアダルト（中高生）コーナーの充実	所管	図書館	充実
事業目標	図書館内にヤングアダルト（中高生）世代の居場所をつくる。			
事業内容	各地域図書館にヤングアダルト世代（中高生）向けの図書を集めたコーナーを設け、資料の充実を図るとともに、掲示物や新刊案内などの見せる工夫を凝らし、図書館離れや読書離れの対策とします。中央図書館・立石図書館（平成 23 年 6 月末開館予定）では、中高生の居場所としても活用されるようなコーナーを設けます。			

事業名	ヤングアダルト世代（中高生）向けの参加型企画の充実	所管	図書館	充実
事業目標	ヤングアダルト世代（中高生）が読書活動に積極的に参加できるようにする。			
事業内容	ヤングアダルト（中高生）コーナー内の伝言ノートや中高生向け講演会、ホームページへの「お薦めの本」の投稿掲載などを継続充実させます。 ヤングアダルト世代（中高生）に呼びかけ協働して事業を企画し、また、学校からの要請により学校の行事に参加するなど、若い感性を活かすとともに参加者一人ひとりの成長を促しながら、同世代への共感を広め図書館への来館や読書を促します。			

事業名	ヤングアダルト世代（中高生）向けブックリストの作成	所管	図書館	充実
事業目標	ヤングアダルト世代（中高生）に読書習慣を身につけることを促す。			
事業内容	中学生向けのブックリスト「ドッグイアーズ」に加え、新たに中学一年生向けのブックリスト、図書館の利用案内を配布し、児童書から広く一般書へ世界を広める援助をします。			

4 学校・学校図書館における取組

事業名	読書の時間の全校導入の促進	所管	学校	充実
事業目標	「朝の読書」などにより、読書の習慣化を図る。			
事業内容	全校一斉読書を実施し読書の楽しみを深めるとともに、授業への集中力を養うことにも繋げていきます。 朝の一斉読書の時間や図書の時間など、学校生活の中で、児童・生徒が本を読むことを習慣化するように努めます。			

事業名	学校図書館と図書館との連絡会の実施	所管	学校・図書館	充実
事業目標	図書館、学校、学校図書館ボランティアとの連携、協力の強化を進める。			
事業内容	各地域の図書館、学校図書館の担当教員や学校図書館支援指導員、学校図書館で活動するボランティアによる連絡会を行い、地域ごとの情報交換や交流を深めます。			

事業名	教員向け研修の実施	所 管	指導室・図書館	充実
事業目標	新任教員研修の中で図書館での読書活動に関する理解を深める。			
事業内容	新任教諭や司書教諭等に対し、図書館での実地研修、ボランティア活動の受け入れなどを行い、おはなし会、団体貸出、レファレンスのほか、様々な体験、実習を通して、読書活動や図書館運営の理解を深めます。			

5 図書館における取組

(1) 図書館施設の整備と充実

事業名	立石図書館の開館	所 管	図書館	新規
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	平成 23 年 6 月にリニューアルオープン（予定）します。かつしかエコライフプラザとの併設施設であり、子ども達にリサイクル・環境について関心を持ってもらえるよう情報提供するとともに、子ども達の読書活動を推進します。			

事業名	奥戸地区図書館の設置	所 管	図書館	充実
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	平成 23 年 4 月に南奥戸小学校内に図書館を設置しました。奥戸地区の図書館であることに加え、南奥戸小学校をはじめ、地域の小・中学校の学校図書館支援（資料の提供や読書活動に関するアドバイス）や、絵本の読み聞かせ、お話会、ブックトーク等の事業を行い、地域の子どもの読書活動を推進します。			

事業名	新宿図書センターによる整備・学校図書館の支援	所管	図書館	充実
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	地区図書館としての機能のほか、学校図書館支援の拠点とします。 学校図書を一層充実させるために、他の図書館と協力し、きめ細やかなサービスを展開します。また、学校や担当教諭では担いきれない部分を積極的にサポートします。 (1) 団体貸出の充実 学校、保育園、幼稚園、児童館等への読書支援のための団体貸出を充実します。 各図書館が個別に行っていた読書支援用団体貸出パックの配送業務を新宿図書センターで一元化します。調べ学習用団体貸出については、各部署との連携を密にするとともに、各図書館で学校の要望を把握し、学校やクラスで利用しやすい学習用パックに内容の充実を行います。 (2) 学校図書館への支援 司書教諭、学校図書館支援指導員、学校図書ボランティアへの支援選書のための参考となる資料の提供書架を新たに設置し、葛飾区採択教科書や「よい絵本」*など、各出版社のカタログ等の収集と情報提供を行います。司書教諭、支援指導員が行う学校図書館の蔵書構成を支援します。 (3) 学校図書館司書教諭、学校図書館支援指導員、学校図書ボランティアへの研修等の支援 司書教諭、支援指導員、ボランティアからの図書の相談業務を行います。また、指導室と連携し各種研修を実施します。 (4) 学校図書館ボランティア連絡会への支援 学校図書館ボランティア連絡会の研修、事業等に側面的な支援や場の提供を行います。ボランティアが自主的に活動範囲を広げ、活発に活動できるように環境を整えます。			

* よい絵本：全国学校図書館協議会が2年毎に選定する推薦図書目録です。

(2) 図書館サービスの充実

事業名	各施設職員やボランティアへの支援の充実	所管	図書館	充実
事業目標	ボランティアや各施設の読書活動推進のための支援を行う。			
事業内容	読み聞かせやおはなし会を実施する際に使用する絵本や紙芝居の貸出し、プログラムの作成、実演方法などの相談に応じます。また、大型紙芝居・大型絵本の収集と貸出に努めます。			

事業名	小・中学生向け図書館利用案内の作成・配布	所管	図書館	充実
事業目標	児童・生徒・教員の図書館利用の促進を図る。			
事業内容	児童・生徒・教員向けにそれぞれにあった利用案内を作成、配布し、あらゆる機会を捉え図書館利用の促進を図ります。			

事業名	読書活動に支援が必要な子どものための資料の整備	所管	図書館	充実
事業目標	子ども達の本への興味を引き出す。			
事業内容	布絵本・点字絵本・点訳絵本などの資料を充実させます。布の絵本ボランティアの養成により布絵本の蔵書数が 92 冊、点訳絵本は点訳ボランティアにより 168 冊の蔵書があります。(平成 21 年度) また、それぞれの子ども達が必要とする支援内容に応じた図書を選定・作成して揃え、本への興味を引き出します。			

事業名	I C Tを活用した情報収集と提供のための環境整備	所管	図書館	充実
事業目標	インターネットを活用した児童・生徒の調べ学習を支援する。			
事業内容	平成 21 年 10 月から中央図書館児童エリア内に子ども専用インターネットパソコンを設置しています。 図書館ホームページ内の児童・生徒専用のコンテンツの充実を図り、読み聞かせに向くりストのダウンロードや学習に役立つリンク集などを工夫します。児童・生徒にデータベースを利用した調べ学習の支援を図ります。 また、電子書籍の導入・活用について検討します。			

事業名	郷土の歴史や地域文化の伝承	所管	図書館	新規
事業目標	郷土の歴史や地域文化、伝統文化などを伝える。			
事業内容	学校での地域学習の支援が出来るように、葛飾区の歴史や文化に関する情報を収集し、児童・生徒が利用できるように工夫します。図書館ホームページなどを活用して、地域資料の情報提供を検討します。また、ボランティアにより作成された昔話の紙芝居を保存・活用します。			

事業名	ボランティア活動のコーディネート機能の整備	所管	図書館	充実
事業目標	ボランティア活動の活性化を図る。			
事業内容	読み聞かせボランティア養成講座の修了者を保育園、児童館への求めに応じて紹介します。また、子ども達に関わる施設とのコーディネートを実施します。			

事業名	聾学校・盲学校・特別支援学校との連携	所管	図書館	充実
事業目標	各学校との連絡体制をつくり、各学校に応じたサービスを実施する。			
事業内容	児童・生徒が本を利用するための様々なフォローを行います。区内の都立聾学校でのブックトーク、職場体験の受け入れ、都立盲学校生徒の団体利用や点訳絵本の貸出を実施します。			

事業名	図書館職員の資質向上に向けた研修の実施	所管	図書館	充実
事業目標	資質の高い図書館職員を育成する。			
事業内容	新任研修を始め、絵本の読み聞かせ研修、ストーリーテリング*研修、ブックトーク研修、レファレンス研修等を実施するとともに、国や都が実施する研修会に積極的に参加することで、図書館職員の資質を高め、幅広いニーズに対応できるような人材を育成します。また、日ごろの業務を通して、コーディネート能力を高めます。			

*ストーリーテリング：昔話や物語を暗記して、語って聞かせること。「素話」、「語り」、「おはなし」とも言います。子ども達は、耳で聞くことで、物語の楽しさを知り読書へのきっかけとなります。

事業名	子ども読書活動推進のためのボランティアの育成支援	所管	図書館	充実
事業目標	子ども読書活動推進のためのボランティアを育成する。			
事業内容	平成 14 年度から読み聞かせボランティア養成講座を、平成 18 年度からはパソコンを使った親子で作る絵本講座を、平成 19 年度から布の絵本ボランティア養成講座を実施しました。 子ども読書活動推進のためのボランティアグループの立ち上げに協力し、活動の支援をします。また、各グループの研修・情報交換の場を設けます。			

事業名	多文化サービスの取組	所管	図書館	新規
事業目標	言語や文化を超えた子ども達の交流の場を提供することで、相互理解を進める。			
事業内容	外国人児童・生徒、帰国子女の子ども達の読書活動や、区の子どもの国際理解教育を進めるため、様々な「外国語の本」を揃え、貸出を進めます。また、外国語でのおたよりの作成や、絵本の読み聞かせの行事を行い、様々な国々の子ども達の交流の場を提供します。			

事業名	大学との連携	所 管	図書館 区内大学	新規
事業目標	区内各大学の特色を生かした事業など図書館と大学との連携協力体制を強化する。			
事業内容	区内の大学と相互利用を進める中で、夏休みボランティアや自由研究のアドバイス、留学生による外国語の読み聞かせなど、各大学の特色を生かした事業について検討します。			

6 保育園・幼稚園における取組

事業名	保育園・幼稚園における図書の充実	所 管	保育園・幼稚園 図書館	充実
事業目標	幼児期から絵本に親しめる環境をつくる。			
事業内容	区内の保育園、幼稚園の園単位での利用が広がるよう配送車を利用した団体貸出について検討します。また、図書館の除籍資料を譲渡します。			

7 各施設における取組（省略）

8 地域・ボランティアにおける取組

事業名	「子ども読書の日」*記念行事の実施	所 管	図書館	充実
事業目標	家庭や地域への子ども読書活動の普及と啓発を進める。			
事業内容	これまでは、子ども達から絵を募集し、優秀作品を表彰し各図書館で巡回展示を行ってきました。今後は、子ども読書の日の前後に、子ども読書に関わるイベントの実施を各団体に呼びかけ、内容を広報等を通じてPRをします。将来的には関係者、関係団体による実行委員会組織を育成し、子ども読書の啓発を図っていきます。			

*子ども読書の日：4月23日。2001（平成13）年12月に制定。

子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的としています。

事業名	子ども読書活動推進のためのボランティア組織の整備	所 管	図書館	充実
事業目標	各ボランティア団体の活動の継続と発展を図る。			
事業内容	子どもの読書に関連した様々な分野で活動するボランティアが、グループを立ち上げ、情報交換や学びあいを通して、ボランティア活動を継続していくための意識を高め、子ども達の読書活動を区内全域の様々な施設へと広がっていきます。			

第4章 基本計画推進のための体制

本計画の実現に向けて、各機関・団体・区民一人ひとりがそれぞれの目標に合わせて子どもの読書活動に携わると同時に、連絡や連携を密にして、本計画の実現を目指す体制をつくります。

1 関係機関の連携

子どもに関わる関係機関が一丸となって、子どもの読書活動を推進していきます。

(1) 学校と図書館の連携

① 新宿図書センターの支援機能を強化して、学校との連携を深めます。

② 学校と図書館とが将来を見据えた検討を行うための連絡・調整体制を整えます。

(2) 保健所・保健センター、児童館、保育園と図書館等の連携

① 子どもの読書活動を子育て支援施策の一つとして位置づけていくため、子どもの健全育成に関わる各部課の連携、協力のための連絡会を開催します。

② 子どもの健全育成に関わる読書の効果や活用方法について、各部課との実践の中で研究を重ねます。

(3) 関係職員への啓発や人材育成

図書館で実施している職員研修やボランティア向けの講座などに関係部課の職員にも参加を促したり、乳幼児期の特性などについて保健所職員から学ぶなど、職員相互の情報交換や資質向上を図ります。

2 地域団体との協働

子どもの読書に関連した様々な分野で活動するボランティア団体が集う場を企画し、情報交換を通して相互理解を深めることで、これらのボランティアグループが地域での力として、積極的に活動できるように支援していきます。

また、地域団体がボランティア活動する上で、

各団体が協力して自主的な研修会やイベントの実施など活動の幅が広がることを援助します。

(1) 地域で活動しているボランティア団体との連携

読み聞かせボランティア、学校図書館ボランティア、葛飾図書館友の会、布絵本サークルなど、子どもの読書に関連する様々な活動をしている団体と協働し、子ども読書活動推進計画に関わる様々な取組を進めます。

(2) ボランティア団体の組織づくり

各団体が仲間を増やし、団体間の横のつながりを深めることで、活動の継続・発展が出来るように、図書館会議室利用などの会場確保、講師の紹介、連絡会の開催など、ボランティア団体が活発な活動ができるための組織づくりを支援します。

(3) ボランティアの育成

子ども読書活動推進に関連するボランティアに興味がある方に対して、図書館等の区が実施している各種講座や研修会への参加を促し、自分達でも学べる場を提供することで、ボランティア活動への意欲を高め、子ども達の読書活動を推進するための地域のボランティアを育成します。

3 計画の進行管理

本計画の掲げる取組を効果的に進めていくために、図書館が事務局となって各機関・団体等との連絡会等を開催し、子ども読書活動に関わる相互に情報を交換し、随時、進捗状況を確認するとともに、葛飾区生涯学習振興ビジョン推進委員会にも報告をし、進行管理と必要な見直しを行っていきます。

葛 飾 の 図 書 館

平成 2 4 年度事業年報

平成 2 5 年 9 月発行

編集発行 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 葛飾区金町 6-2-1

ヴィナシス金町ブライトコート 3 階

電 話 0 3 - 3 6 0 7 - 9 2 0 1